

宇佐市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 集計結果報告書

令和 6 年 3 月
大分県 宇佐市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の実施要領	2
3 配付数・回答数	2
4 調査結果利用上の注意	2
第2章 調査結果	3
回答者の属性	4
問1 あなたのご家族や生活状況について	8
問2 からだを動かすことについて	16
問3 食べることについて	28
問4 毎日の生活について	38
問5 地域での活動について	56
問6 たすけあいについて	79
問7 健康について	93

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

令和5年度の介護保険事業計画・高齢者福祉計画の見直しに当たり、既存データでは把握困難な高齢者の実態や意識・意向を調査・分析し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の実施要領

(1) 調査時期

令和4年12月～令和5年1月

(2) 調査対象者及び調査方法

介護保険被保険者で要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の方を対象に、郵送による配布・回収を行いました。

3 配付数・回答数

配付数	有効回答数	有効回答率
4,900 件	2,990 件	61.0%

4 調査結果利用上の注意

- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超えます。
- ・数表・図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。

第 2 章 調査結果

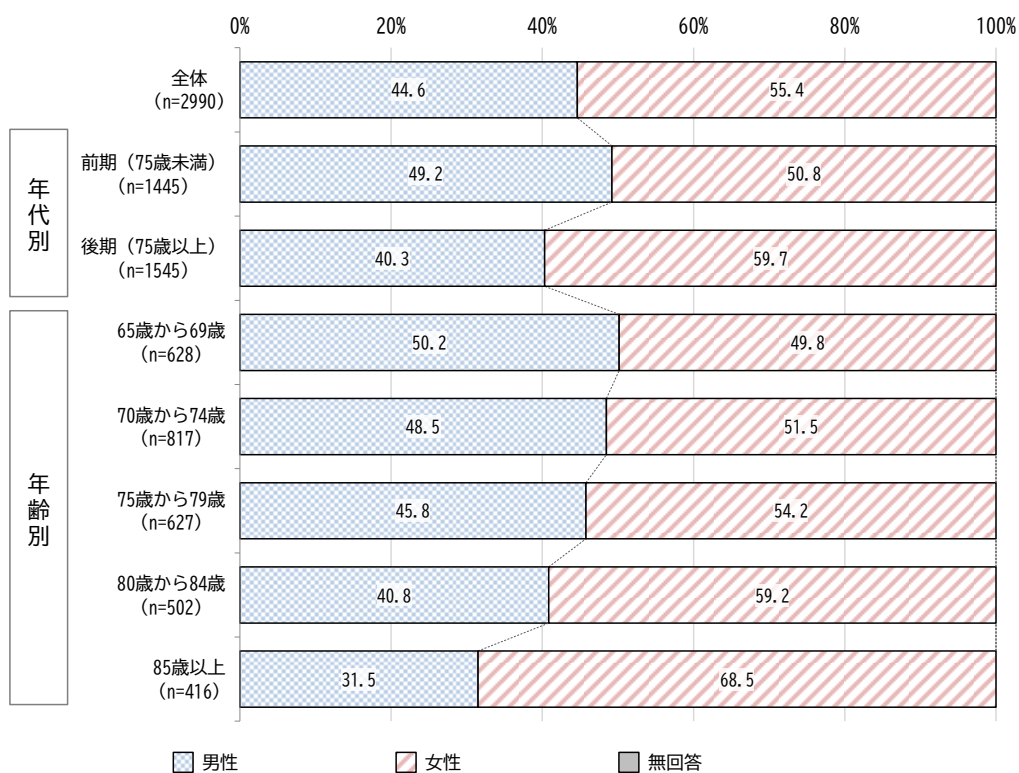
回答者の属性

(1) 性別

性別では、「男性」44.6%、「女性」55.4%となっています。

年代別でみると、いずれも「女性」が高くなっています。

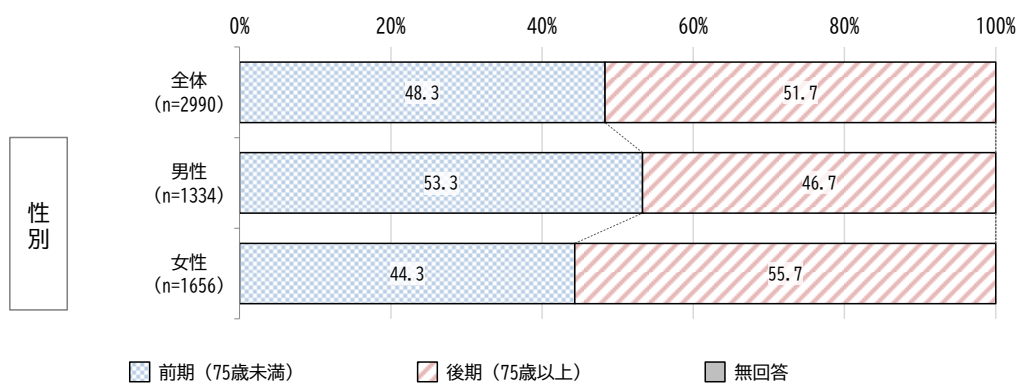
年齢別でみると、69歳までは「男性」が高くなっていますが、70歳からは「女性」が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「女性」が高くなっています。



(2) 年齢

年齢では、「70歳から74歳」が27.3%と最も高く、次いで、「65歳から69歳」「75歳から79歳」がともに21.0%、「80歳から84歳」16.8%の順となっています。

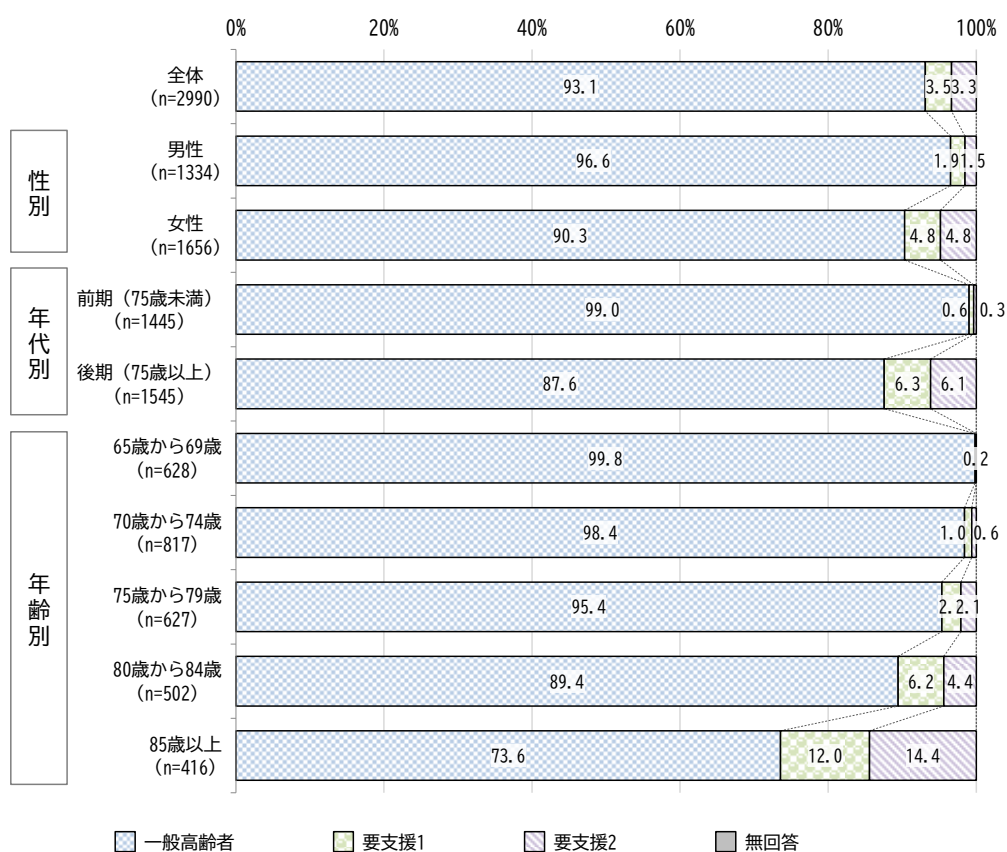
性別でみても、男女ともに「70歳から74歳」が最も高くなっています。



(3) 認定区分

認定区分では、「一般高齢者」が93.1%と最も高く、次いで、「要支援1」3.5%、「要支援2」3.3%となっています。

性別、年代別、年齢別でも、「一般高齢者」が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれて「一般高齢者」が低くなり、「要支援1」「要支援2」が高くなっています。



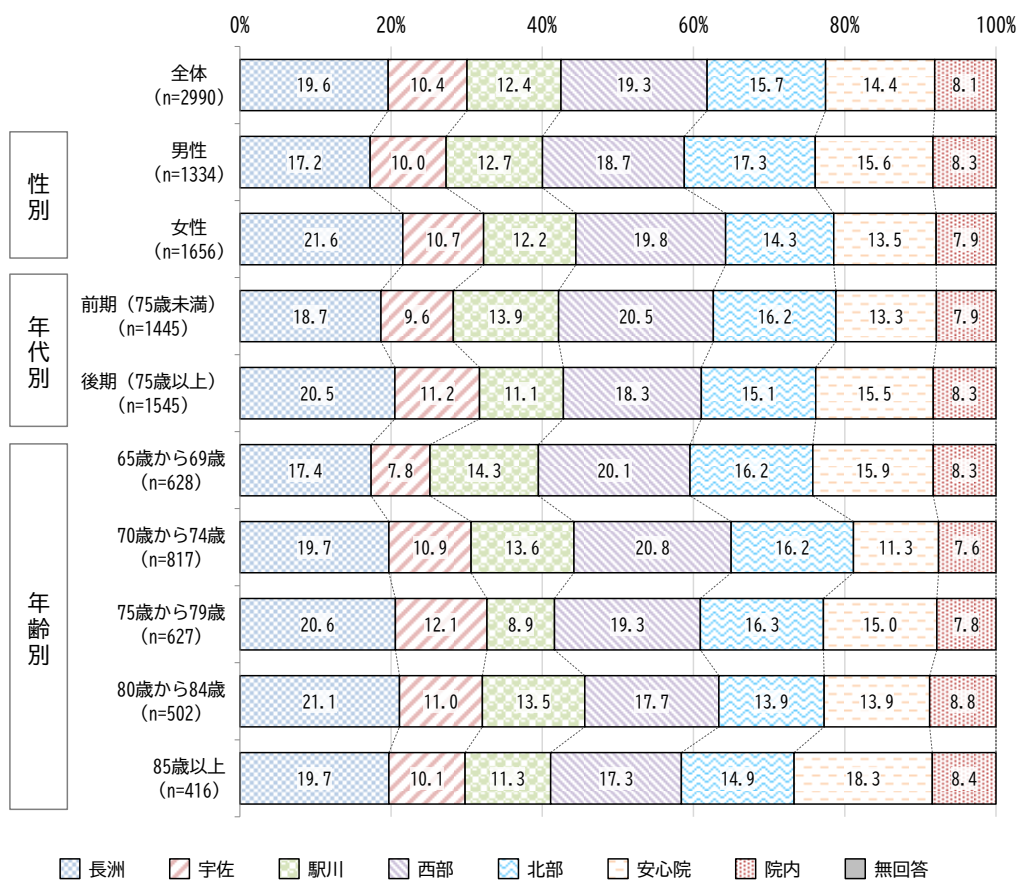
(4) 圏域

圏域では、「長洲」が19.6%と最も高く、次いで、「西部」19.3%、「北部」15.7%の順となっています。

性別でみると、男性では「西部」、女性では「長洲」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「西部」、後期（75歳以上）では「長洲」が最も高くなっています。

年齢別でみると、74歳までは「西部」、75歳以上では「長洲」が最も高くなっています。



問1 あなたのご家族や生活状況について

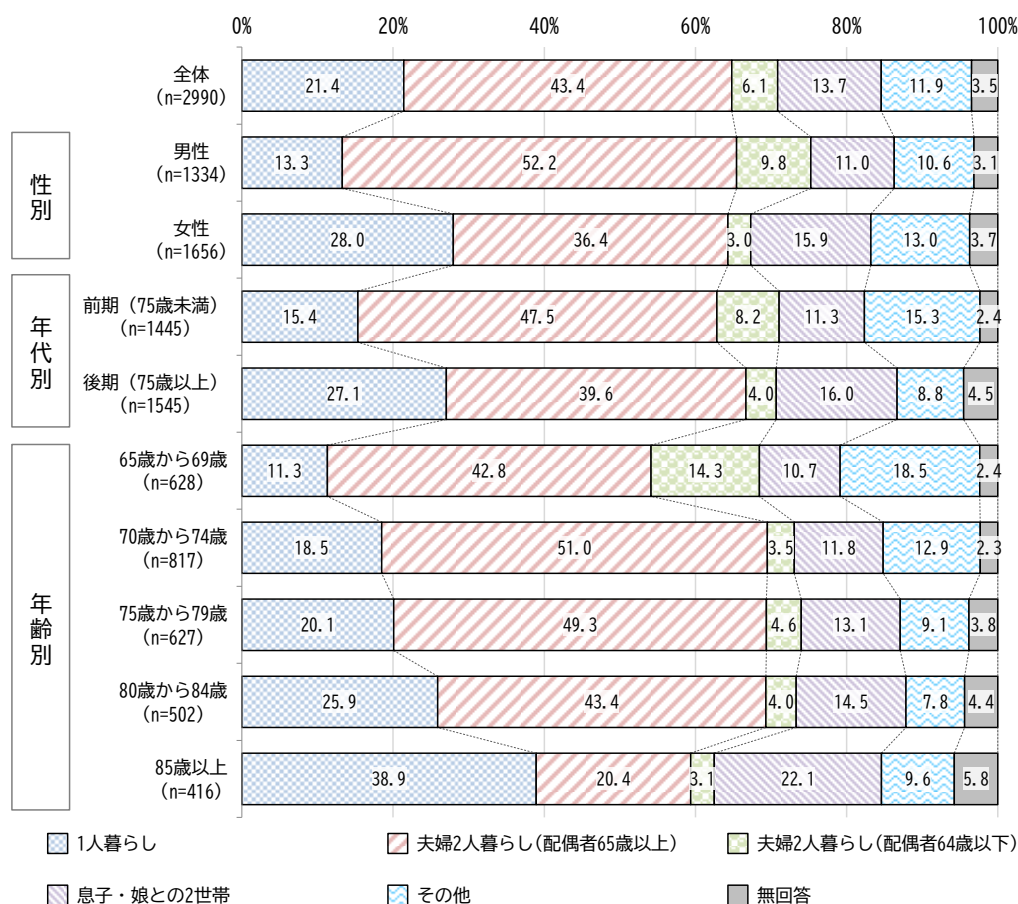
(1) 家族構成をお教えてください

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が43.4%と最も高く、次いで、「1人暮らし」21.4%、「息子・娘との2世帯」13.7%の順となっています。

性別でみると、男性では女性と比べて「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が高く、「1人暮らし」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、後期(75歳以上)では「1人暮らし」が27.1%と前期(75歳未満)15.4%と比べて11.7ポイント高くなっています。

年齢別でみると、84歳までは「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が最も高くなっていますが、85歳以上では「1人暮らし」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて、「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」が高くなっています。



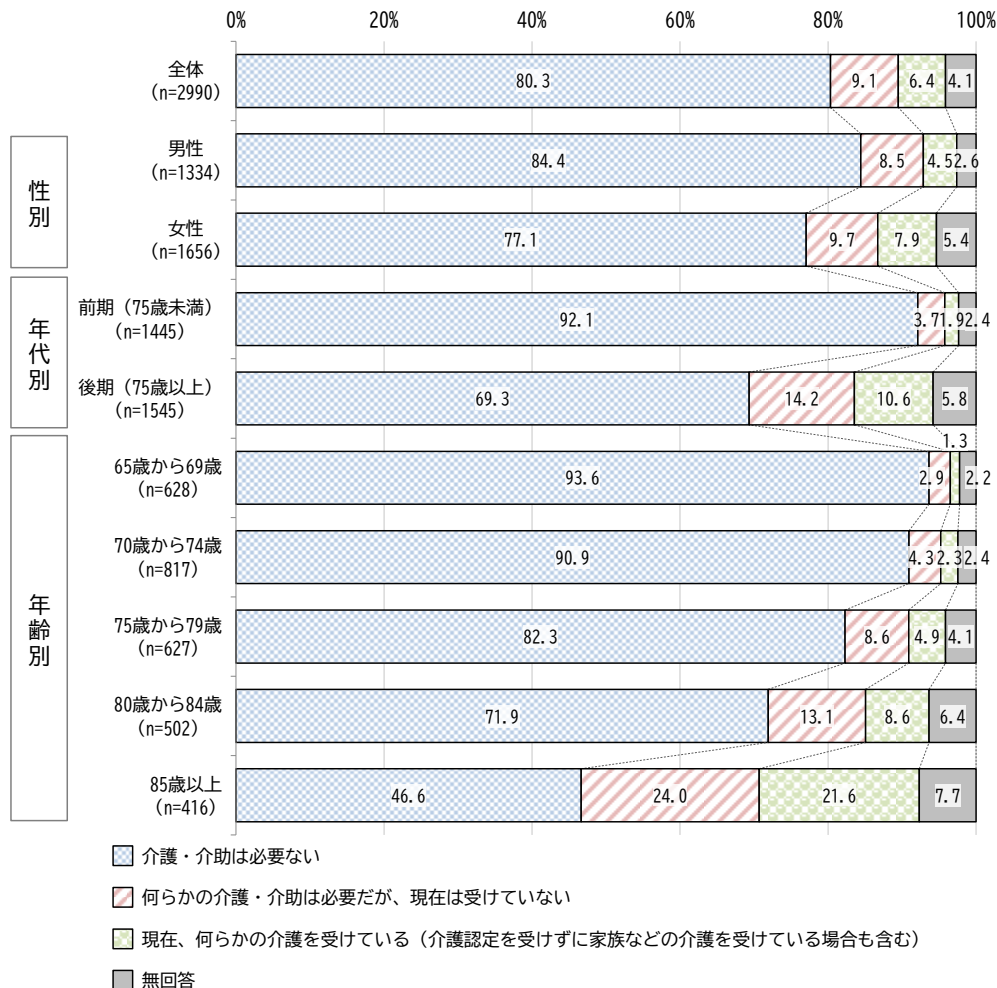
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が80.3%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」9.1%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」6.4%となっています。

性別でみると、男女ともに「介護・介助は必要ない」が最も高くなっています。

年代別でみると、後期（75歳以上）では前期（75歳未満）と比べて「介護・介助は必要ない」が低く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「介護・介助は必要ない」が最も高くなっていますが、84歳までは7割以上あった回答が85歳以上では4割台と大幅に低くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が高くなっています。



【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

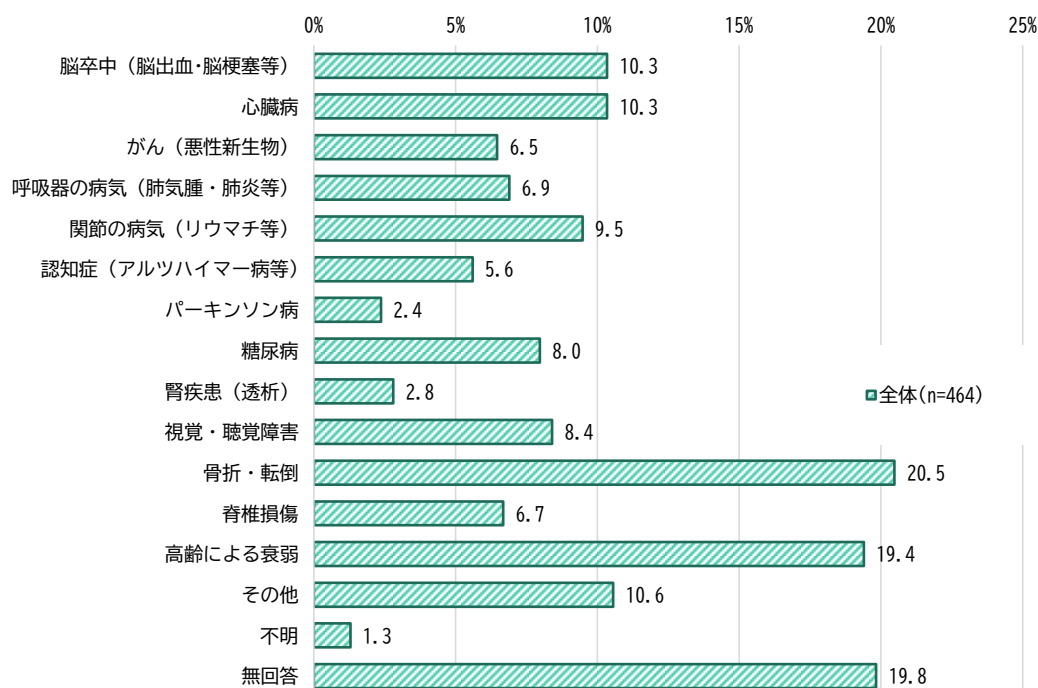
①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

介護・介助が必要になった主な原因については、「骨折・転倒」が20.5%と最も高く、次いで、「高齢による衰弱」19.4%、「その他」10.6%の順となっています。

性別でみると、男性では「高齢による衰弱」、女性では「骨折・転倒」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が高く、「骨折・転倒」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、後期（75歳以上）では「骨折・転倒」「高齢による衰弱」が高くなっており、いずれも2割を超えています。

年齢別でみると、69歳までは「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、70歳から74歳では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「骨折・転倒」が同率、75歳から79歳では「骨折・転倒」、80歳以上では「高齢による衰弱」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が低くなっています。



【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病 気(肺炎・肺 炎等)	関節の病 気(リウマチ 等)	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキン ソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)	視覚・聴 覚障害	骨折・転 倒	脊椎損 傷	高齢に よる衰 弱	その他	不明	無回 答
全体 (単純集計)		464	48 10.3%	48 10.3%	30 6.5%	32 6.9%	44 9.5%	26 5.6%	11 2.4%	37 8.0%	13 2.8%	39 8.4%	95 20.5%	31 6.7%	90 19.4%	49 10.6%	6 1.3%	92 19.8%
性別	男性	173	29 16.8%	20 11.6%	16 9.2%	20 11.6%	7 4.0%	12 6.9%	7 4.0%	17 9.8%	7 4.0%	16 9.2%	16 9.2%	9 5.2%	32 18.5%	15 8.7%	3 1.7%	41 23.7%
	女性	291	19 6.5%	28 9.6%	14 4.8%	12 4.1%	37 12.7%	14 4.8%	4 1.4%	20 6.9%	6 2.1%	23 7.9%	79 27.1%	22 7.6%	58 19.9%	34 11.7%	3 1.0%	51 17.5%
年代別	前期(75歳未満)	80	16 20.0%	6 7.5%	3 3.8%	5 6.3%	10 12.5%	8 10.0%	5 6.3%	7 8.8%	3 3.8%	6 7.5%	10 12.5%	4 5.0%	8 10.0%	11 13.8%	3 3.8%	13 16.3%
	後期(75歳以上)	384	32 8.3%	42 10.9%	27 7.0%	27 7.0%	34 8.9%	18 4.7%	6 1.6%	30 7.8%	10 2.6%	33 8.6%	85 22.1%	27 7.0%	82 21.4%	38 9.9%	3 0.8%	79 20.6%
年齢分類	65歳から69歳	26	7 26.9%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	5 19.2%	2 7.7%	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	4 15.4%	4 15.4%	2 7.7%	6 23.1%
	70歳から74歳	54	9 16.7%	6 11.1%	2 3.7%	5 9.3%	5 9.3%	6 11.1%	3 5.6%	6 11.1%	3 5.6%	5 9.3%	9 16.7%	4 7.4%	4 7.4%	7 13.0%	1 1.9%	7 13.0%
	75歳から79歳	85	9 10.6%	10 11.8%	7 8.2%	6 7.1%	8 9.4%	6 7.1%	2 2.4%	9 10.6%	2 2.4%	5 5.9%	19 22.4%	7 8.2%	8 9.4%	9 10.6%	2 2.4%	14 16.5%
	80歳から84歳	109	9 8.3%	7 6.4%	7 6.4%	8 7.3%	6 5.5%	7 6.4%	0 0.0%	10 9.2%	5 4.6%	9 8.3%	20 18.3%	5 4.6%	24 22.0%	12 11.0%	0 0.0%	23 21.1%
	85歳以上	190	14 7.4%	25 13.2%	13 6.8%	13 6.8%	20 10.5%	5 2.6%	4 2.1%	11 5.8%	3 1.6%	19 10.0%	46 24.2%	15 7.9%	50 26.3%	17 8.9%	1 0.5%	42 22.1%

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

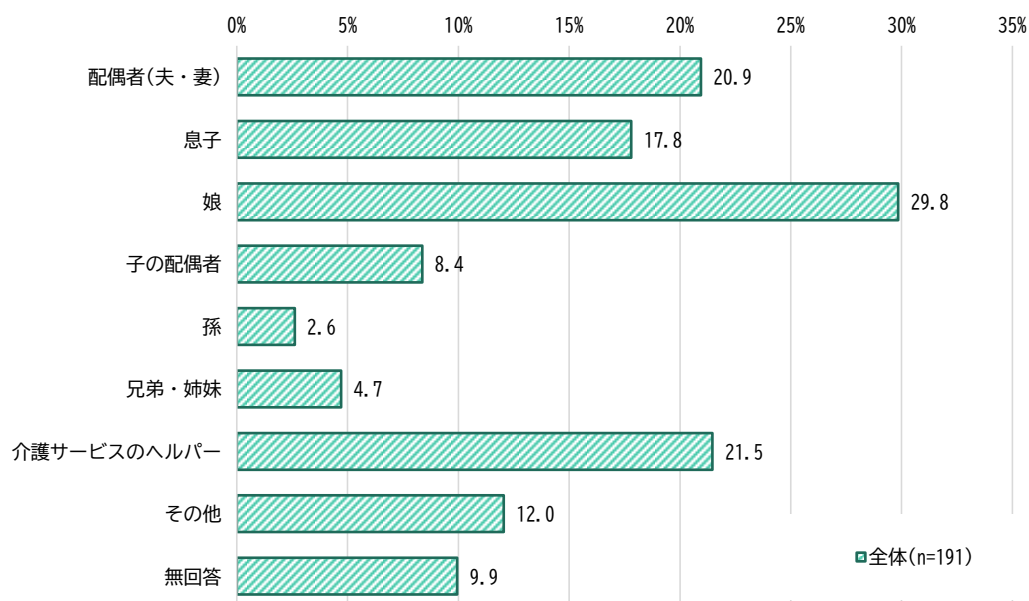
②主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

介護・介助者については、「娘」が29.8%と最も高く、次いで、「介護サービスのヘルパー」21.5%、「配偶者(夫・妻)」20.9%の順となっています。

性別でみると、男性では「配偶者(夫・妻)」が46.7%と最も高く、女性9.2%と比べて37.5ポイント高くなっています。また、女性では「息子」「娘」「介護サービスのヘルパー」が2割を超えています。

年代別でみると、後期（75歳以上）では「娘」が32.3%と前期（75歳未満）14.8%と比べて17.5ポイント高くなっています。

年齢別については、65歳から69歳のサンプル数が少ないため、参考程度となります。



【集計表】

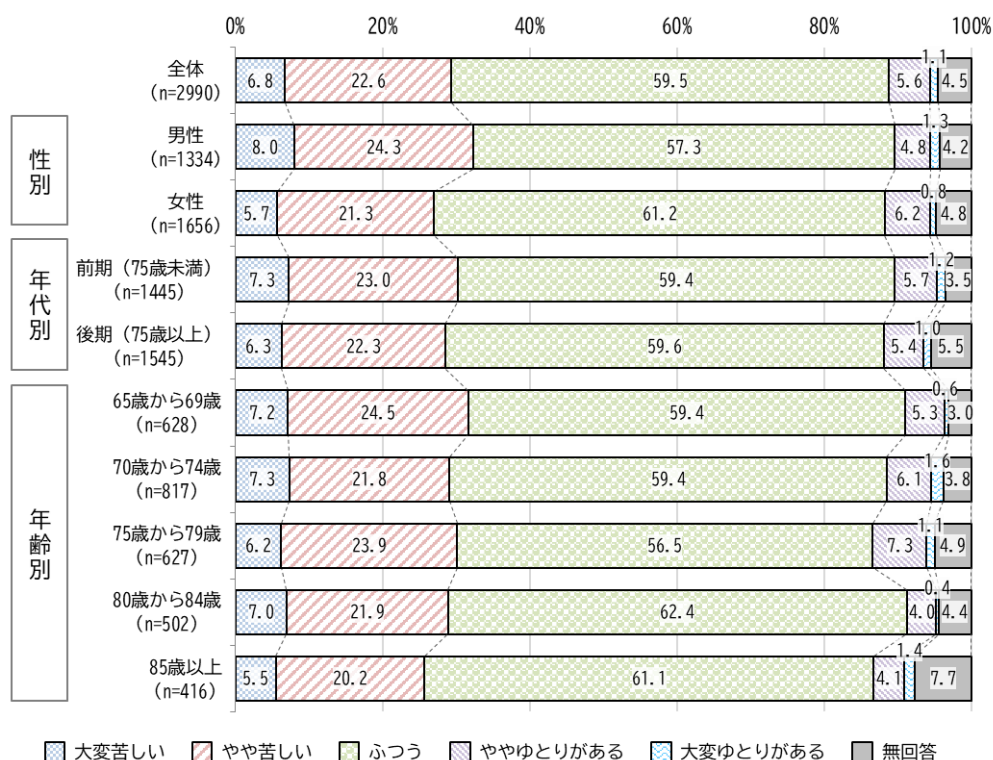
(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	配 偶 者 (夫・妻)	息 子	娘	子 の 配 偶 者	孫	兄 弟 ・ 姉 妹	介 護 サ ー ビ ス の ヘ ル パ ー	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		191	40 20.9%	34 17.8%	57 29.8%	16 8.4%	5 2.6%	9 4.7%	41 21.5%	23 12.0%	19 9.9%
性 別	男性	60	28 46.7%	3 5.0%	14 23.3%	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%	10 16.7%	5 8.3%	4 6.7%
	女性	131	12 9.2%	31 23.7%	43 32.8%	15 11.5%	4 3.1%	8 6.1%	31 23.7%	18 13.7%	15 11.5%
年 代 別	前期 (75歳未満)	27	6 22.2%	3 11.1%	4 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	4 14.8%	5 18.5%	6 22.2%
	後期 (75歳以上)	164	34 20.7%	31 18.9%	53 32.3%	16 9.8%	5 3.0%	7 4.3%	37 22.6%	18 11.0%	13 7.9%
年 齢 分 類	65歳から69歳	8	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%
	70歳から74歳	19	5 26.3%	3 15.8%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	2 10.5%	4 21.1%	4 21.1%
	75歳から79歳	31	13 41.9%	5 16.1%	5 16.1%	2 6.5%	0 0.0%	3 9.7%	8 25.8%	6 19.4%	1 3.2%
	80歳から84歳	43	13 30.2%	4 9.3%	11 25.6%	3 7.0%	2 4.7%	2 4.7%	5 11.6%	6 14.0%	2 4.7%
	85歳以上	90	8 8.9%	22 24.4%	37 41.1%	11 12.2%	3 3.3%	2 2.2%	24 26.7%	6 6.7%	10 11.1%

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

現在の経済状況については、「ふつう」が59.5%と最も高く、次いで、「やや苦しい」22.6%、「大変苦しい」6.8%の順となっています。

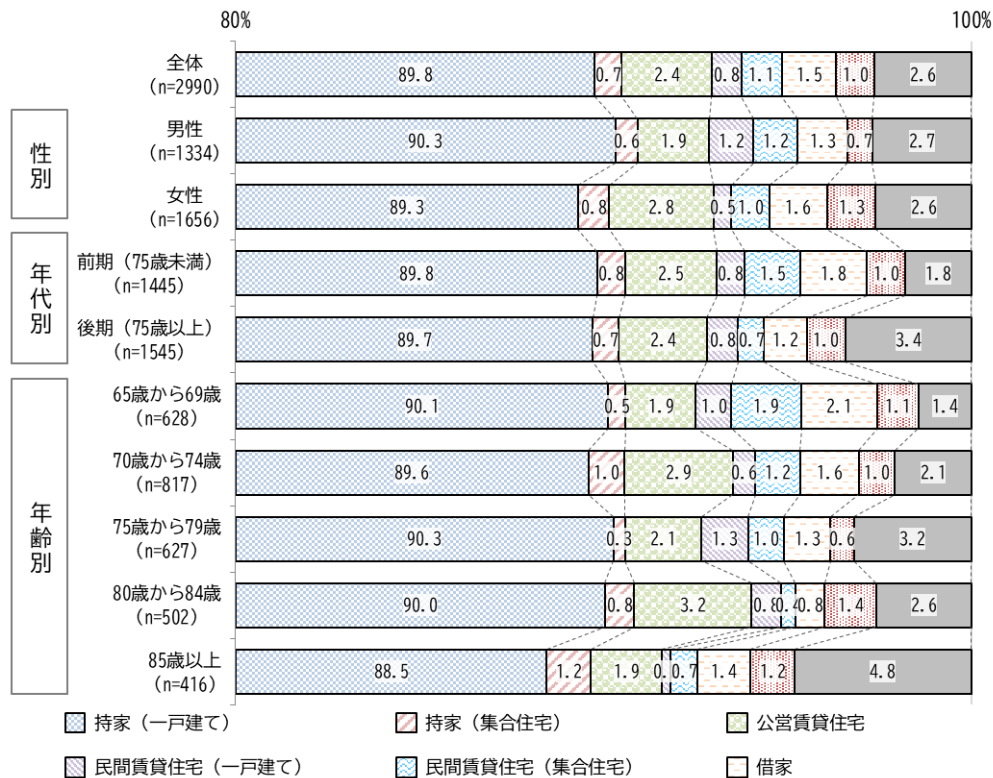
性別、年代別、年齢別でみても、「ふつう」が最も高くなっています。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住居の状況については、「持家（一戸建て）」が89.8%と最も高く、次いで、「公営賃貸住宅」2.4%、「借家」1.5%の順となっています。

性別、年代別、年齢別でも「持家（一戸建て）」が最も高く、9割前後を占めています。



問2 からだを動かすことについて

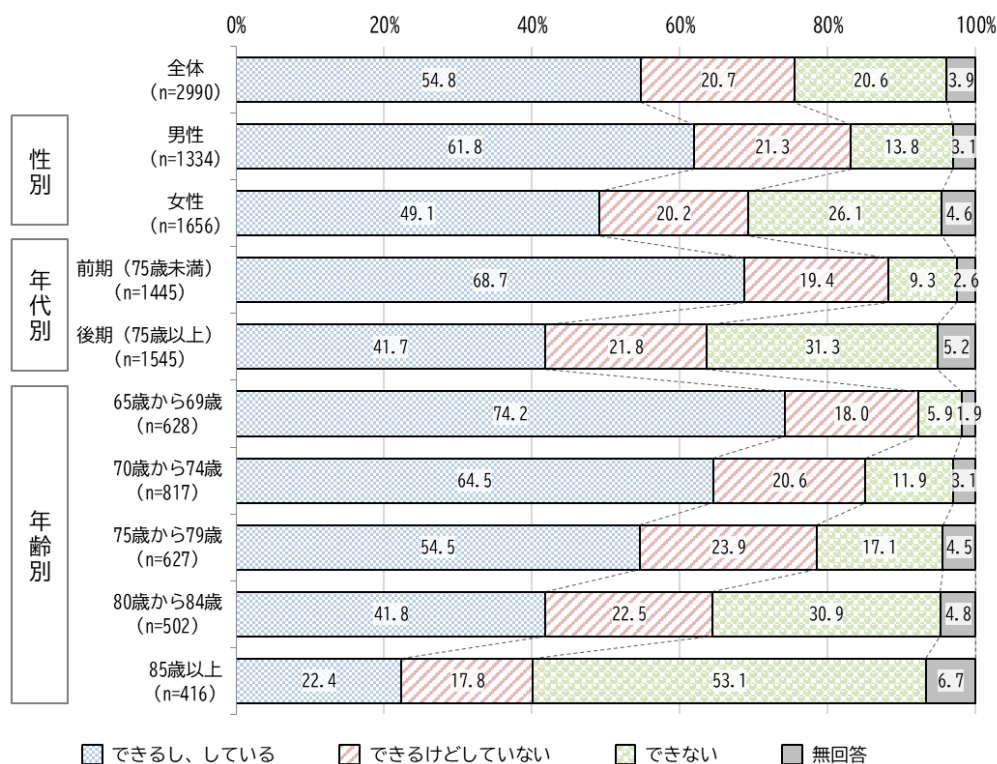
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか尋ねたところ、「できるし、している」が54.8%、「できるけどしていない」が20.7%、「できない」が20.6%となっています。

性別でみると、男性では女性と比べて「できるし、している」が高く、「できない」が低く、10ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「できるし、している」が68.7%と約7割となっていますが、後期（75歳以上）では5割を切っています。また、後期（75歳以上）では「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合が5割を超えています。

年齢別でみると、84歳までは「できるし、している」が最も高くなっていますが、85歳以上では「できない」が最も高く5割を超えています。また、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」が低く、「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合が高くなっており、80歳以上では「できるし、している」を上回っています。



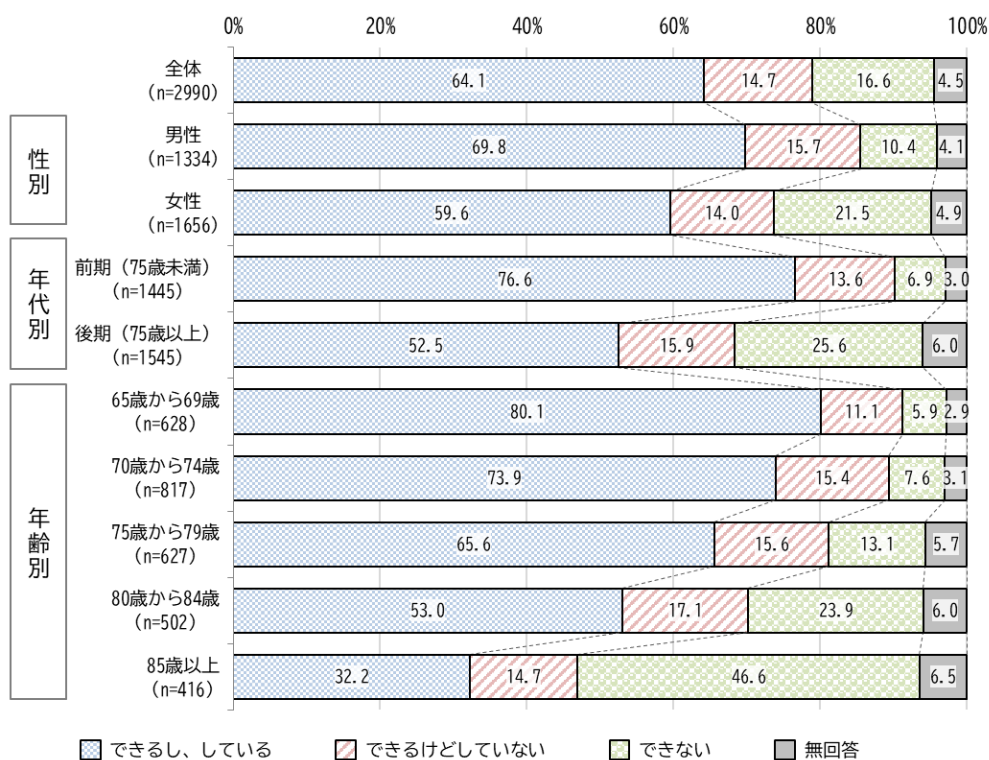
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか尋ねたところ、「できるし、している」が64.1%、「できるけどしていない」が14.7%、「できない」が16.6%となっています。

性別でみると、男性では女性と比べて「できるし、している」が高く、「できない」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「できるし、している」が76.6%と7割を超えていますが、後期（75歳以上）では5割程度となっています。また、後期（75歳以上）では「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合が4割を超えています。

年齢別でみると、84歳までは「できるし、している」が最も高く5割を超えていますが、85歳以上では「できない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」が低く、「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合が高くなっており、85歳以上では61.3%と「できるし、している」を上回っています。



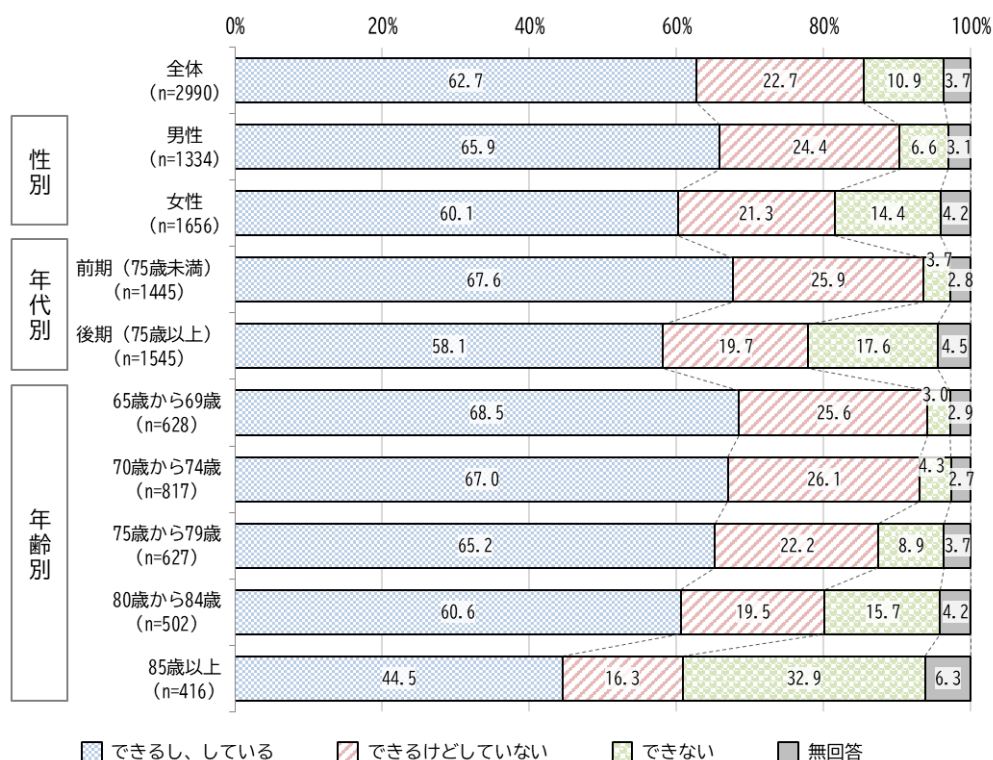
(3) 15分位続けて歩いていますか

15分位続けての歩行については、「できるし、している」が62.7%、「できるけどしていない」が22.7%、「できない」が10.9%となっています。

性別では、全体の結果と大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、いずれも「できるし、している」が最も高く約6割を占めていますが、後期（75歳以上）では「できない」が17.6%と前期（75歳未満）3.7%と比べて13.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「できるし、している」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」が低く、「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合が高くなっており、85歳以上では49.2%と「できるし、している」を上回っています。



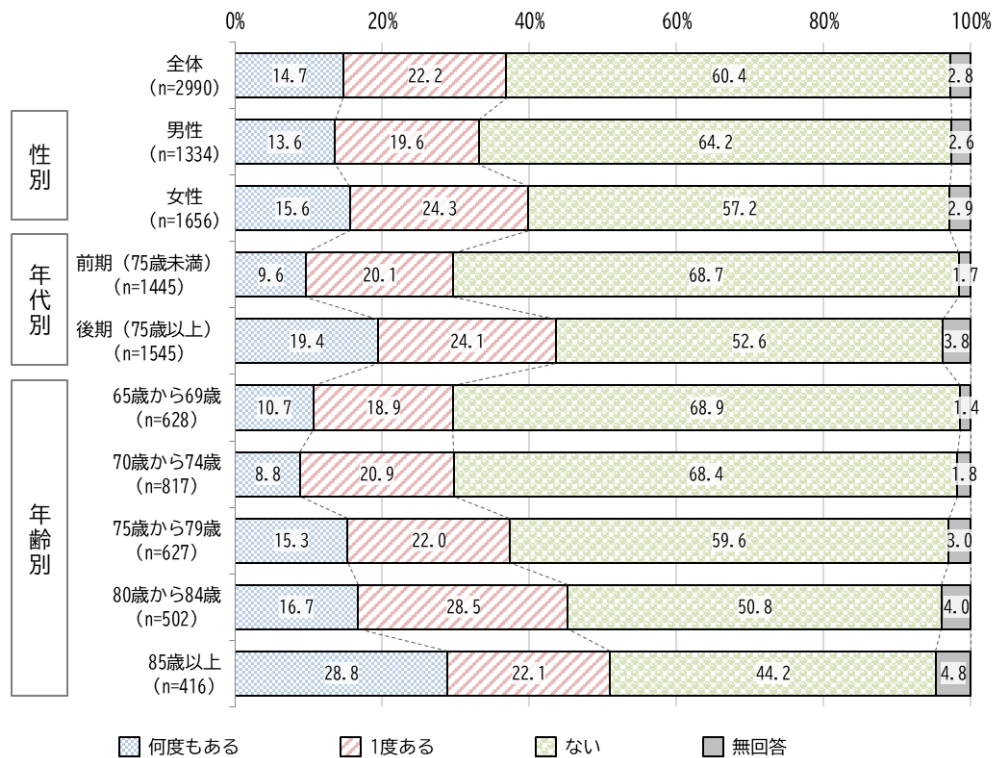
（４）過去１年間に転んだ経験がありますか

過去１年間で転んだ経験の有無については、「何度もある」が14.7%、「１度ある」が22.2%、「ない」が60.4%となっています。

性別では、全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、「後期（75歳以上）」では「ある（何度もある）＋（１度ある）」が43.5%と４割を超えており、「前期（75歳未満）」29.7%より10ポイント以上高くなっています。

年齢別でも、いずれの年齢層も「ない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「ない」が低く、「何度もある」「１度ある」を合わせた割合が高くなっており、85歳以上では50.9%と５割を超えています。



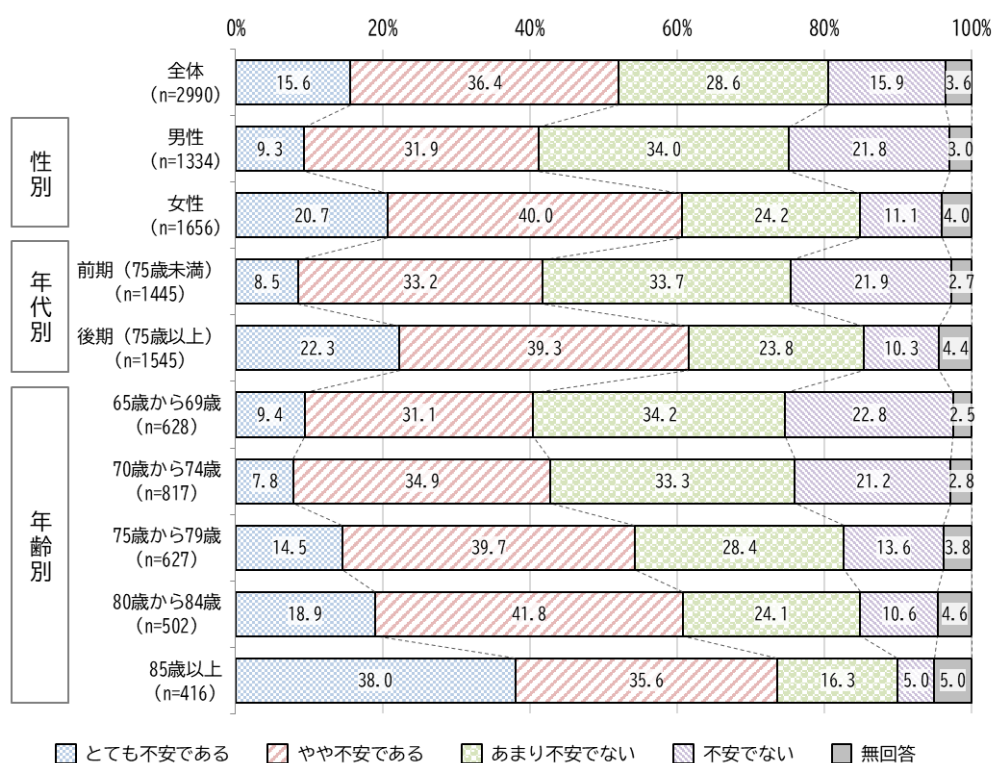
(5) 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安については、「やや不安である」が36.4%と最も高く、次いで、「あまり不安でない」28.6%、「不安でない」15.9%の順となっています。

性別でみると、男性では「不安ではない（あまり不安でない）＋（不安でない）」が55.8%と5割を超えているのに対し、女性では「不安である（とても不安である）＋（やや不安である）」が60.7%と6割を占めており、女性の方が不安を感じる割合が高くなっています。

年代別でみると、後期（75歳以上）では「不安である（とても不安である）＋（やや不安である）」が61.6%と6割を超えており、「前期（75歳未満）」41.7%と比べて20ポイント近く高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「不安である（とても不安である）＋（やや不安である）」が高くなっており、75歳以上からは不安を感じている人が過半数を超えています。



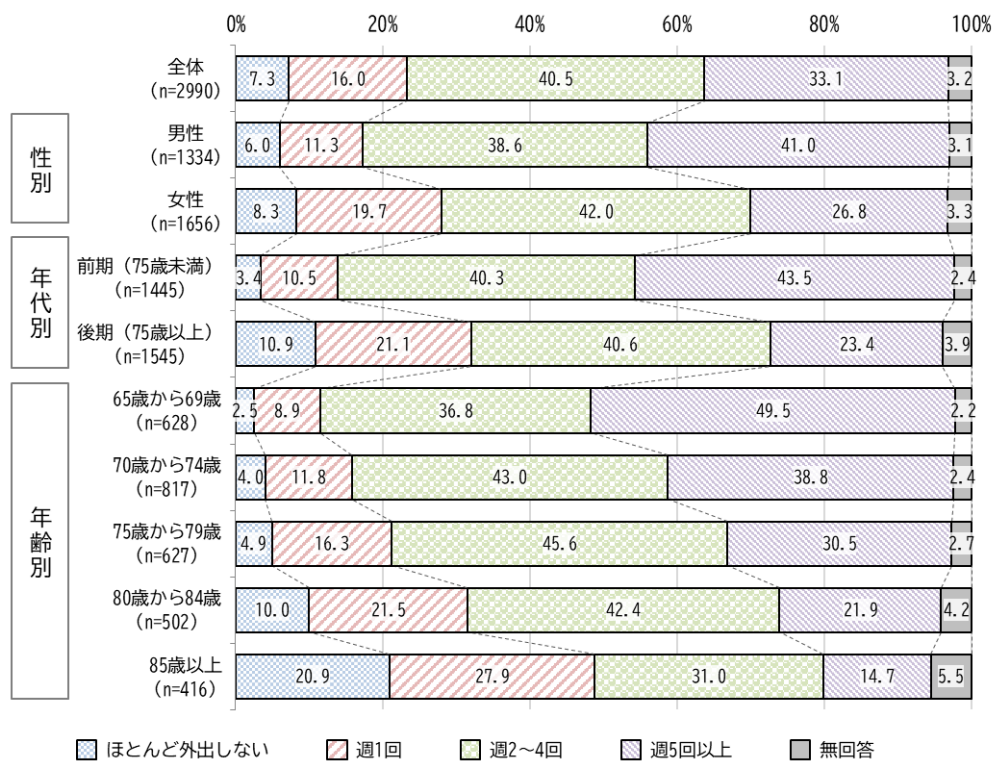
(6) 週に1回以上は外出していますか

外出の頻度については、「週2～4回」が40.5%と最も高く、次いで、「週5回以上」33.1%、「週1回」16.0%の順となっています。

性別でみると、男性では「週5回以上」が41.0%と4割を超えており、女性26.8%と比べて14.2ポイント高くなっています。

年代別でみると、「週1回」以下の割合が、前期（75歳未満）では13.9%、後期（75歳以上）では32.0%となっており、18.1ポイント差が生じています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「週5回以上」が低く、「週1回」以下の割合が高くなっており、85歳以上では「週1回」以下の回答が48.8%となっています。



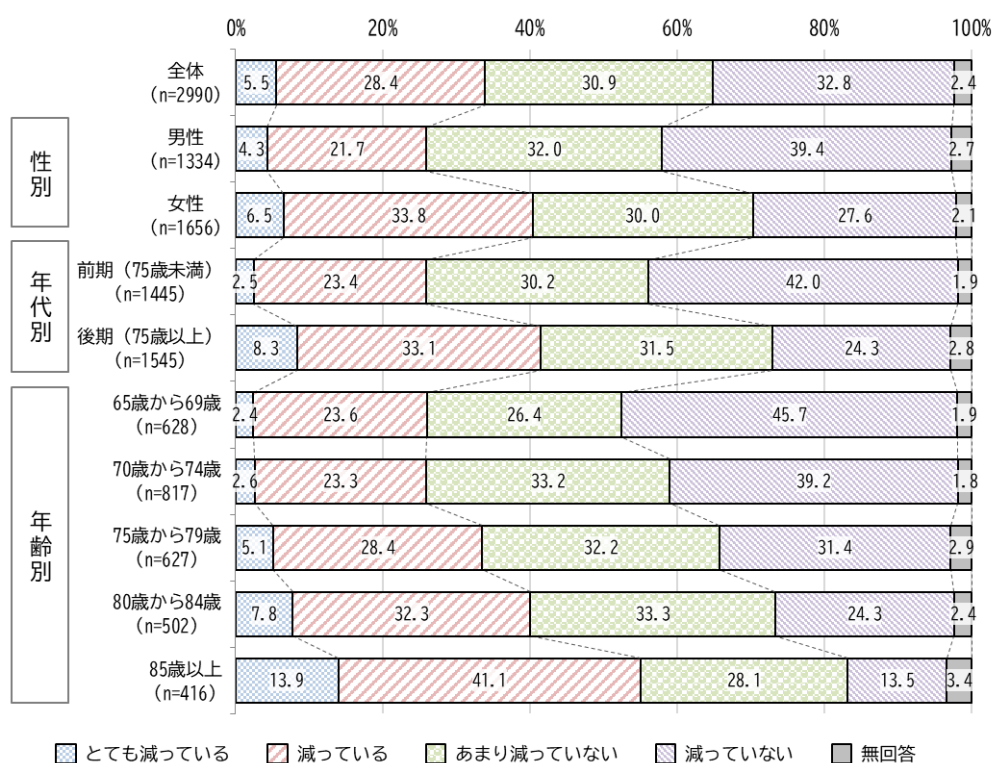
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

昨年と比べて外出の頻度が減っているか尋ねたところ、「減っていない」が32.8%と最も高く、次いで、「あまり減っていない」30.9%、「減っている」28.4%の順となっています。

性別でみると、男性では女性と比べて「減っている」が低く、「減っていない」が高く、10ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、後期（75歳以上）では前期（75歳未満）と比べて「減っている（とても減っている）+（減っている）」が高く、「減っていない（あまり減っていない）+（減っていない）」が低くなっており、15ポイント以上差が生じています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「減っていない（あまり減っていない）+（減っていない）」が低く、「減っている（とても減っている）+（減っている）」が高くなっており、85歳以上では「減っている（とても減っている）+（減っている）」の割合が55.0%と過半数を超えています。



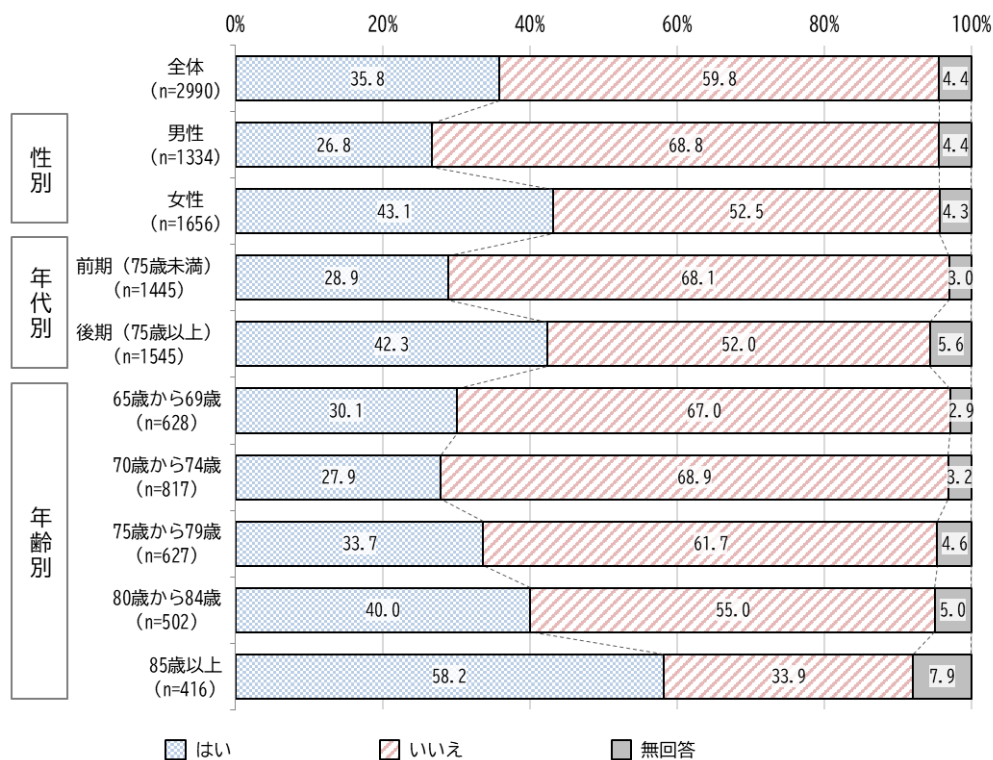
(8) 外出を控えていますか

外出を控えているか尋ねたところ、「はい」が35.8%、「いいえ」が59.8%となっています。

性別でみると、男性では女性と比べて「はい」が低く、「いいえ」が高くなっており、15ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では後期（75歳以上）と比べて「はい」が低く、「いいえ」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年齢別でみると、84歳までは「いいえ」が「はい」を上回っていますが、85歳以上では「はい」が58.2%と過半数を超えています。



【(8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

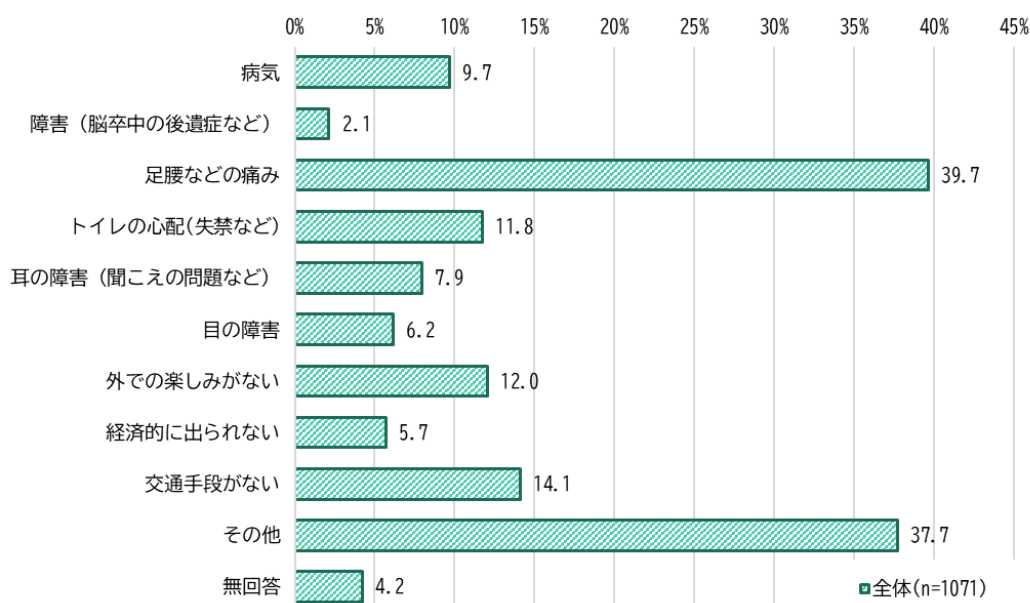
①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が39.7%と最も高く、次いで「その他」37.7%、「交通手段がない」14.1%の順となっています。

性別でみると、男性では「その他」、女性では「足腰などの痛み」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期(75歳未満)では「その他」、後期(75歳以上)では「足腰などの痛み」が最も高くなっています。また、後期(75歳以上)では前期(75歳未満)と比べて「トイレの心配(失禁など)」「耳の障害(聞こえの問題など)」「交通手段がない」が10ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「その他」が低く、「足腰などの痛み」「トイレの心配(失禁など)」「耳の障害(聞こえの問題など)」「交通手段がない」が高くなっています。



【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	病 気	障 害 (脳卒中の後遺症など)	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 (失禁など)	耳 の 障 害 (聞こえの問題など)	目 の 障 害	外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全 体 (単純集計)		1,071	104	23	425	126	85	66	129	61	151	404	45
			9.7%	2.1%	39.7%	11.8%	7.9%	6.2%	12.0%	5.7%	14.1%	37.7%	4.2%
性 別	男性	357	46	11	117	35	26	27	52	26	38	142	10
			12.9%	3.1%	32.8%	9.8%	7.3%	7.6%	14.6%	7.3%	10.6%	39.8%	2.8%
女性		714	58	12	308	91	59	39	77	35	113	262	35
			8.1%	1.7%	43.1%	12.7%	8.3%	5.5%	10.8%	4.9%	15.8%	36.7%	4.9%
年 代 別	前期 (75歳未満)	417	33	8	85	22	7	21	58	29	25	245	18
			7.9%	1.9%	20.4%	5.3%	1.7%	5.0%	13.9%	7.0%	6.0%	58.8%	4.3%
後期 (75歳以上)		654	71	15	340	104	78	45	71	32	126	159	27
			10.9%	2.3%	52.0%	15.9%	11.9%	6.9%	10.9%	4.9%	19.3%	24.3%	4.1%
年 齢 分 類	65歳から69歳	189	7	3	30	6	1	7	30	17	8	119	6
			3.7%	1.6%	15.9%	3.2%	0.5%	3.7%	15.9%	9.0%	4.2%	63.0%	3.2%
	70歳から74歳	228	26	5	55	16	6	14	28	12	17	126	12
			11.4%	2.2%	24.1%	7.0%	2.6%	6.1%	12.3%	5.3%	7.5%	55.3%	5.3%
	75歳から79歳	211	26	4	76	23	14	9	28	10	22	82	8
			12.3%	1.9%	36.0%	10.9%	6.6%	4.3%	13.3%	4.7%	10.4%	38.9%	3.8%
	80歳から84歳	201	20	6	105	31	22	11	20	13	42	38	12
			10.0%	3.0%	52.2%	15.4%	10.9%	5.5%	10.0%	6.5%	20.9%	18.9%	6.0%
	85歳以上	242	25	5	159	50	42	25	23	9	62	39	7
			10.3%	2.1%	65.7%	20.7%	17.4%	10.3%	9.5%	3.7%	25.6%	16.1%	2.9%

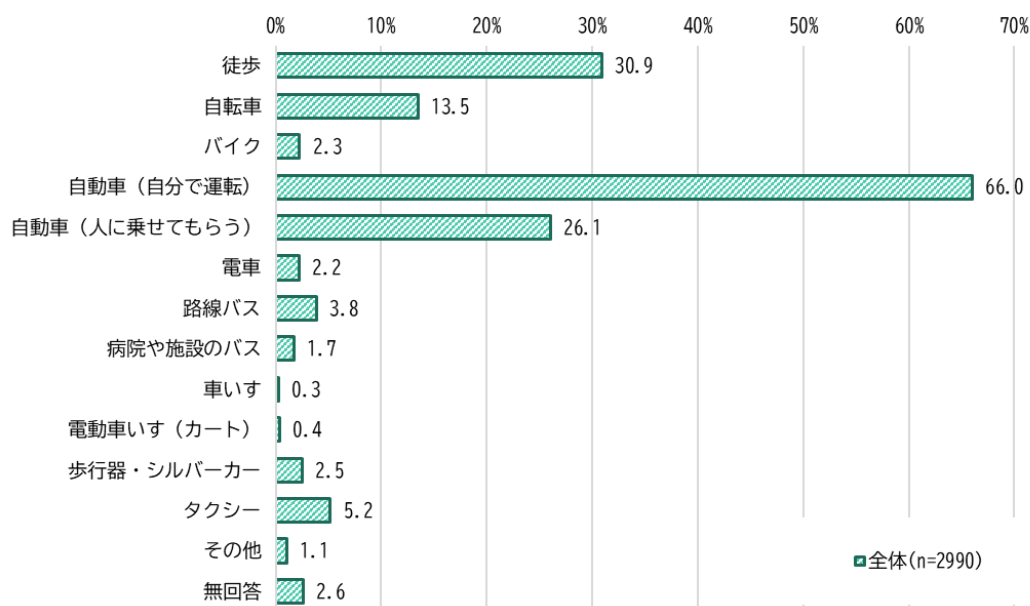
(9) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が66.0%と最も高く、次いで、「徒歩」30.9%、「自動車（人に乗せてもらう）」26.1%の順となっています。

性別でみると、男性では女性と比べて「自動車（自分で運転）」が高く、「自動車（人に乗せてもらう）」が低くなっており、25ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では後期（75歳以上）と比べて「自動車（自分で運転）」が高く、「自動車（人に乗せてもらう）」が低くなっており、15ポイント以上差が生じています。

年齢別でみると、84歳までは「自動車（自分で運転）」が最も高く5割を超えていますが、85歳以上では22.1%と2割台となっています。また、85歳以上では「自動車（人に乗せてもらう）」が最も高く、他の年齢層と比べて「歩行器・シルバーカー」「タクシー」が高くなっています。



【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体(単純集計)		2,990	925 30.9%	404 13.5%	68 2.3%	1,974 66.0%	779 26.1%	66 2.2%	115 3.8%	51 1.7%	9 0.3%	11 0.4%	75 2.5%	155 5.2%	32 1.1%	79 2.6%
性別	男性	1,334	420 31.5%	196 14.7%	32 2.4%	1,092 81.9%	162 12.1%	24 1.8%	21 1.6%	5 0.4%	3 0.2%	3 0.2%	7 0.5%	33 2.5%	10 0.7%	36 2.7%
	女性	1,656	505 30.5%	208 12.6%	36 2.2%	882 53.3%	617 37.3%	42 2.5%	94 5.7%	46 2.8%	6 0.4%	8 0.5%	68 4.1%	122 7.4%	22 1.3%	43 2.6%
年代別	前期(75歳未満)	1,445	474 32.8%	205 14.2%	35 2.4%	1,195 82.7%	252 17.4%	42 2.9%	32 2.2%	2 0.1%	0 0.0%	1 0.1%	5 0.3%	29 2.0%	7 0.5%	29 2.0%
	後期(75歳以上)	1,545	451 29.2%	199 12.9%	33 2.1%	779 50.4%	527 34.1%	24 1.6%	83 5.4%	49 3.2%	9 0.6%	10 0.6%	70 4.5%	126 8.2%	25 1.6%	50 3.2%
年齢分類	65歳から69歳	628	188 29.9%	85 13.5%	18 2.9%	546 86.9%	96 15.3%	19 3.0%	9 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.5%	9 1.4%	5 0.8%	10 1.6%
			286 35.0%	120 14.7%	17 2.1%	649 79.4%	156 19.1%	23 2.8%	23 2.8%	2 0.2%	0 0.0%	1 0.1%	2 0.2%	20 2.4%	2 0.2%	19 2.3%
	70歳から74歳	817	183 29.2%	86 13.7%	21 3.3%	428 68.3%	151 24.1%	14 2.2%	21 3.3%	4 0.6%	1 0.2%	1 0.2%	8 1.3%	21 3.3%	5 0.8%	20 3.2%
			146 29.1%	77 15.3%	9 1.8%	259 51.6%	180 35.9%	7 1.4%	26 5.2%	10 2.0%	4 0.8%	2 0.4%	8 1.6%	31 6.2%	9 1.8%	13 2.6%
	80歳から84歳	502	122 29.3%	36 8.7%	3 0.7%	92 22.1%	196 47.1%	3 0.7%	36 8.7%	35 8.4%	4 1.0%	7 1.7%	54 13.0%	74 17.8%	11 2.6%	17 4.1%
	85歳以上	416														

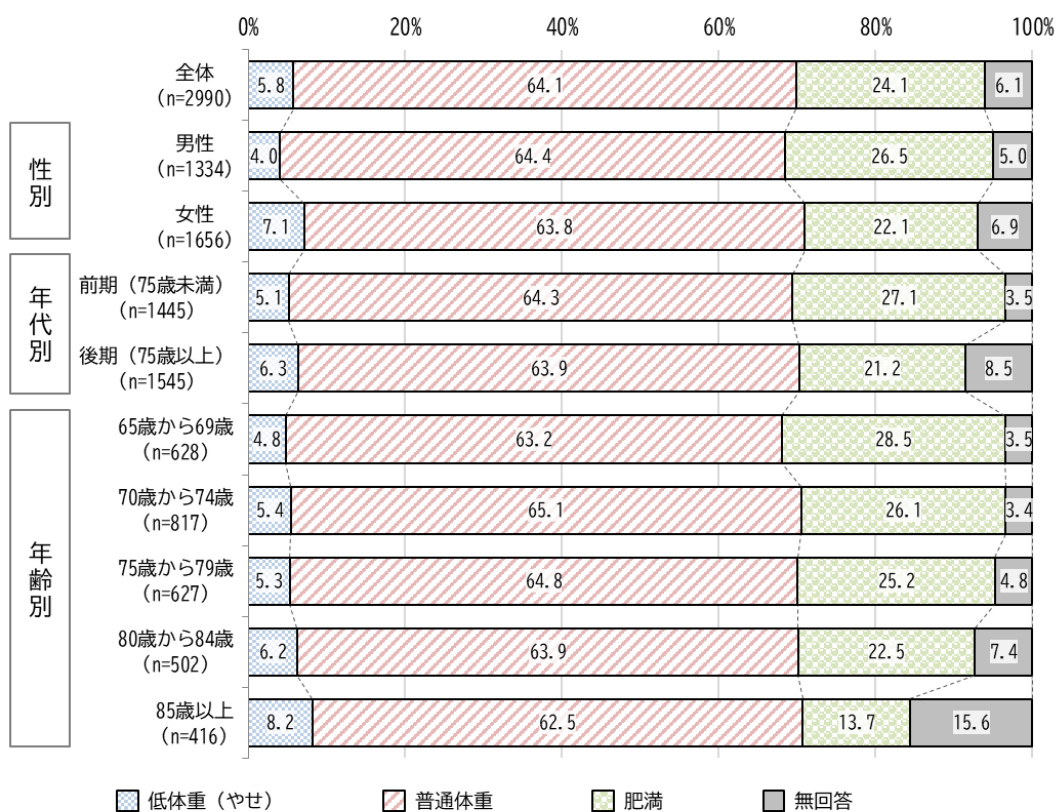
問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長と体重からBMI（肥満度を表す体格指数）を算出すると、「低体重（やせ）」が5.8%、「普通体重」が64.1%、「肥満」が24.1%となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「普通体重」が最も高く6割台となっていますが、年齢が高くなるにつれて「肥満」が低くなっています。



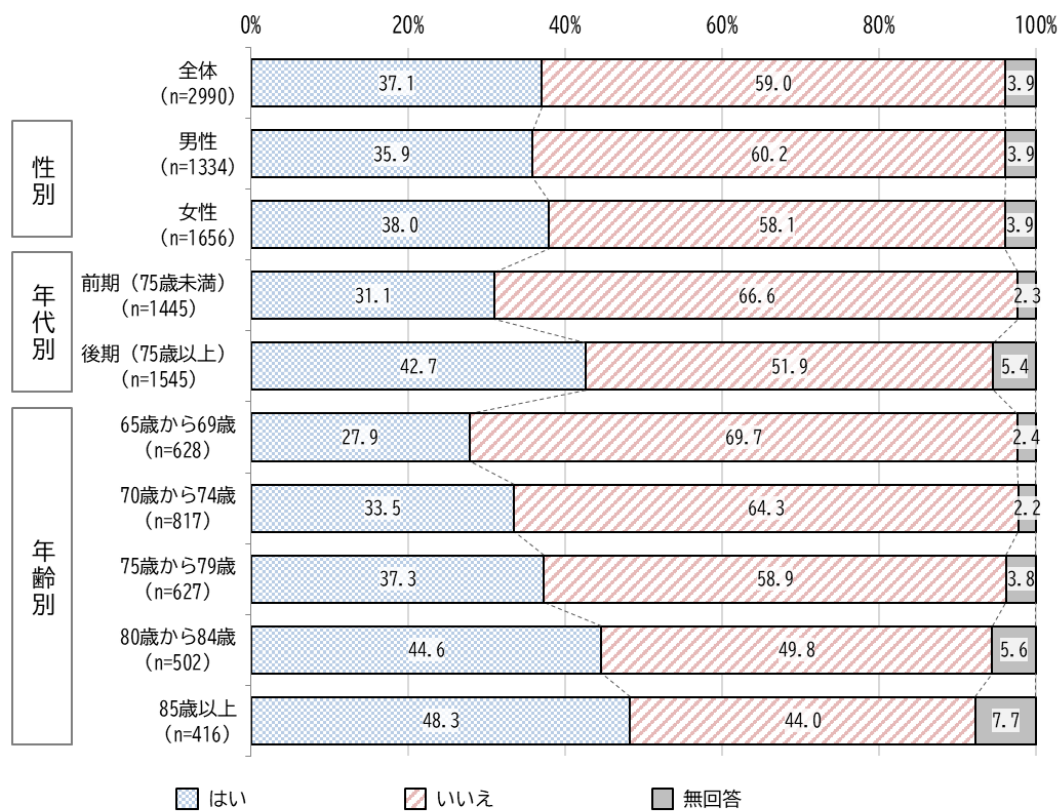
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

半年前に比べて固いものが食べにくくなったか尋ねたところ、「はい」が37.1%、「いいえ」が59.0%となっています。

性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、後期（75歳以上）では前期（75歳未満）と比べて「はい」が高く、「いいえ」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「はい」が高くなっており、85歳以上では「いいえ」を上回っています。

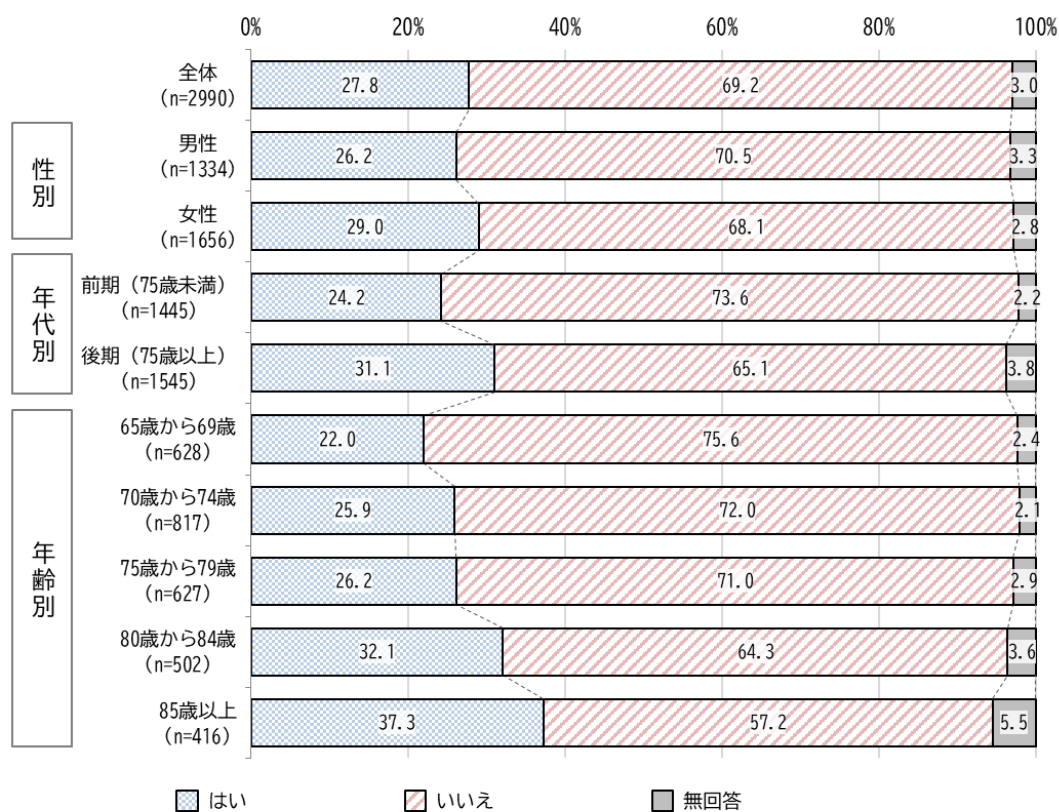


(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物等でむせることがあるか尋ねたところ、「はい」が27.8%、「いいえ」が69.2%となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「はい」が高く、「いいえ」が低くなっています。

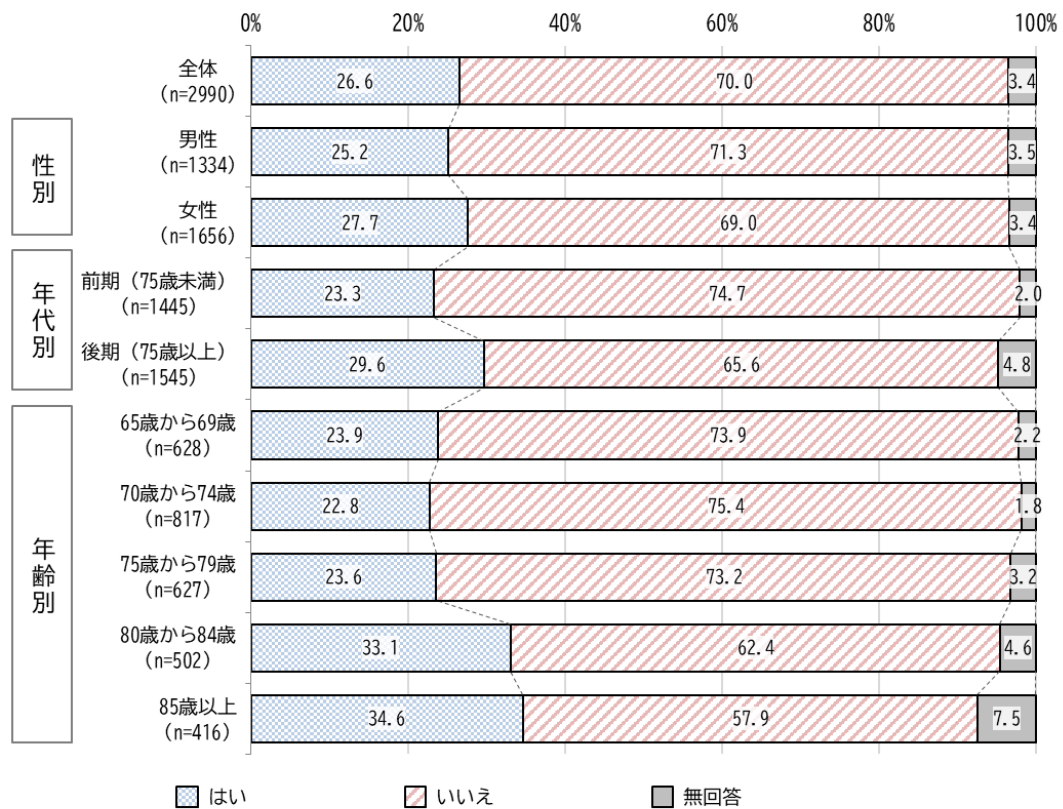


(4) 口の渇きが気になりますか

口の渇きが気になるか尋ねたところ、「はい」が26.6%、「いいえ」が70.0%となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

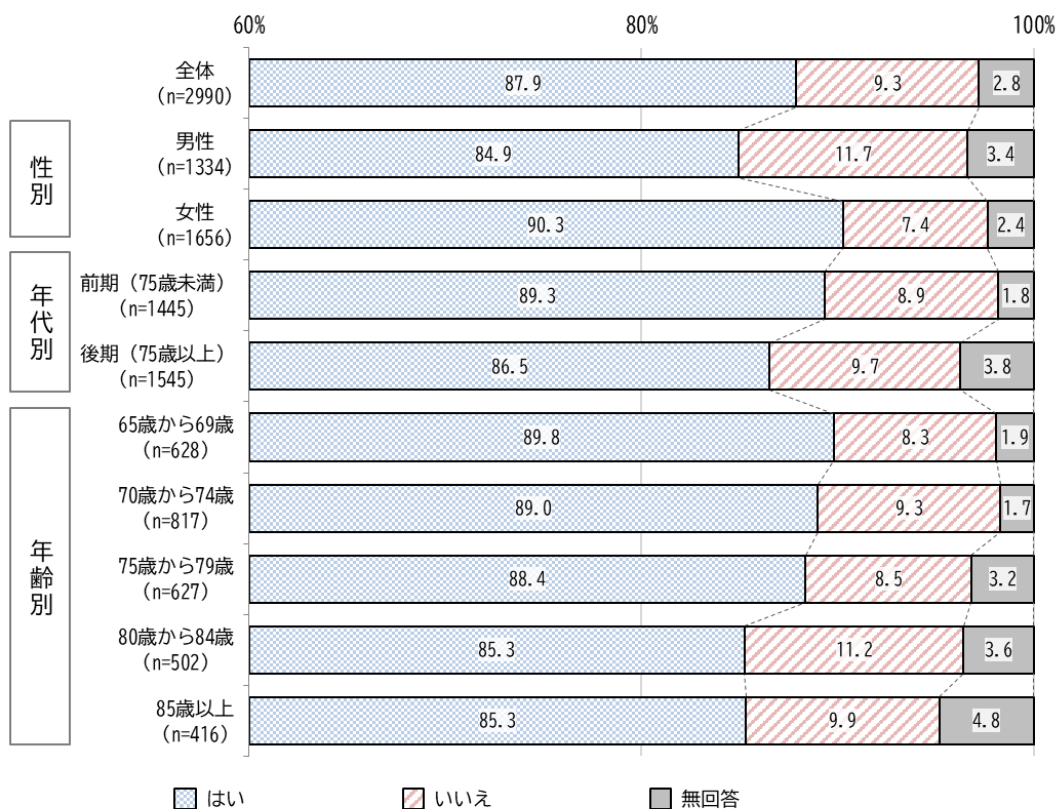
年齢別でみると、80歳以上では「はい」が3割を超えています。



(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

歯磨きの習慣については、「はい」が87.9%、「いいえ」が9.3%となっており、「はい」が「いいえ」を大きく上回っています。

性別、年代別、年齢別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。



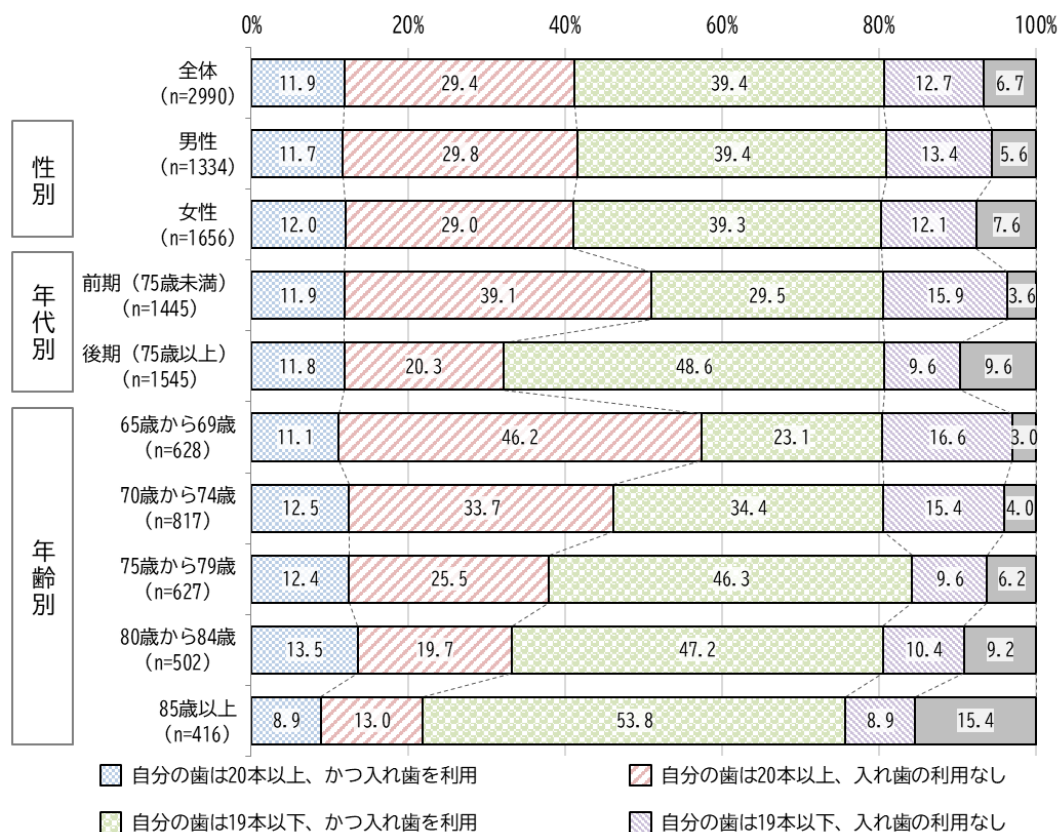
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が39.4%と最も高く、次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」29.4%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」12.7%の順となっています。

性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、後期(75歳以上)では前期(75歳未満)と比べて「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が低く、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が高く、20ポイント近く差が生じています。

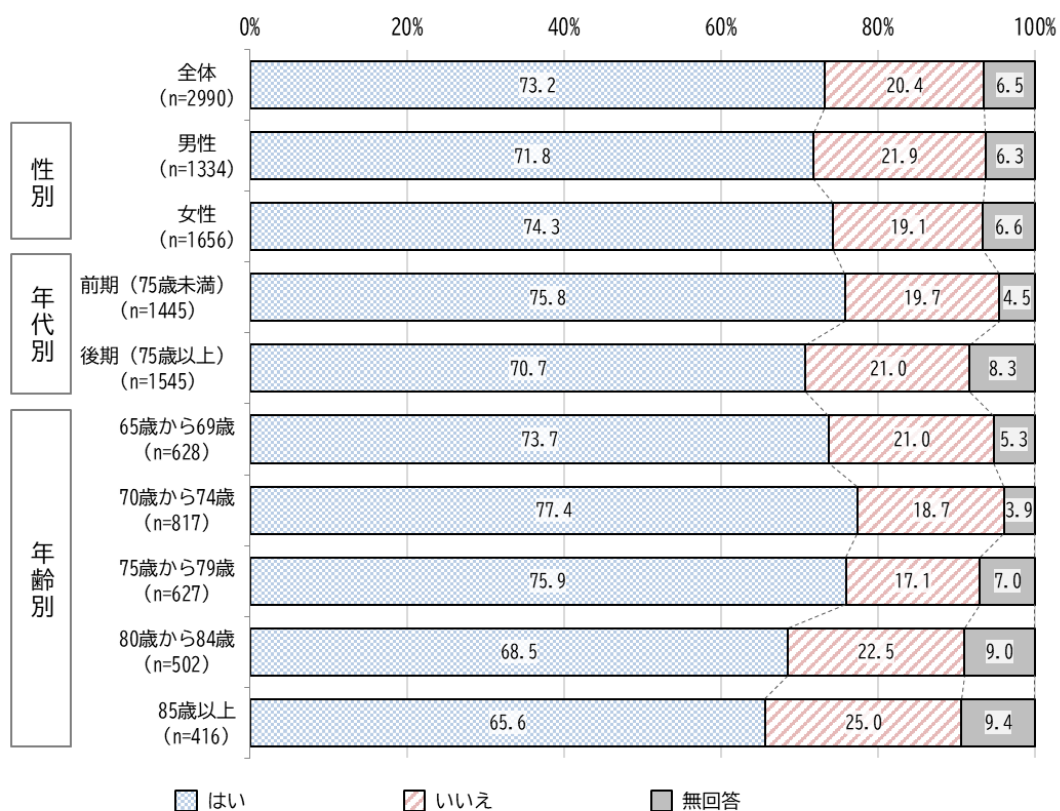
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が低く、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が高くなっています。



①噛み合わせは良いですか

噛み合わせが良いか尋ねたところ、「はい」が73.2%、「いいえ」が20.4%となっています。

性別、年代別、年齢別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

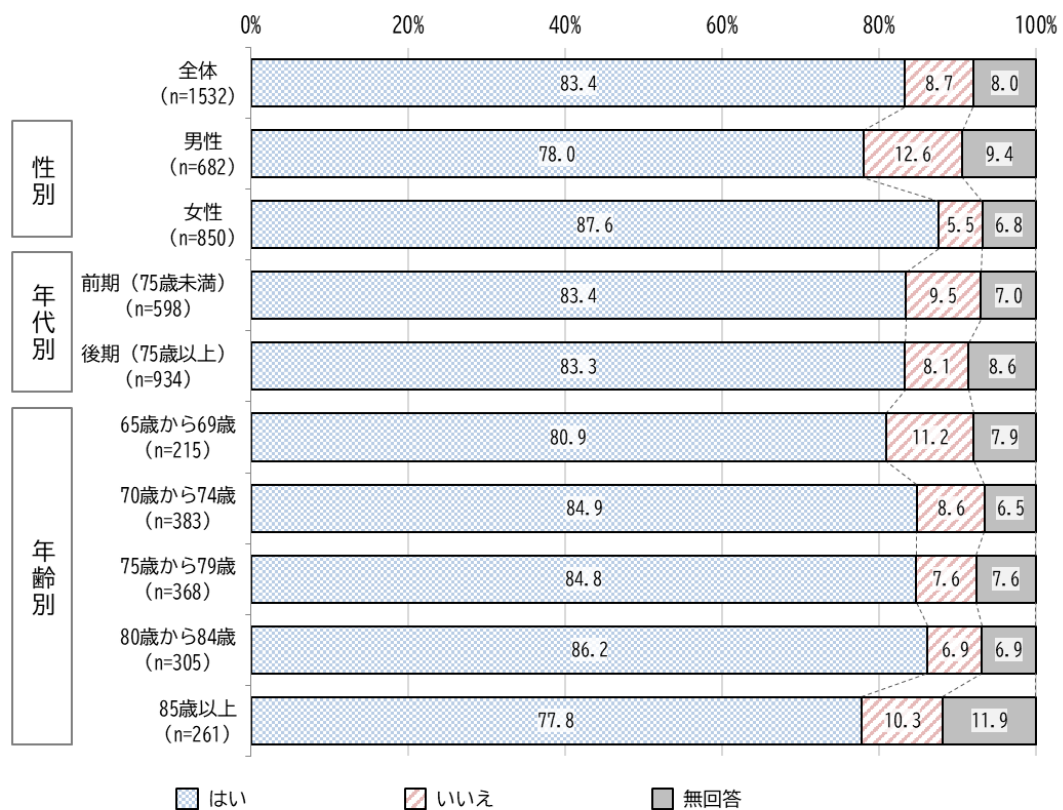


【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

②毎日入れ歯の手入れをしていますか

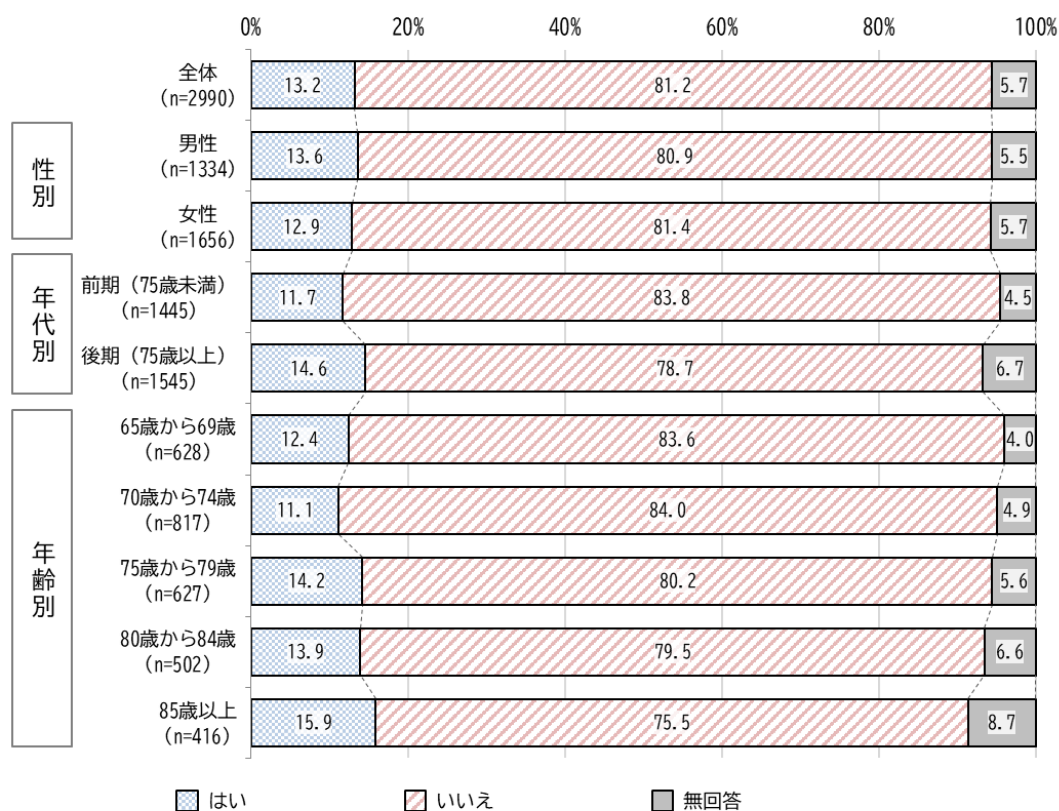
毎日の入れ歯の手入れの状況については、「はい」が83.4%、「いいえ」が8.7%となっており、「はい」が「いいえ」を大きく上回っています。

性別、年代別、年齢別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。



(7) 6か月間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか

6か月間で2～3 kg以上の体重減少があったか尋ねたところ、「はい」が13.2%、「いいえ」が81.2%となっており、「いいえ」が「はい」を大きく上回っています。性別、年代別、年齢別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。



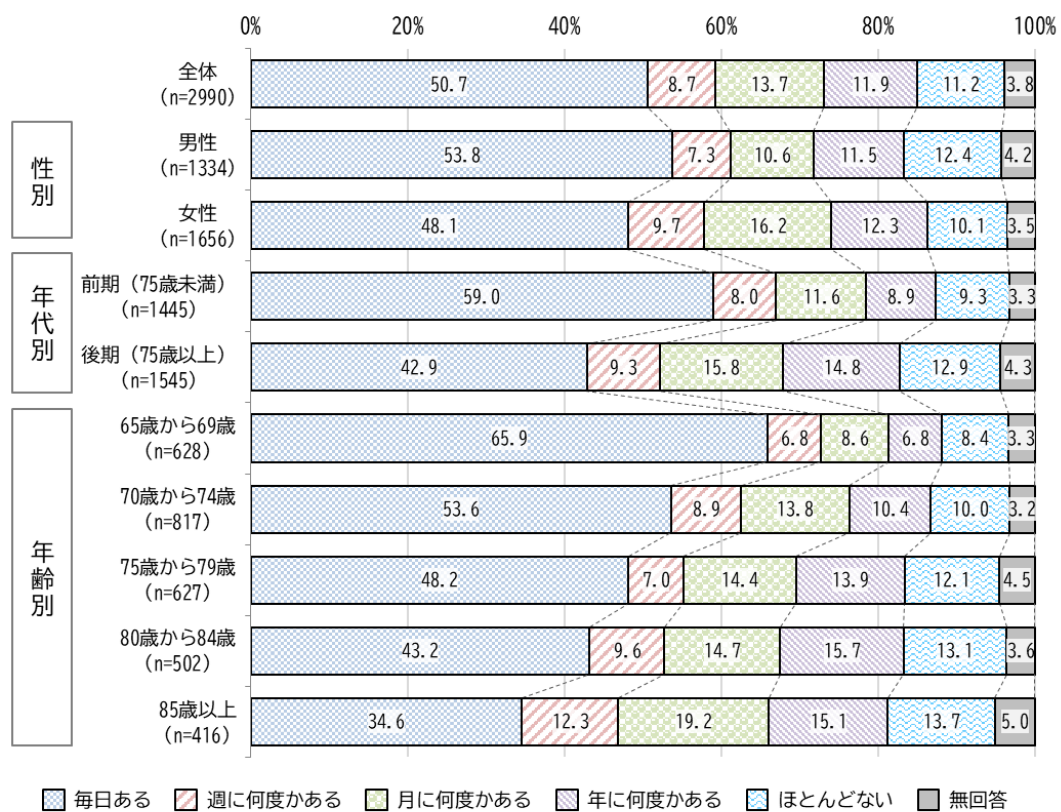
(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

誰かと食事を一緒にする機会があるか尋ねたところ、「毎日ある」が50.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」13.7%、「年に何度かある」11.9%の順となっています。

性別でみても、男女ともに「毎日ある」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「毎日ある」が59.0%と6割近い割合となっており、後期（75歳以上）42.9%と比べて16.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「毎日ある」が低く、「月に何度かある」「ほとんどない」が高くなっています。



問4 毎日の生活について

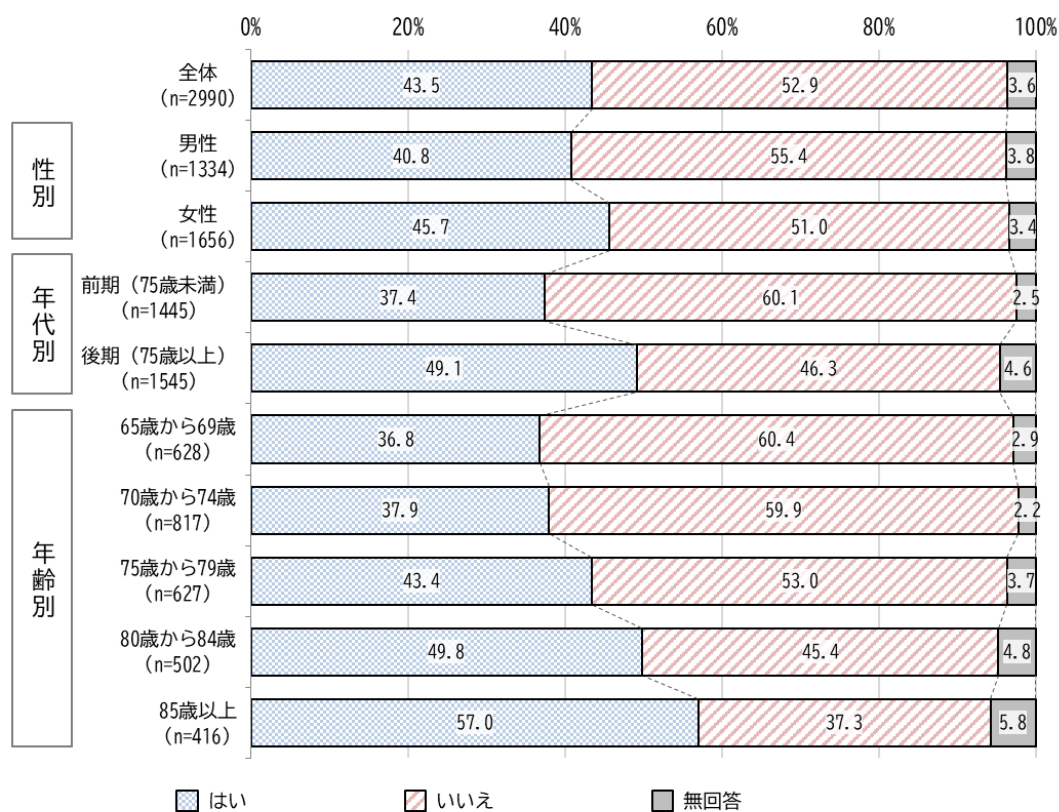
(1) 物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が43.5%、「いいえ」が52.9%となっています。

性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、後期（75歳以上）では前期（75歳未満）と比べて「はい」が高く、「いいえ」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

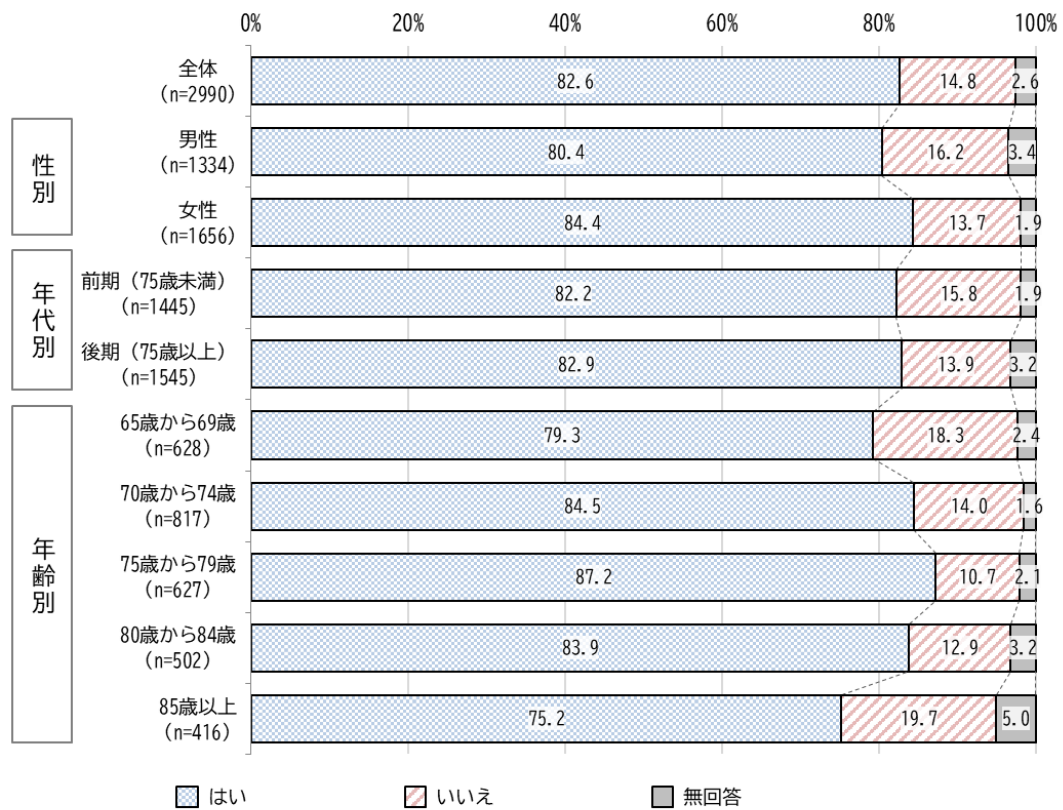
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「はい」が高くなっており、80歳以上では「いいえ」を上回っています。



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

自分で電話番号を調べて電話をかけているか尋ねたところ、「はい」が82.6%、「いいえ」が14.8%となっており、「はい」が「いいえ」を大きく上回っています。

性別、年代別、年齢別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。



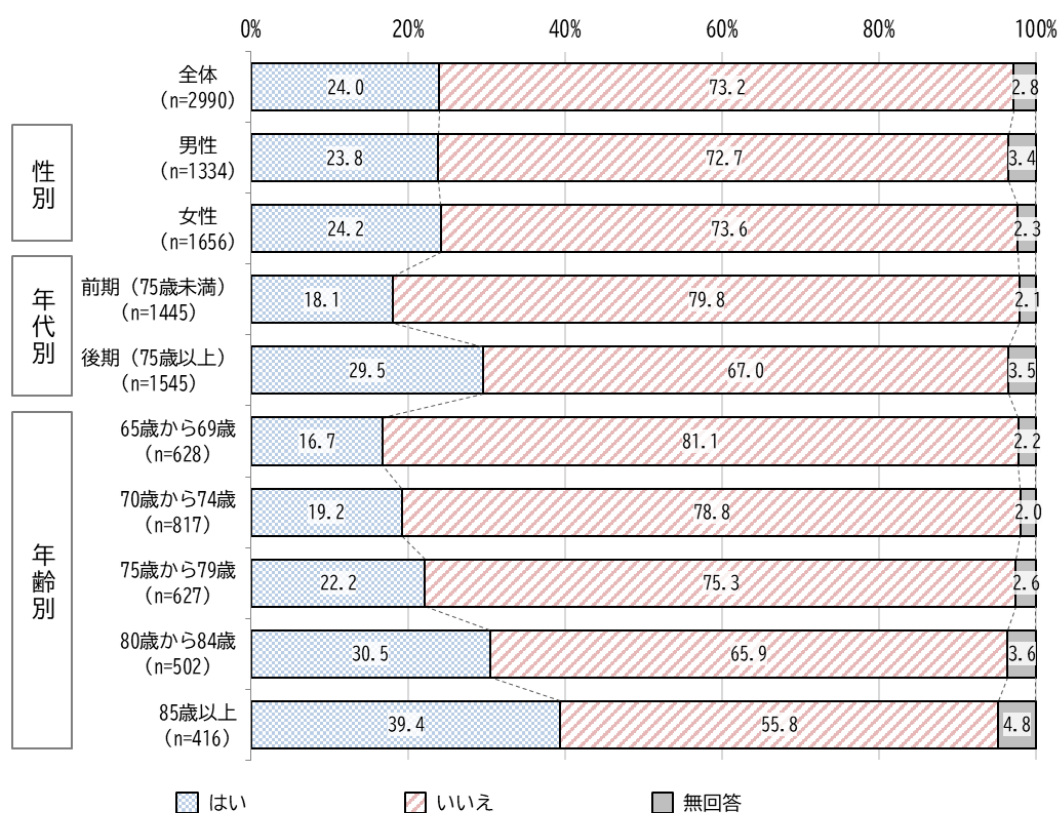
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

今日が何月何日かわからない時があるか尋ねたところ、「はい」が24.0%、「いいえ」が73.2%となっています。

性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、後期（75歳以上）では前期（75歳未満）と比べて「はい」が高く、「いいえ」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「はい」が高く、「いいえ」が低くなっていきます。



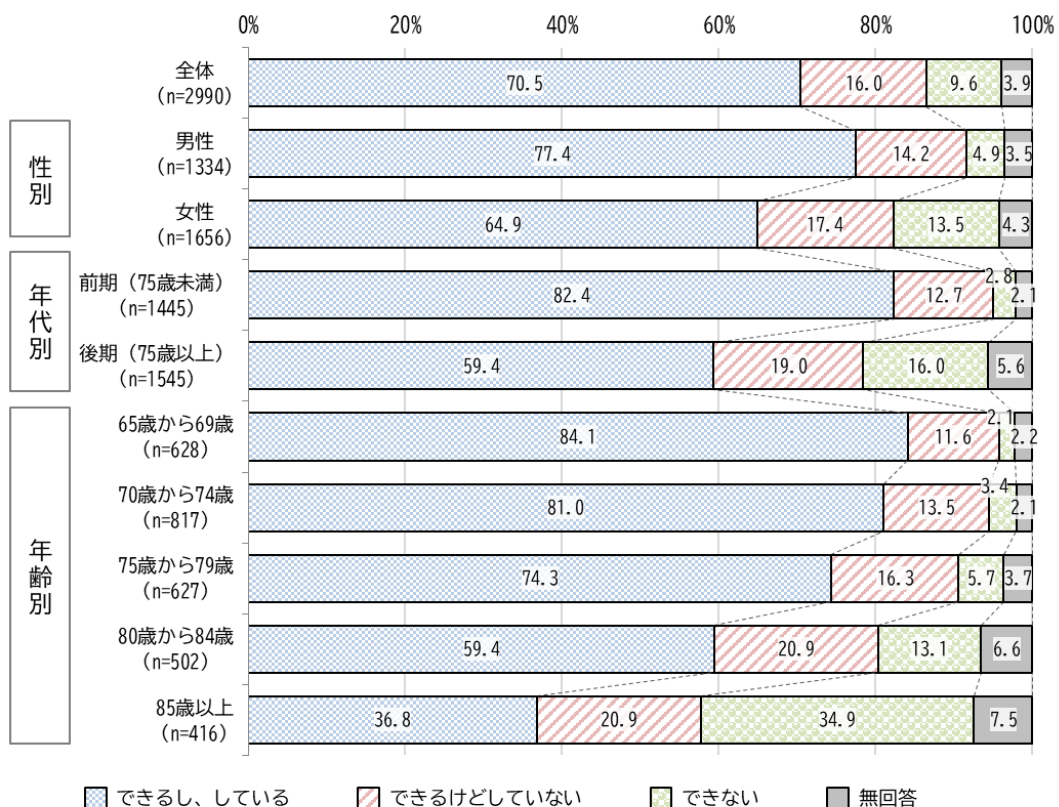
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

バスや電車を使用しての1人での外出状況については、「できるし、している」が70.5%、「できるけどしていない」が15.9%、「できない」が9.6%となっています。

性別でみると、男性では「できるし、している」が77.4%となっており、女性64.9%と比べて12.5ポイント高くなっています。

年代別でみると、後期（75歳以上）では前期（75歳未満）と比べて「できるし、している」が低く、「できるけどしていない」「できない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」が低く、「できるけどしていない」「できない」が高くなっています。また、84歳までは「できるし、している」が5割を超えていますが、85歳以上では3割台となっており、反対に85歳以上では「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合が55.8%と5割を超えています。



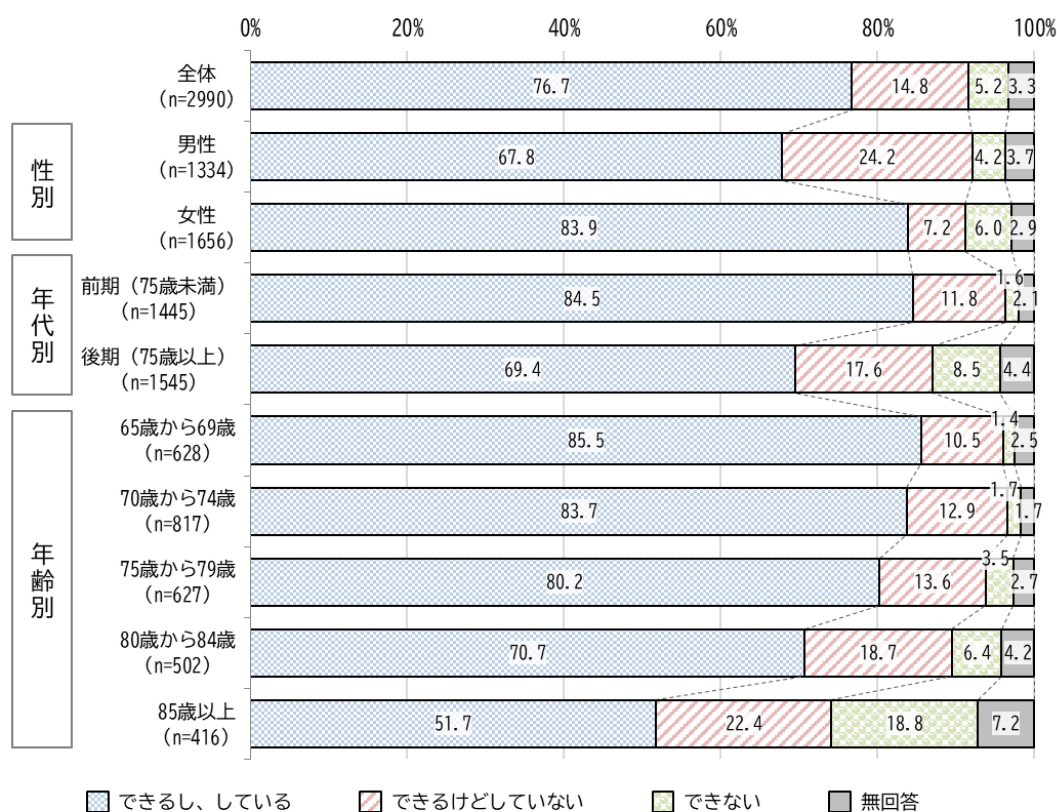
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

自身で食品・日用品の買物をしているか尋ねたところ、「できるし、している」が76.7%、「できるけどしていない」が14.8%、「できない」が5.2%となっています。

性別でみると、女性では男性と比べて「できるし、している」高く、「できるけどしていない」が低くなっており、15ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「できるし、している」が84.5%と後期（75歳以上）69.4%と比べて15.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」が低く、「できるけどしていない」「できない」が高くなっています。



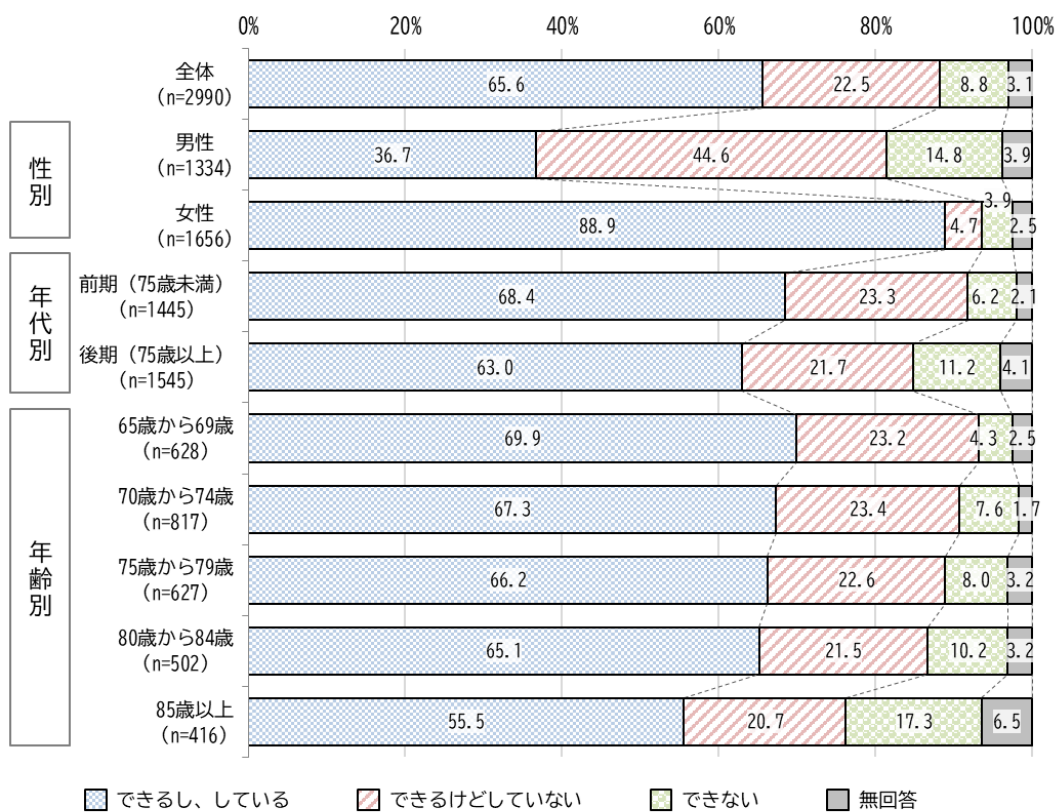
(6) 自分で食事の用意をしていますか

自身で食事の用意をしているか尋ねたところ、「できるし、している」が65.6%、「できるけどしていない」が22.5%、「できない」が8.8%となっています。

性別でみると、女性では「できるし、している」が88.9%と9割近くとなっていますが、男性では「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合が59.4%と約6割を占めています。

年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「できるし、している」が低く、「できない」が高くなっています。



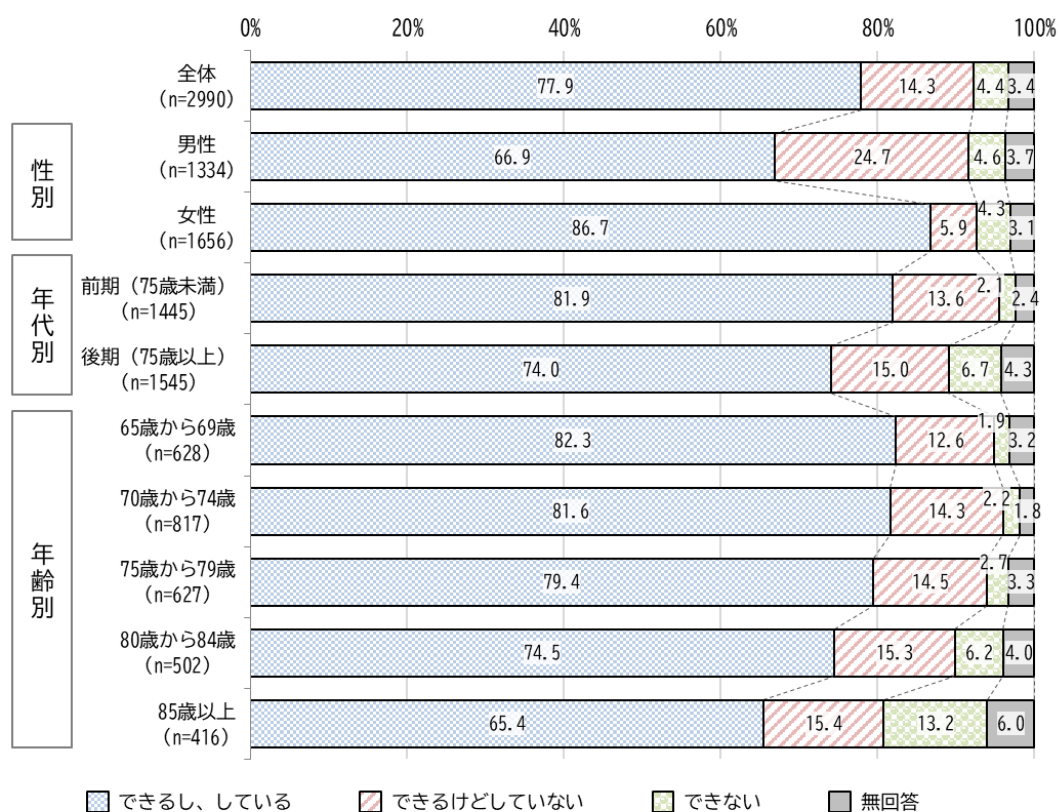
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

自身で請求書の支払いをしているか尋ねたところ、「できるし、している」が77.9%、「できるけどしていない」が14.3%、「できない」が4.4%となっています。

性別でみると、男性では女性と比べて「できるけどしていない」が高く、「できるし、している」が低くなっており、20ポイント近い差が生じています。

年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、年齢を重ねても「できるし、している」が6割と高い水準を維持しているものの、年齢が高くなるにつれて「できるけどしていない」「できない」が高くなっています。



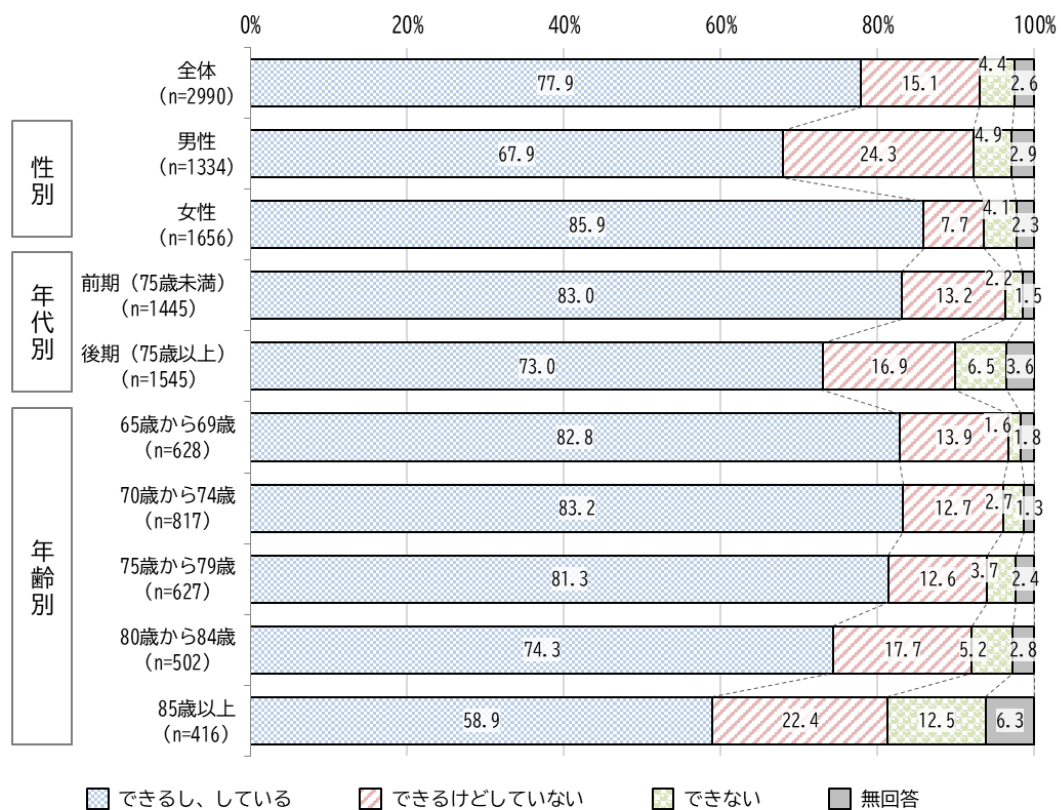
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自身で預貯金の出し入れをしているか尋ねたところ、「できるし、している」が77.9%、「できるけどしていない」が15.1%、「できない」が4.4%となっています。

性別でみると、男性では女性と比べて「できるけどしていない」が高く、「できるし、している」が低く高くなっており、15ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、後期（75歳以上）では「できるし、している」が73.0%と前期（75歳未満）83.0%と比べて10.0ポイント低くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「できるし、している」が最も高く84歳までは7割以上となっていますが、85歳以上では5割台となり、反対に「できるけどしていない」「できない」を合わせた割合が34.9%と3割を超えています。



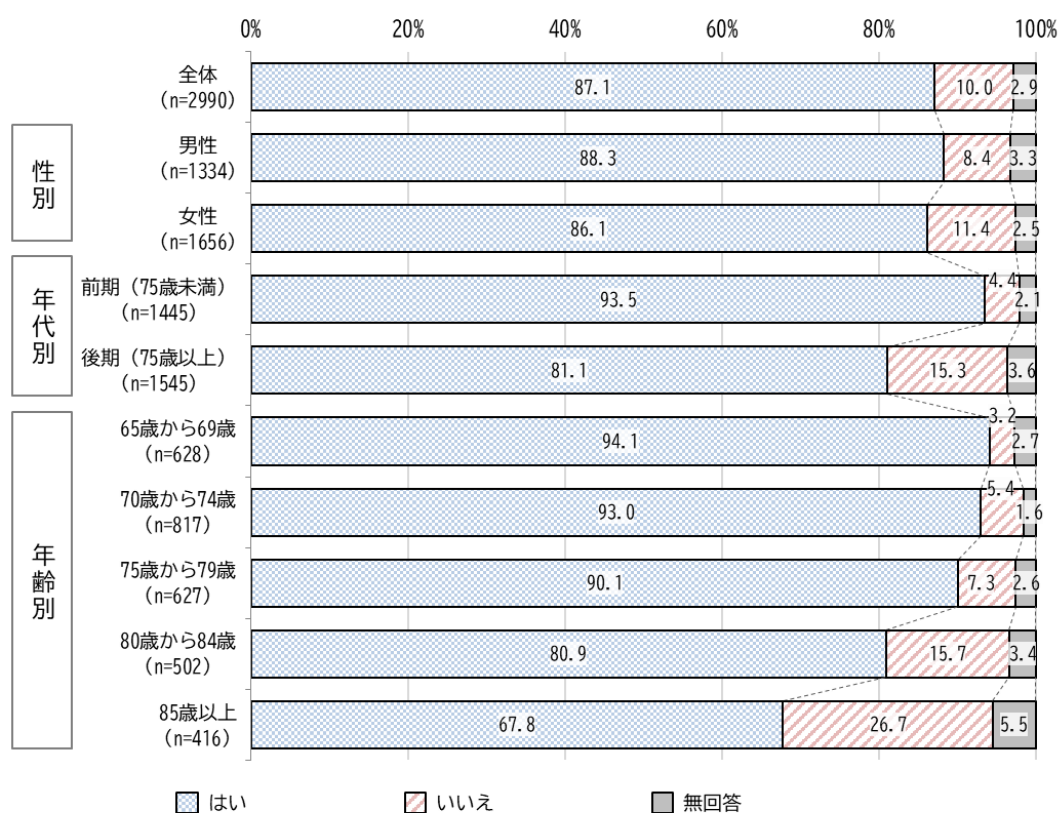
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

年金などの書類の記入が可能か尋ねたところ、「はい」が87.1%、「いいえ」が10.0%となっています。

性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「はい」が93.5%と9割を超えており、後期（75歳以上）81.1%と比べて12.4ポイント高くなっています。

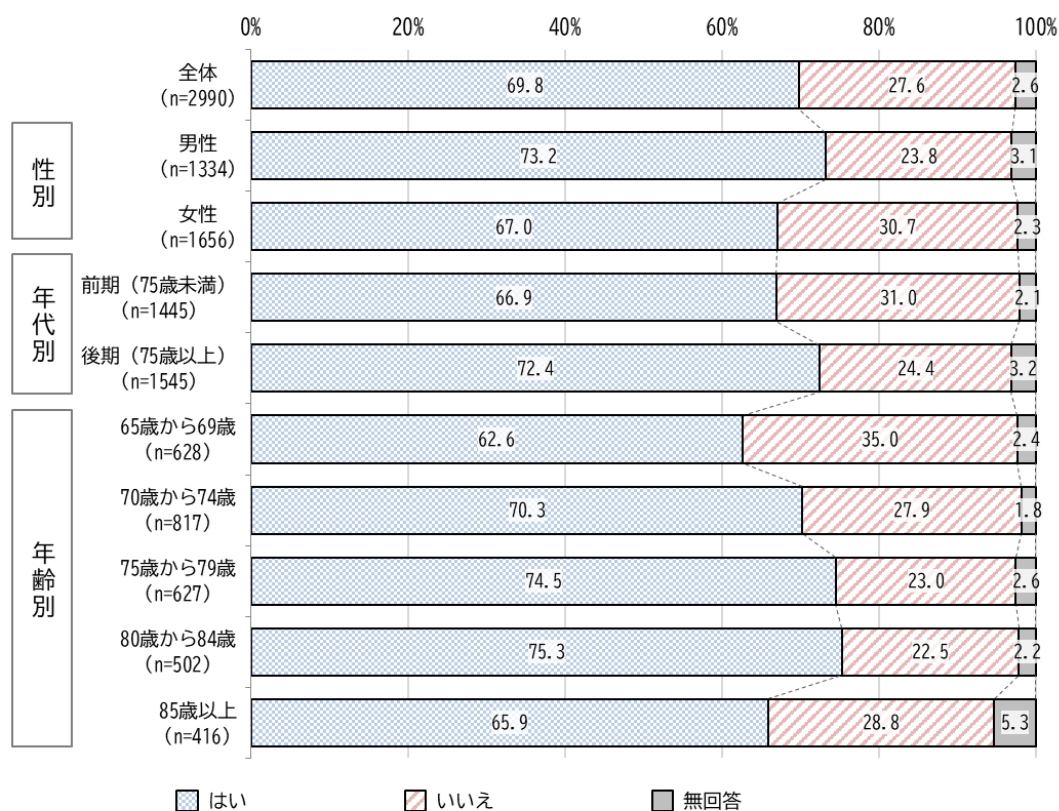
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「はい」が低く、「いいえ」が高くなっています。



(10) 新聞を読んでいますか

新聞を読んでいるか尋ねたところ、「はい」が69.8%、「いいえ」が27.6%となっています。

性別、年代別、年齢別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

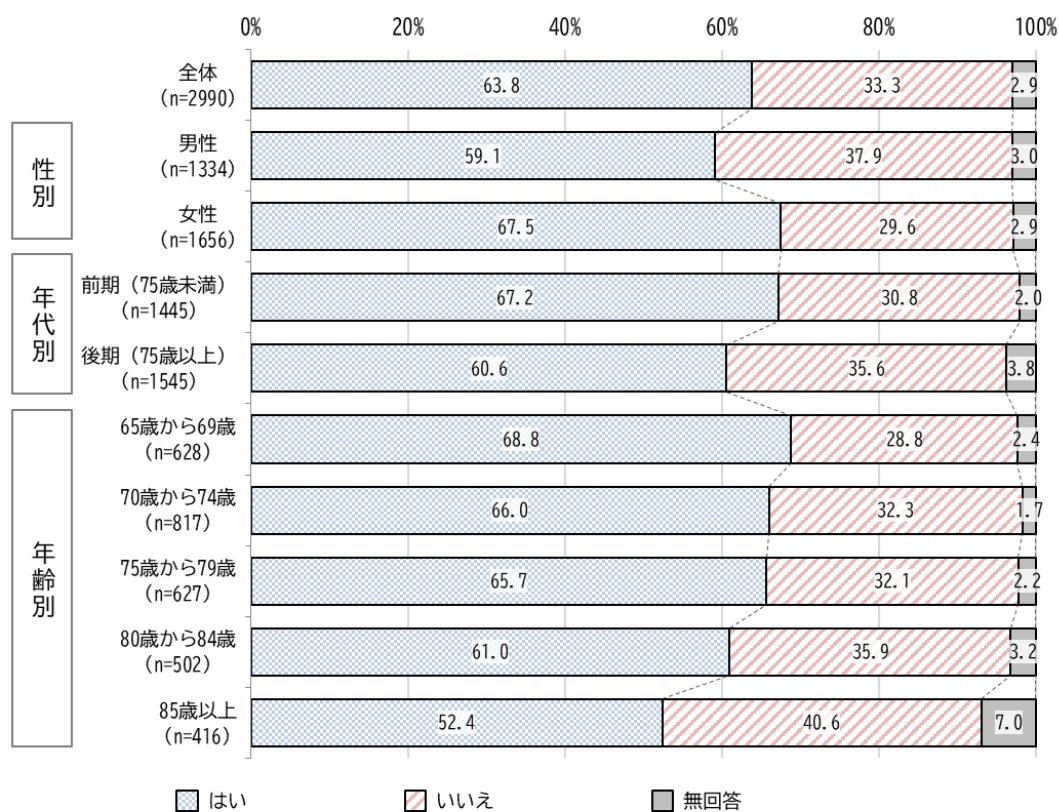


(11) 本や雑誌を読んでいますか

本、雑誌を読んでいるか尋ねたところ、「はい」が63.8%、「いいえ」が33.3%となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

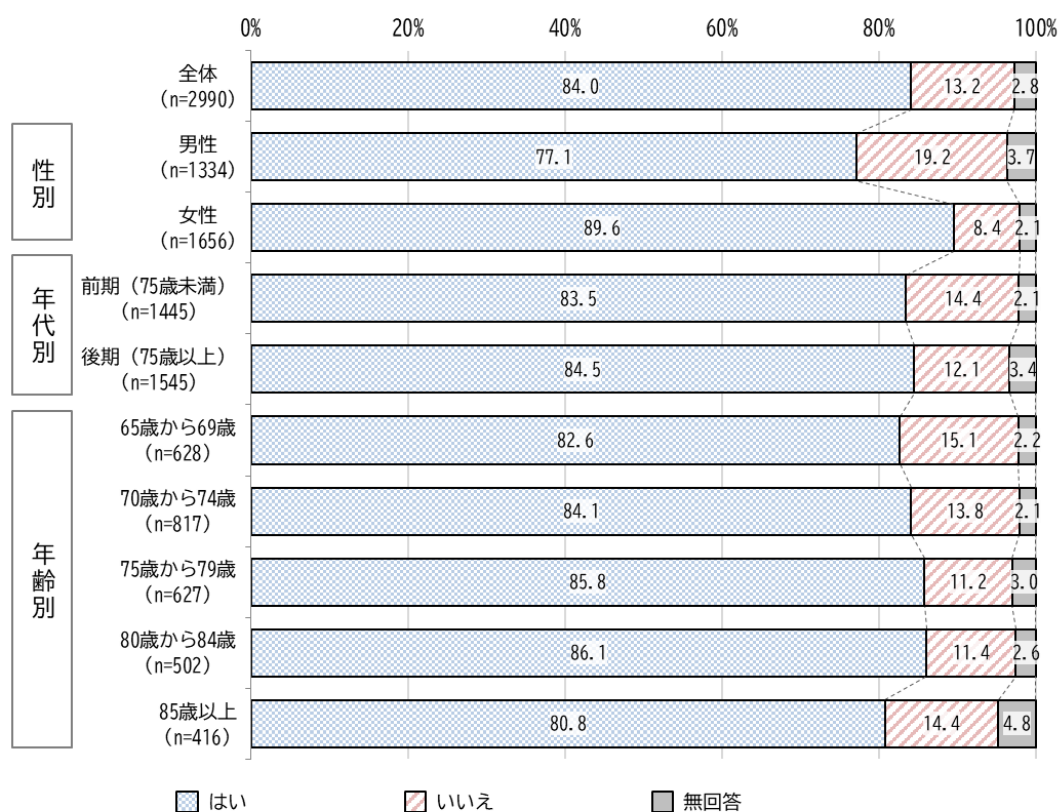
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「はい」が低く、「いいえ」が高くなっています。



(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

健康についての記事や番組への関心があるか尋ねたところ、「はい」が84.0%、「いいえ」が13.2%となっており、「はい」が「いいえ」を大きく上回っています。

性別、年代別、年齢別でも「はい」が7割以上を占めており、全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

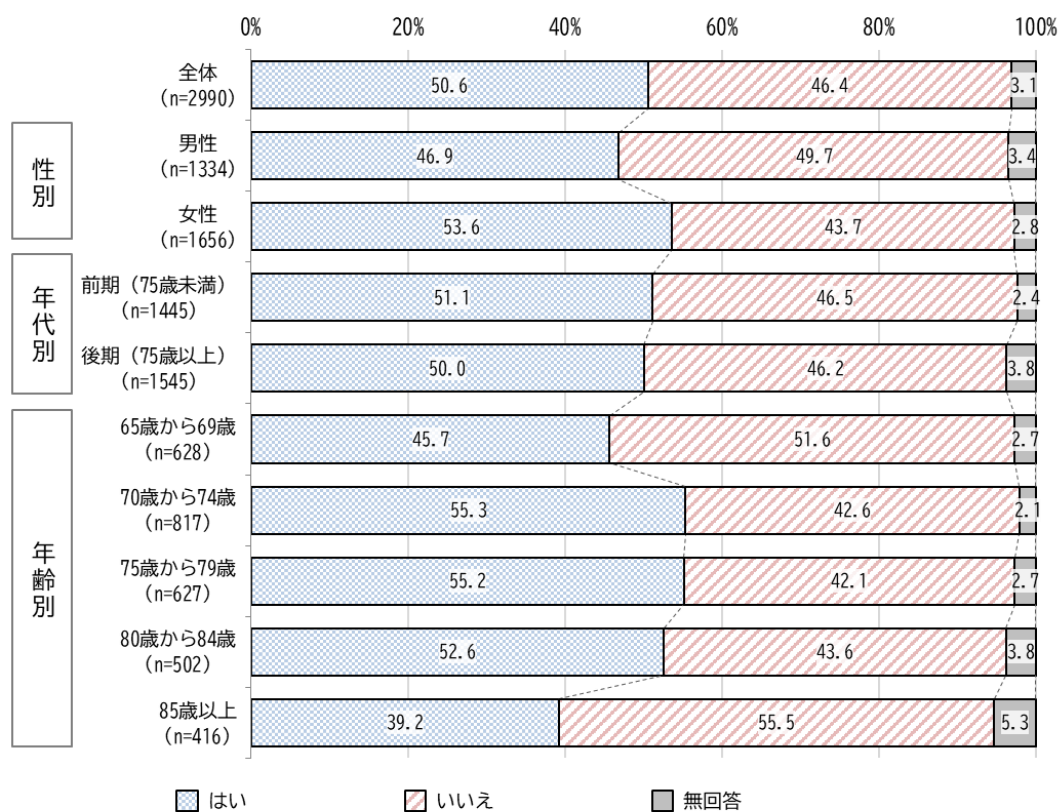


(13) 友人の家を訪ねていますか

友人の家への訪問については、「はい」が50.6%、「いいえ」が46.4%となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、70歳から84歳では「はい」が過半数を超えていますが、65歳から69歳及び85歳以上では「いいえ」が「はい」を上回っています。

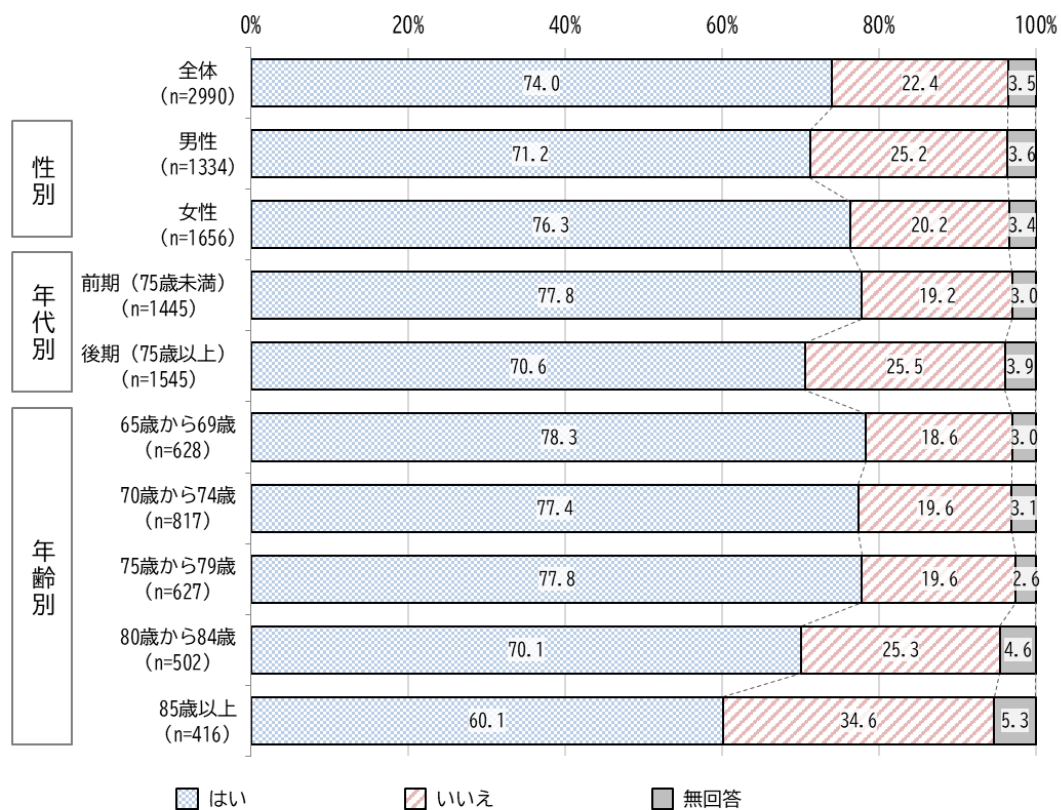


(14) 家族や友人の相談にのっていますか

家族や友人の相談にのっているか尋ねたところ、「はい」が74.0%、「いいえ」が22.4%となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「はい」が低く、「いいえ」が高くなっています。

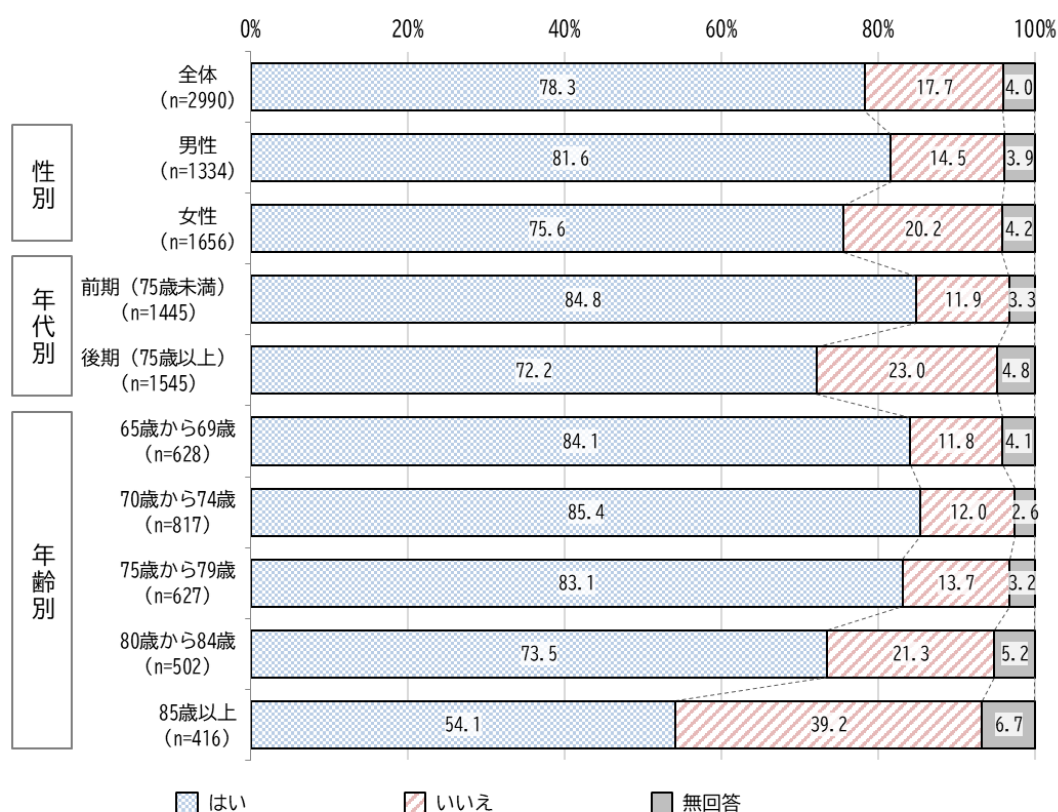


(15) 病人を見舞うことができますか

病人の見舞いについては、「はい」が78.3%、「いいえ」が17.7%となっています。性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、後期（75歳以上）では前期（75歳未満）と比べて「はい」が低く、「いいえ」が高くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「いいえ」が高くなっています。

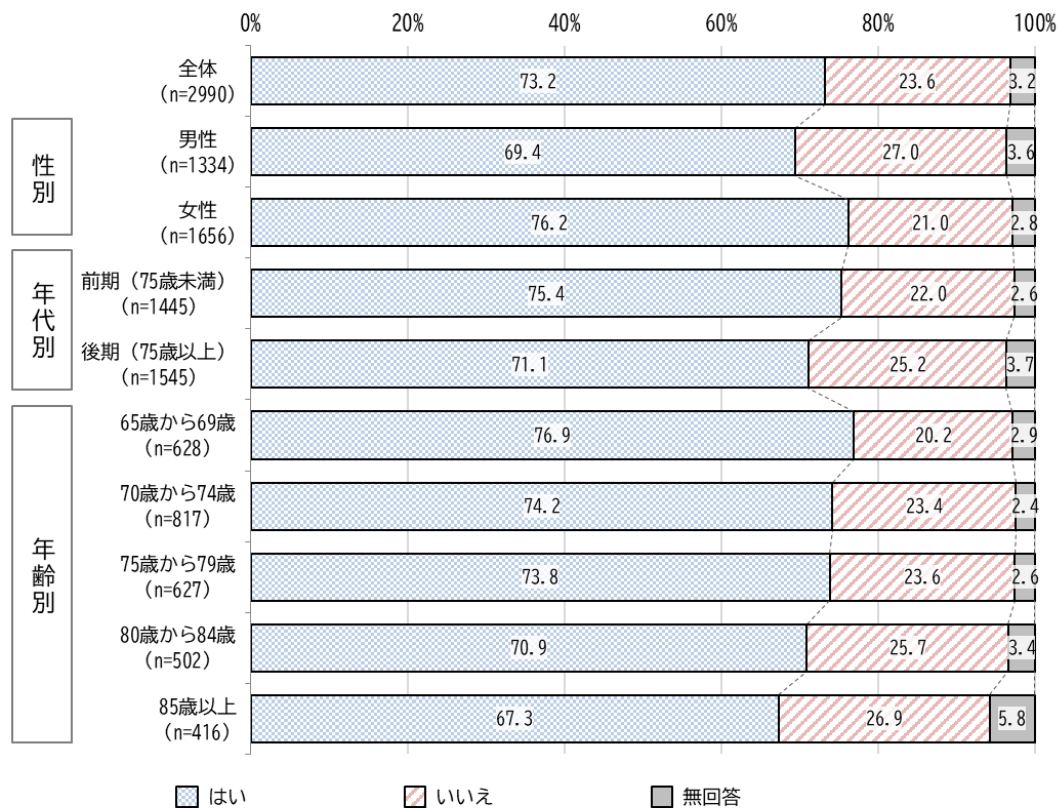


(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

若い人に自分から話しかけることがあるか尋ねたところ、「はい」が73.2%、「いいえ」が23.6%となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢が高くなるにつれて、「はい」が低く、「いいえ」が高くなっています。

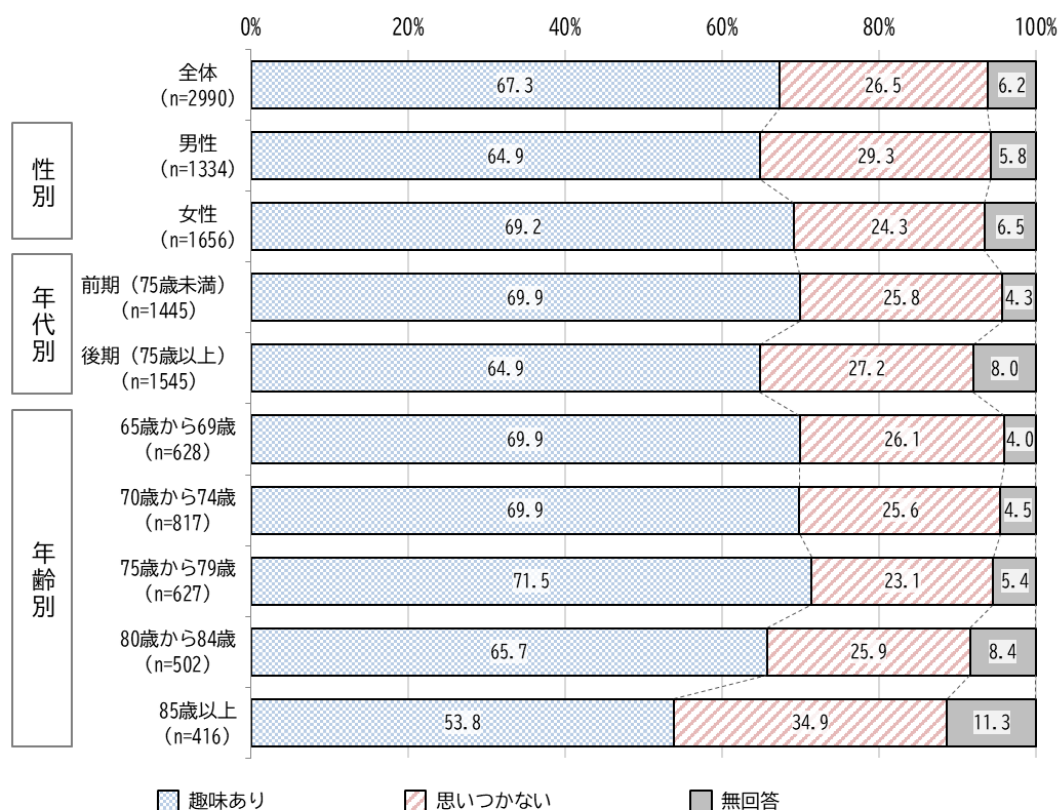


(17) 趣味はありますか

趣味の有無については、「趣味あり」が67.3%、「思いつかない」が26.5%となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

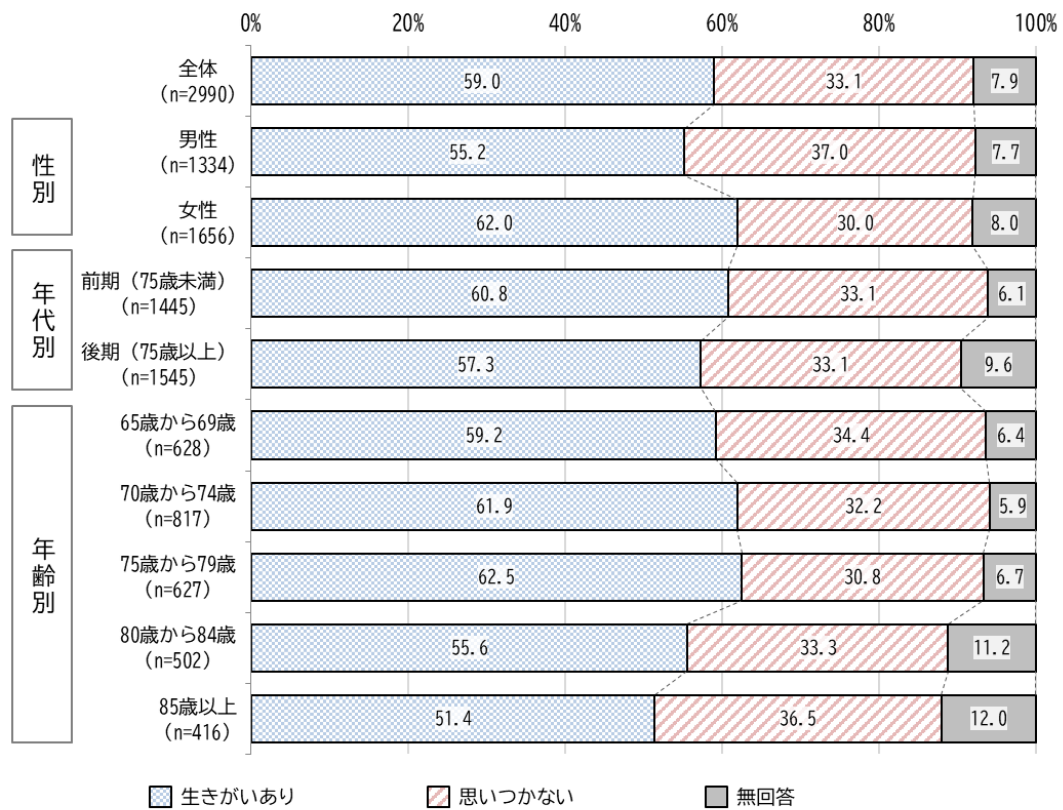
年齢別でも、いずれの年齢層も「趣味あり」が過半数以上を占めていますが、85歳以上では「思いつかない」が34.9%となっています。



(18) 生きがいがありますか

生きがいがあるか尋ねたところ、「生きがいあり」が59.0%、「思いつかない」が33.1%となっています。

性別、年代別、年齢別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。



問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

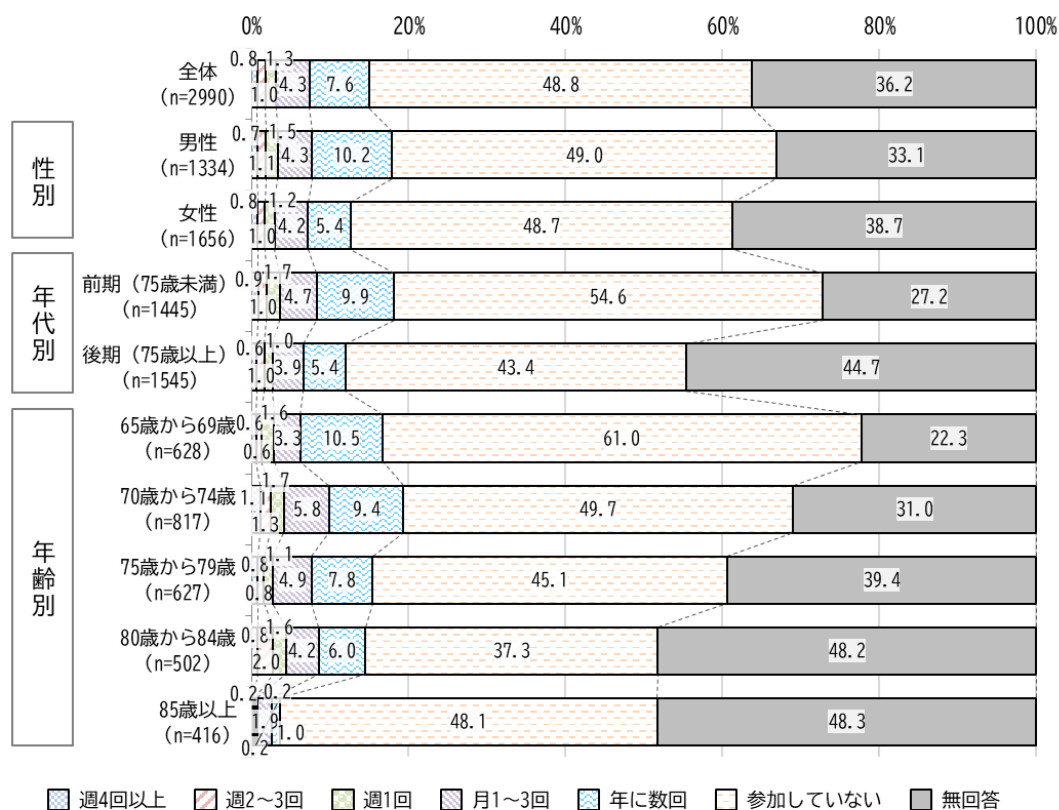
※① - ⑧それぞれに回答してください

①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加頻度については、「参加していない」が48.8%と最も高く、次いで、「年に数回」7.6%、「月1～3回」4.3%の順となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でも、「参加していない」が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれて「年に数回」が低くなっています。



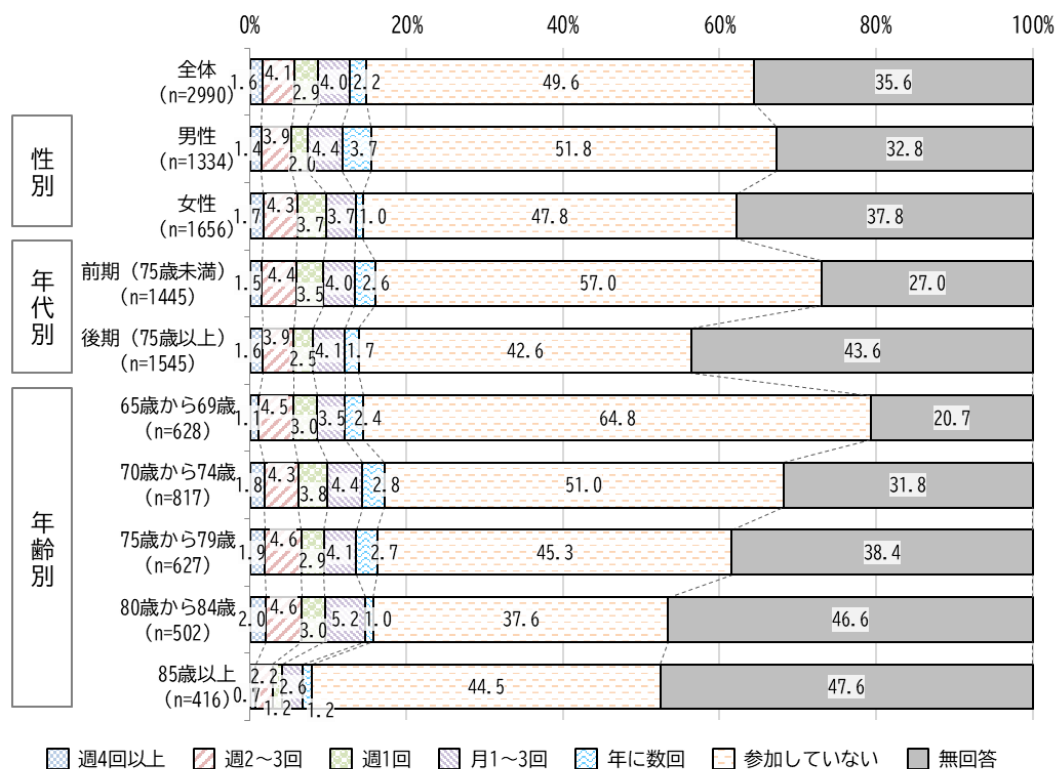
②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度については、「参加していない」が49.6%と最も高く、次いで、「週2～3回」4.1%、「月1～3回」4.0%の順となっています。

性別でみても、男女ともに「参加していない」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「参加していない」が57.0%と5割を超えており、後期（75歳以上）42.6%と比べて14.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加していない」が最も高く、特に65歳から74歳では過半数を超えています。



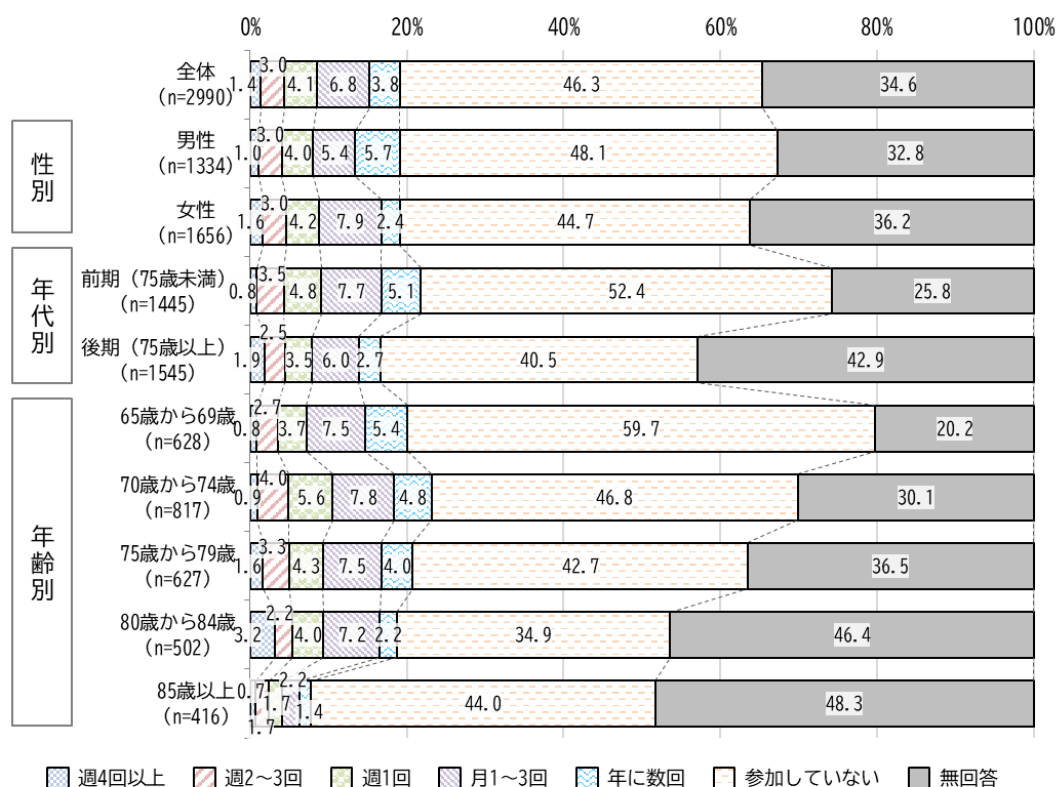
③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加頻度については、「参加していない」が46.3%と最も高く、次いで、「月1～3回」6.8%、「週1回」4.1%の順となっています。

性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「参加していない」が52.4%と5割を超えており、後期（75歳以上）40.5%と比べて11.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加していない」が最も高く、特に65歳から69歳では59.7%と6割近くを占めています。また、79歳までは参加率が2割台となっていますが、80歳以上では2割を切り、85歳以上では1割を切っています。



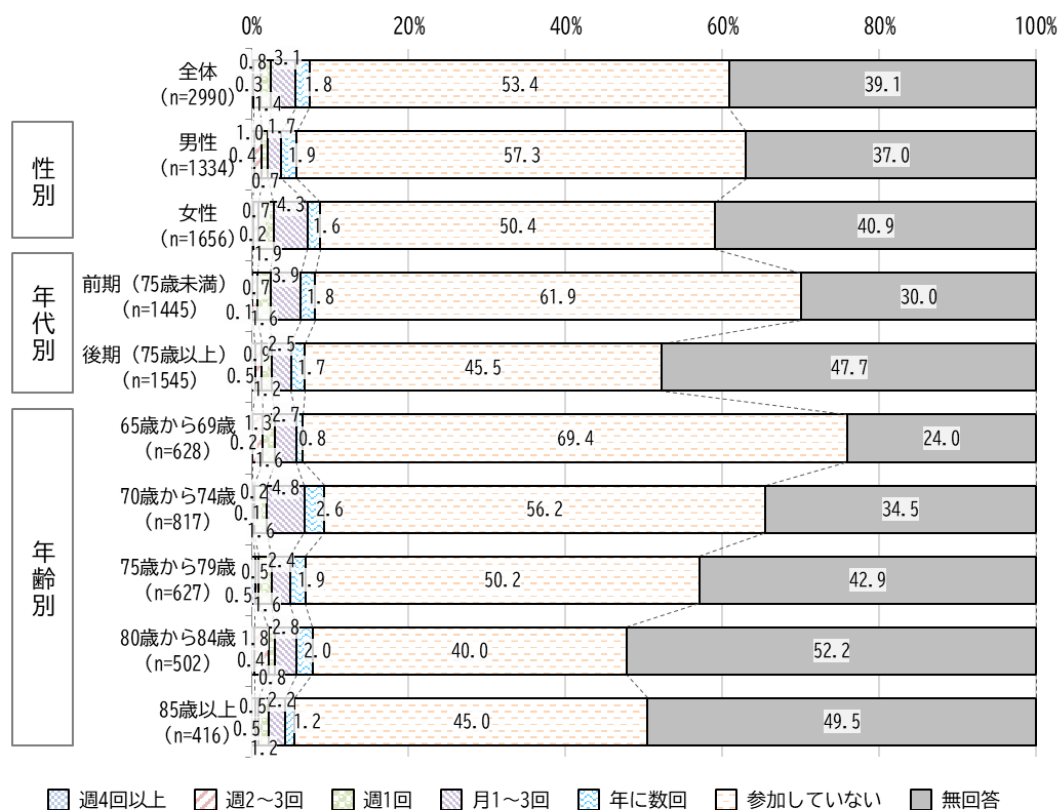
④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加頻度については、「参加していない」が53.4%と最も高く、次いで、「月1～3回」3.1%、「年に数回」1.8%の順となっています。

性別でみても、男女ともに「参加していない」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「参加していない」が61.9%と6割を超えており、後期（75歳以上）45.5%と比べて16.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加していない」が最も高く、特に65歳から79歳では5割を超えています。また、参加率については、いずれの年齢層も1割を切っています。



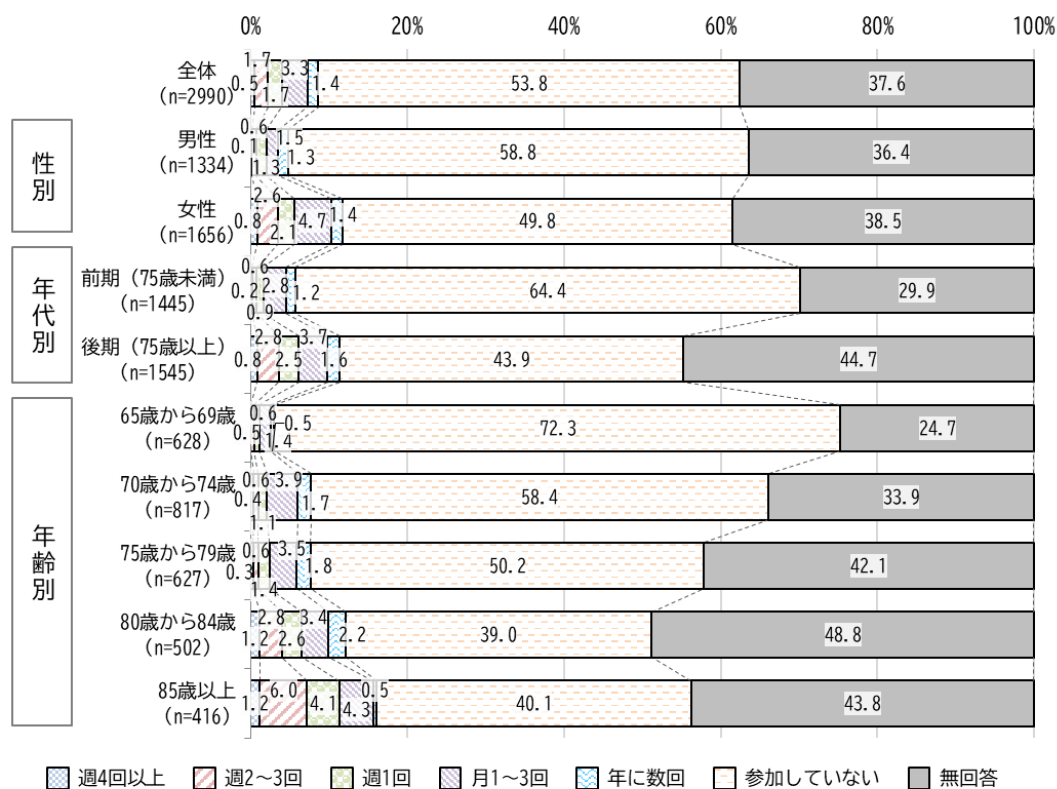
⑤介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場への参加頻度については、「参加していない」が53.8%と最も高く、次いで、「月1～3回」3.3%、「週2～3回」「週1回」がともに1.7%の順となっています。

性別でみても、男女ともに「参加していない」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「参加していない」が64.4%と6割を超えており、後期（75歳以上）43.9%と比べて20.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加していない」が最も高く、特に65歳から79歳では5割を超えています。また、参加率については、年齢が高くなるにつれて高くなっており、80歳以上では16.1%となっています。



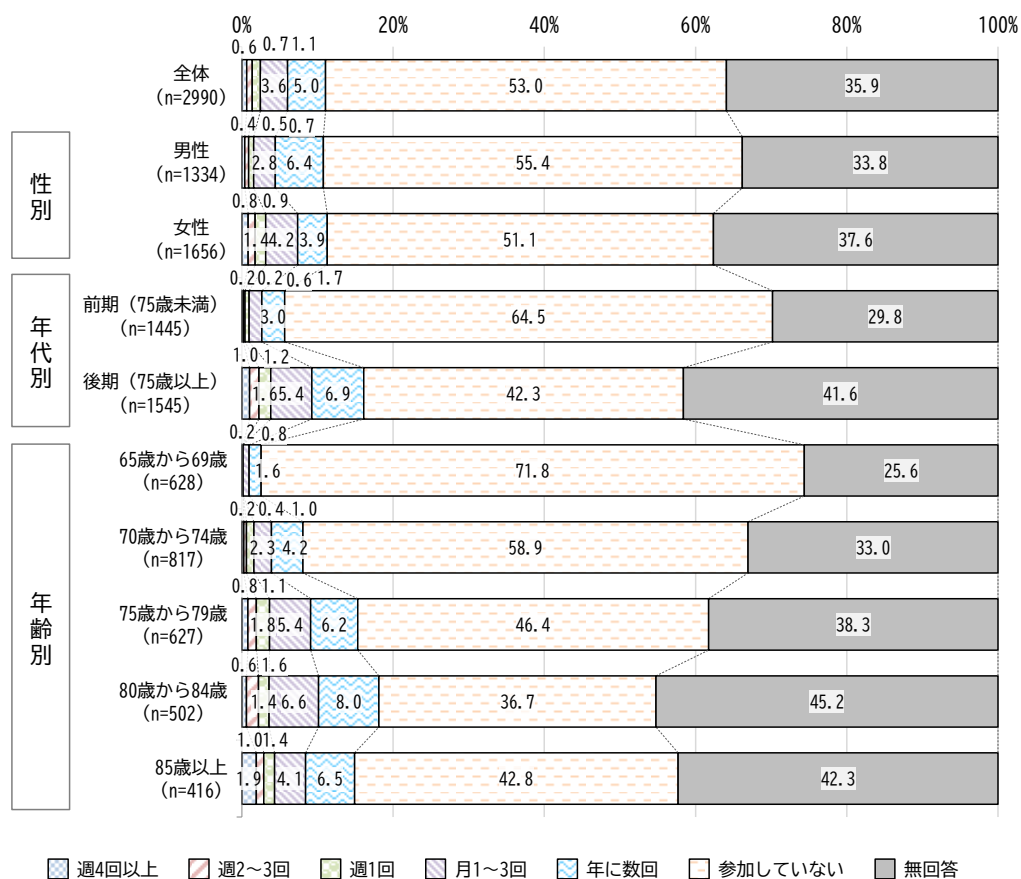
⑥老人クラブ

老人クラブへの参加頻度については、「参加していない」が53.0%と最も高く、次いで、「年に数回」5.0%、「月1～3回」3.6%の順となっています。

性別でみても、男女ともに「参加していない」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「参加していない」が64.5%と6割を超えており、後期（75歳以上）42.3%と比べて22.2ポイント高くなっています。また、参加率については、後期（75歳以上）では16.1%となっており、前期（75歳未満）5.7%と比べて10.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加していない」が最も高く、特に65歳から74歳では5割を超えています。また、参加率については、75歳以上では1割を超えていますが、74歳以下では1割を切っており、特に65歳から69歳では2.6%となっています。



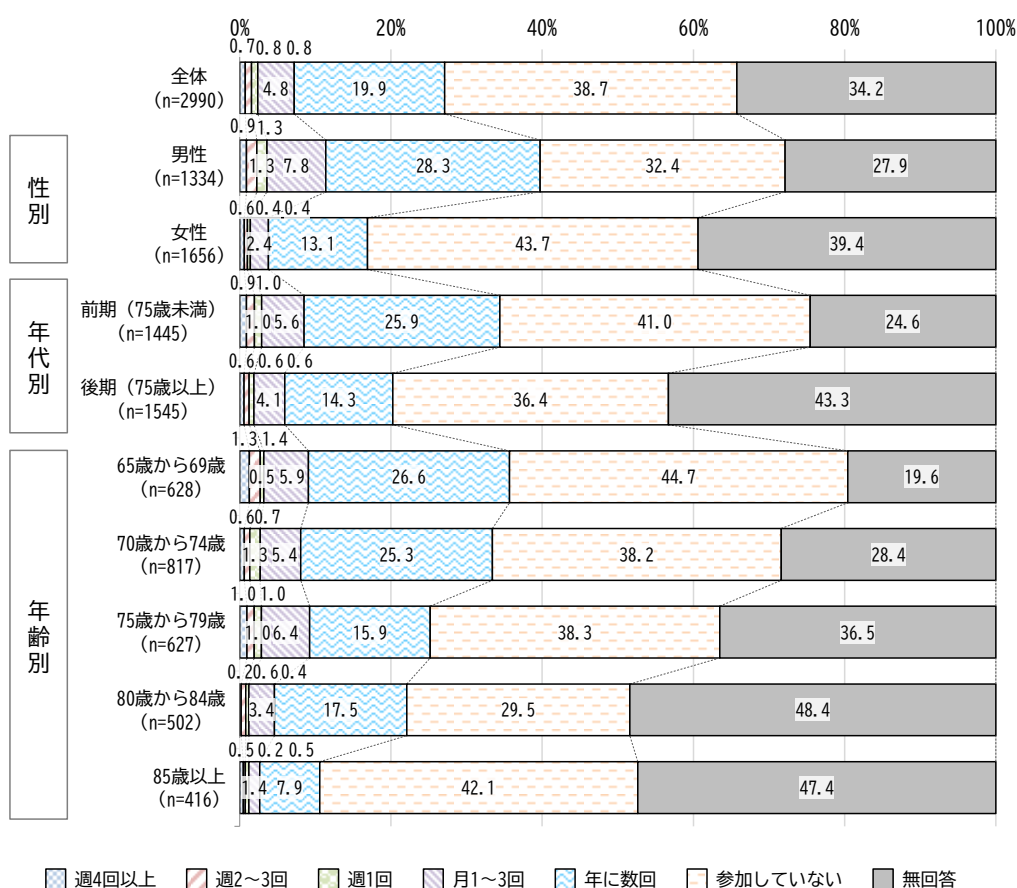
⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加頻度については、「参加していない」が38.7%と最も高く、次いで、「年に数回」19.9%、「月1～3回」4.8%の順となっています。

性別でみると、男性では参加率が39.6%と4割近くとなっており、女性16.9%と比べて22.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、いずれも「参加していない」が最も高くなっていますが、前期（75歳未満）では参加率が34.4%となっており、後期（75歳以上）20.2%と比べて14.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加していない」が最も高くなっています。また、参加率については、年齢が高くなるにつれて低くなっており、74歳までは3割を超えていますが、75歳から84歳では2割台、85歳以上では1割台となっています。



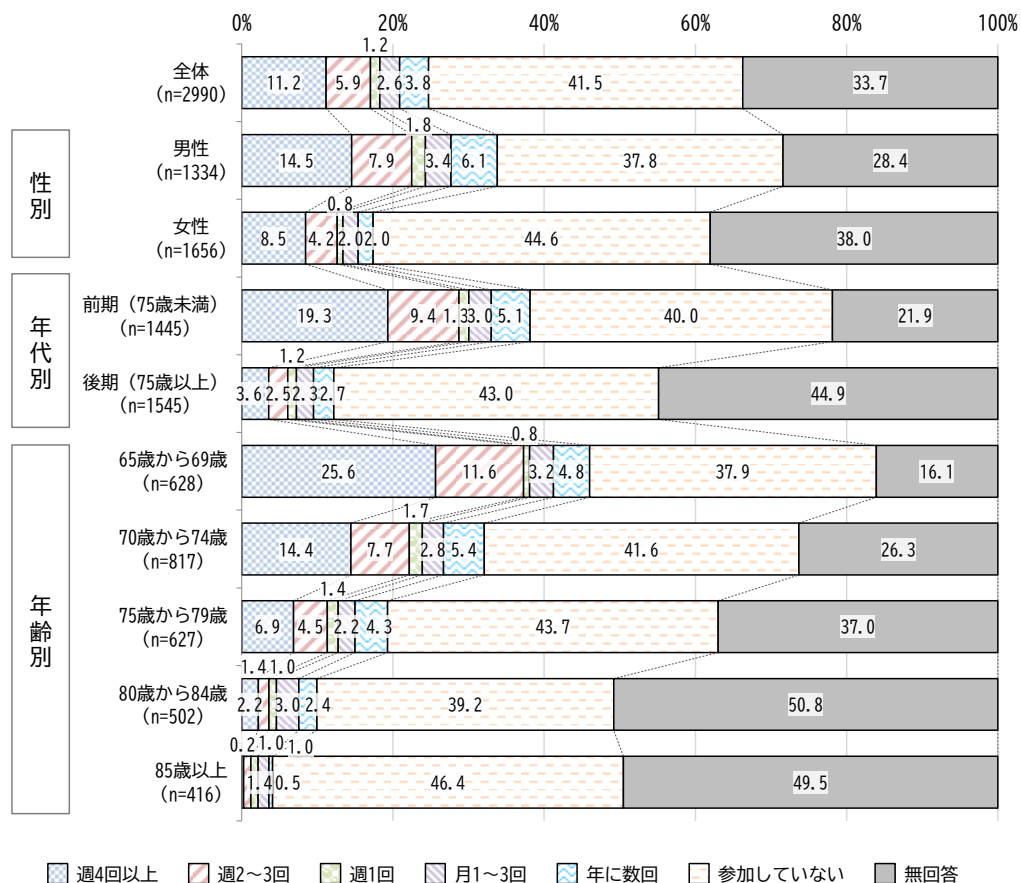
⑧収入のある仕事

収入のある仕事への参加頻度については、「参加していない」が41.5%と最も高く、次いで、「週4回以上」11.2%、「週2～3回」5.9%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「参加していない」が最も高くなっていますが、男性では参加率が33.7%となっており、女性17.5%と比べて16.2ポイント高くなっています。

年代別でみると、いずれも「参加していない」が最も高くなっていますが、前期（75歳未満）では参加率が38.1%となっており、後期（75歳以上）12.3%と比べて25.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加していない」が最も高くなっています。また、参加率については、65歳から69歳では46.0%と5割近くとなっていますが、70歳から74歳では3割台、75歳以上では2割を切り、85歳以上では1割を切っており、年齢が高くなるにつれて低くなっています。

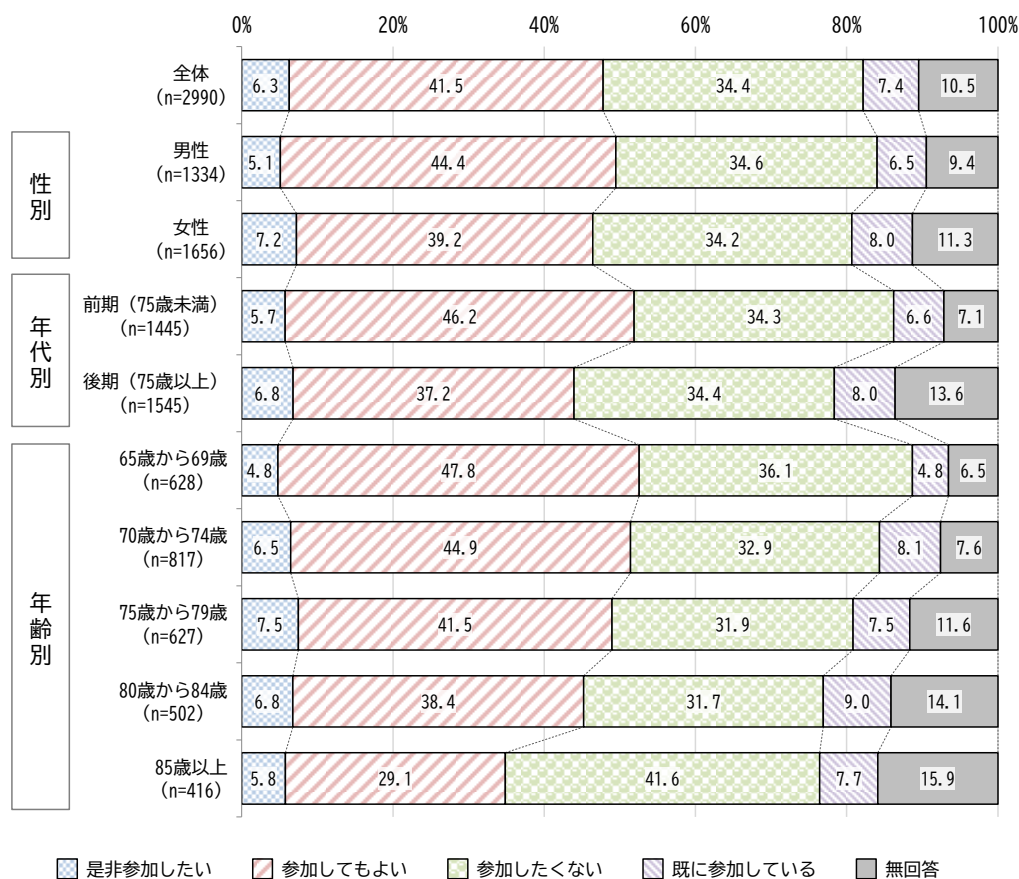


(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

参加者としての地域活動への参加意向については、「参加してもよい」が41.5%と最も高く、次いで、「参加したくない」34.4%、「既に参加している」7.4%の順となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、84歳までは「参加してもよい」が最も高くなっていますが、85歳以上では「参加したくない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「参加したい（是非参加したい）＋（参加してもよい）」の割合が低くなっています。

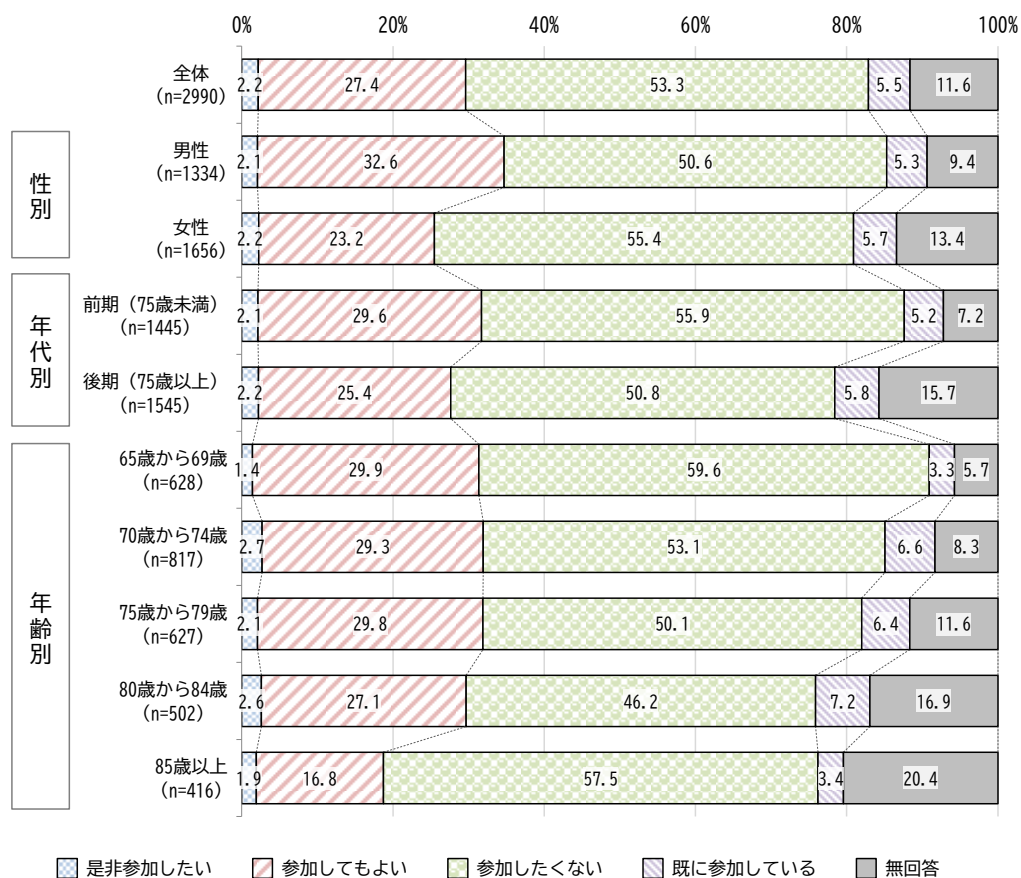


(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

企画・運営者としての地域活動への参加意向については、「参加したくない」が53.3%と最も高く、次いで、「参加してもよい」27.4%、「既に参加している」5.5%の順となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加したくない」が最も高くなっています。また、「参加したい（是非参加したい）＋（参加してもよい）」の割合が79歳までは3割台となっていますが、80歳から84歳では3割を切り、85歳以上では2割を切っています。



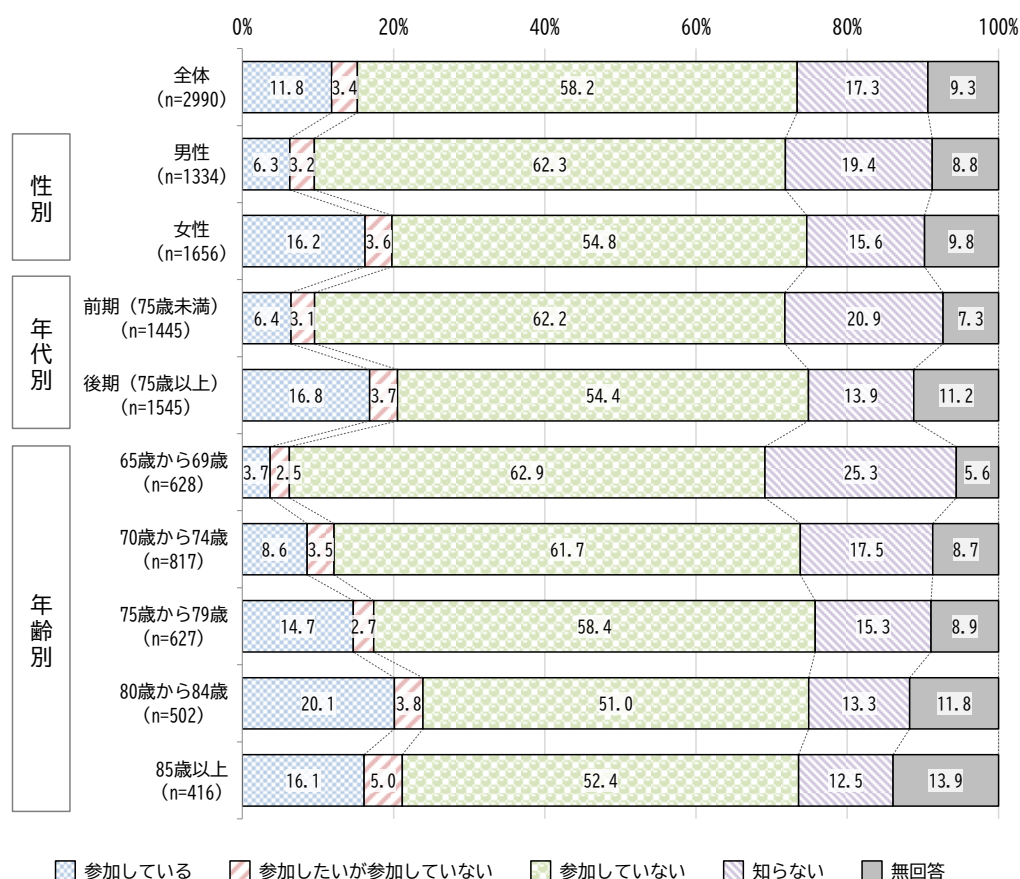
(4) 「高齢者ふれあいサロン」に参加していますか

「高齢者ふれあいサロン」への参加状況については、「参加していない」が58.2%と最も高く、次いで、「知らない」17.3%、「参加している」11.8%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「参加していない」が最も高くなっていますが、女性では「参加している」が16.2%と男性6.3%と比べて10ポイント近く高くなっています。

年代別でみると、いずれも「参加していない」が最も高くなっていますが、後期（75歳以上）では「参加している」が16.8%となっており、前期（75歳未満）6.4%と比べて10.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加していない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「知らない」が低くなっています。



【(4) で「2. 参加したいが参加していない」または「3. 参加していない」の方のみ】

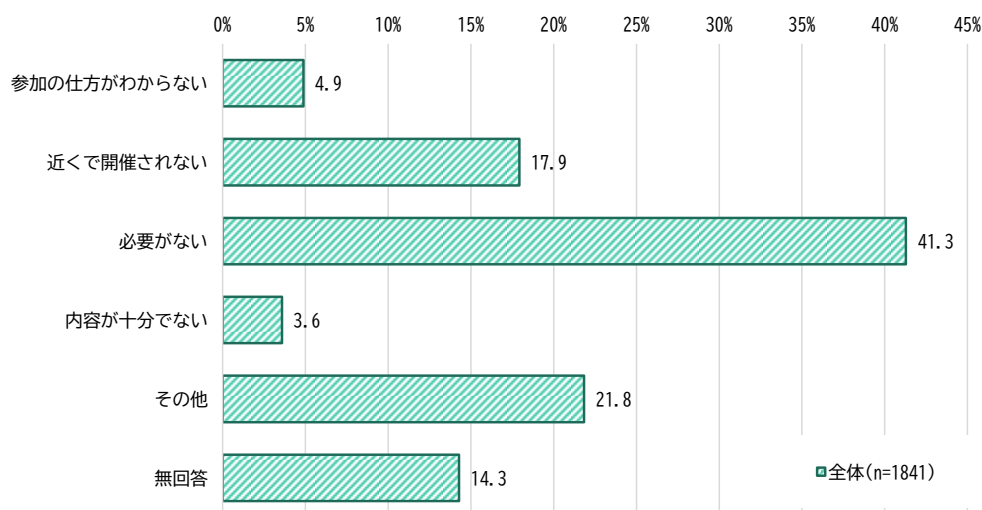
①参加していない理由はなんですか（いくつでも）

「高齢者ふれあいサロン」に参加していない理由については、「必要がない」が41.3%と最も高く、次いで、「その他」21.8%、「近くで開催されない」17.9%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「必要がない」が最も高くなっていますが、女性では「その他」が27.5%と男性15.6%と比べて11.9ポイント高くなっています。

年代別でみると、いずれも「必要がない」が最も高くなっていますが、後期（75歳以上）では「近くで開催されない」が23.1%と前期（75歳未満）13.0%と比べて10.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「必要がない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「近くで開催されない」が高く、「必要がない」が低くなっています。



第2章 調査結果

【集計表】

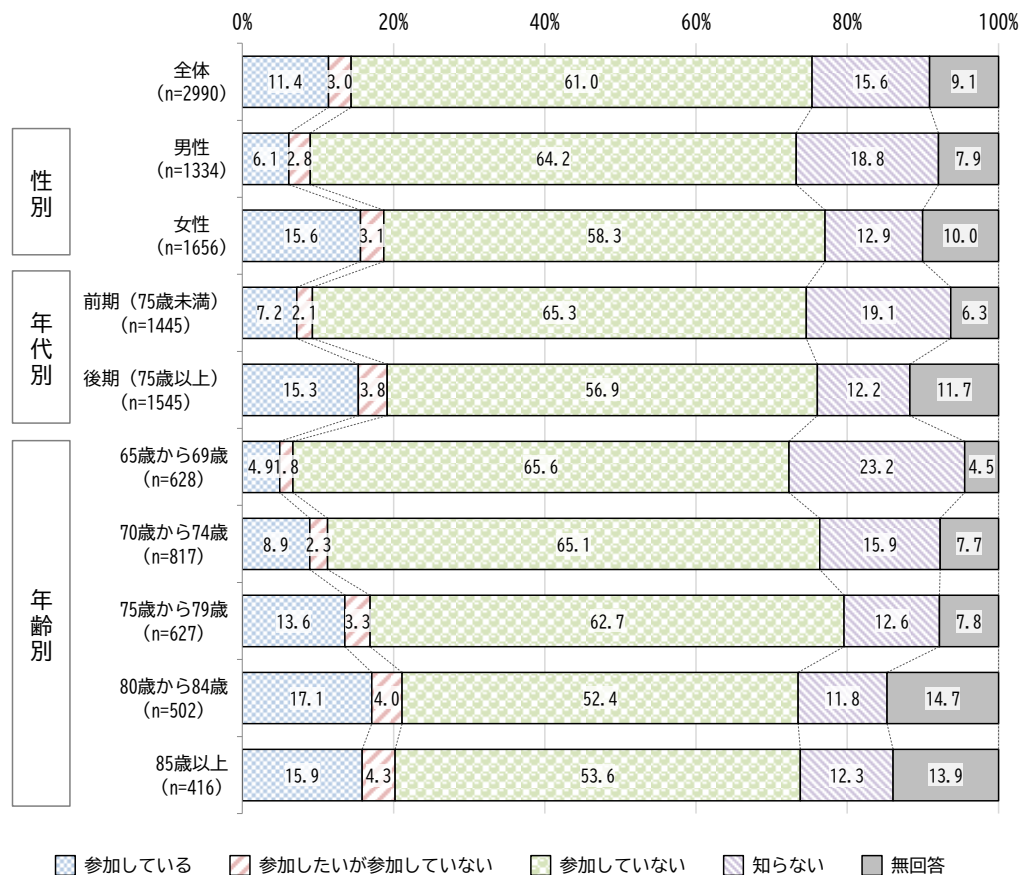
(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	参 加 の 仕 方 が わ か ら な い	近 く で 開 催 さ れ な い	必 要 が な い	内 容 が 十 分 で な い	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		1,841	90 4.9%	330 17.9%	760 41.3%	66 3.6%	402 21.8%	263 14.3%
性 別	男性	874	48 5.5%	139 15.9%	441 50.5%	30 3.4%	136 15.6%	108 12.4%
	女性	967	42 4.3%	191 19.8%	319 33.0%	36 3.7%	266 27.5%	155 16.0%
年 代 別	前期 (75歳未満)	944	48 5.1%	123 13.0%	459 48.6%	29 3.1%	211 22.4%	110 11.7%
	後期 (75歳以上)	897	42 4.7%	207 23.1%	301 33.6%	37 4.1%	191 21.3%	153 17.1%
年 齢 分 類	65歳から69歳	411	24 5.8%	37 9.0%	227 55.2%	9 2.2%	84 20.4%	45 10.9%
	70歳から74歳	533	24 4.5%	86 16.1%	232 43.5%	20 3.8%	127 23.8%	65 12.2%
	75歳から79歳	383	19 5.0%	79 20.6%	138 36.0%	17 4.4%	87 22.7%	55 14.4%
	80歳から84歳	275	12 4.4%	64 23.3%	94 34.2%	10 3.6%	49 17.8%	57 20.7%
	85歳以上	239	11 4.6%	64 26.8%	69 28.9%	10 4.2%	55 23.0%	41 17.2%

(5) 「地域に根ざした介護予防教室（体操教室）」に参加していますか

「地域に根ざした介護予防教室（体操教室）」への参加状況については、「参加していない」が61.0%と最も高く、次いで、「知らない」15.6%、「参加している」11.4%の順となっています。

性別、年代別、年齢別でみても、「参加していない」が最も高くなっています。



【(5) で「2. 参加したいが参加していない」または「3. 参加していない」の方のみ】

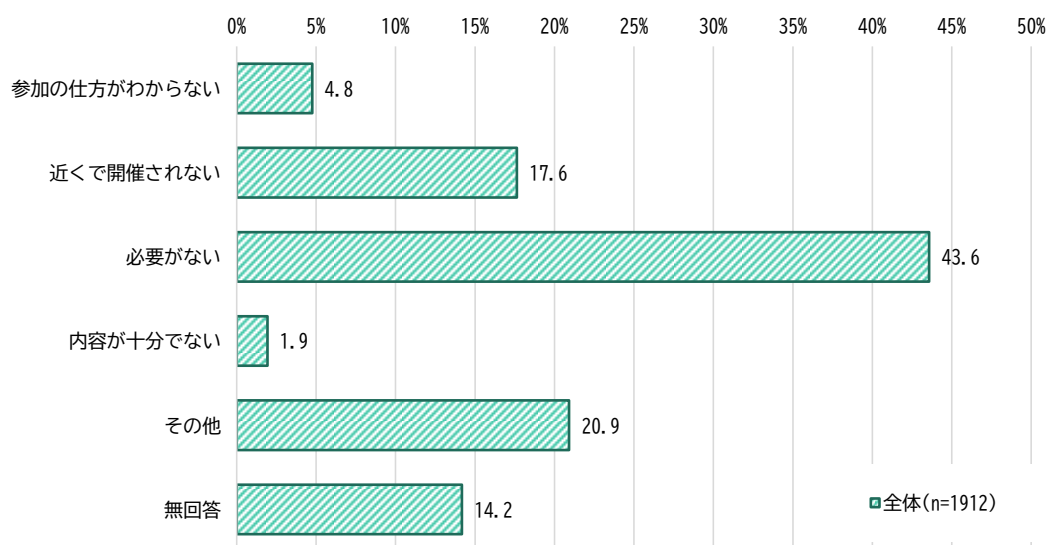
①参加していない理由はなんですか（いくつでも）

「地域に根ざした介護予防教室（体操教室）」に参加していない理由については、「必要がない」が43.6%と最も高く、次いで、「その他」20.9%、「近くで開催されない」17.6%の順となっています。

性別でみると、男性では女性と比べて「必要がない」が高く、「その他」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では後期（75歳以上）と比べて「必要がない」が高く、「近くで開催されない」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「必要がない」が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれて低くなっています。



【集計表】

(上段：人 下段：%)

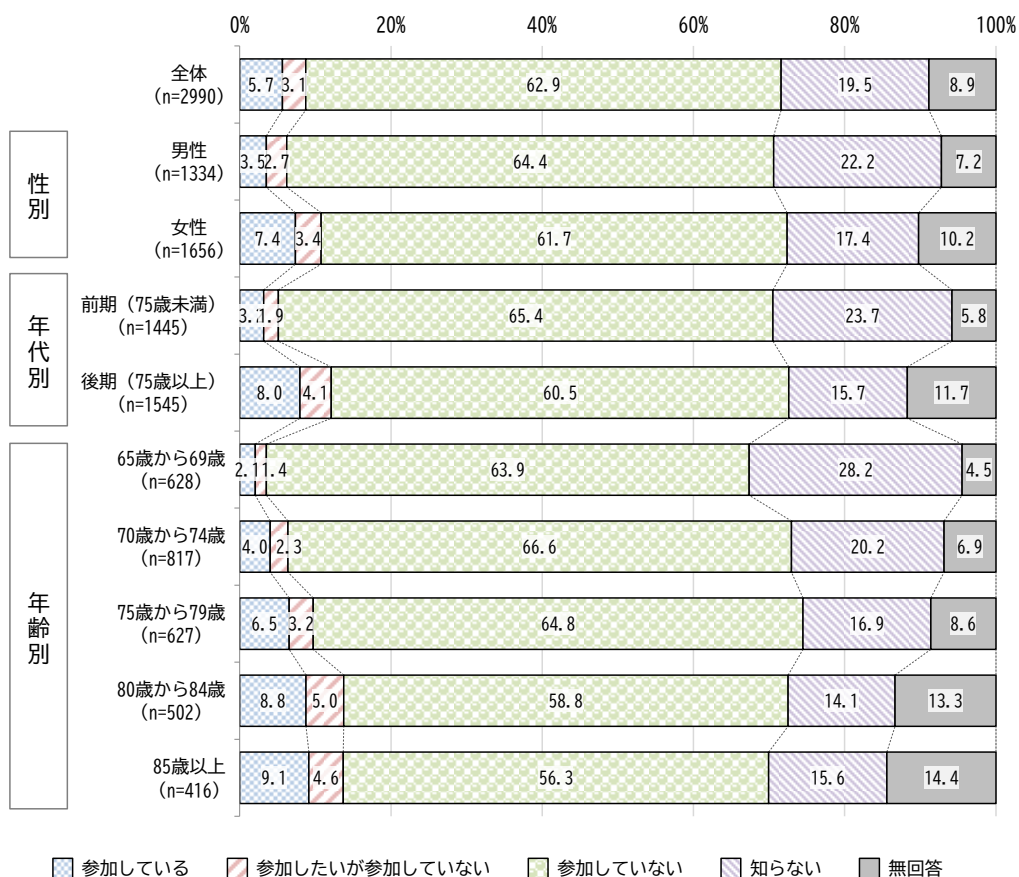
		標 本 数 (人)	参 加 の 仕 方 が わ か ら な い	近 く で 開 催 さ れ な い	必 要 が な い	内 容 が 十 分 で な い	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		1,912	91 4.8%	337 17.6%	833 43.6%	37 1.9%	400 20.9%	271 14.2%
性 別	男性	895	45 5.0%	125 14.0%	496 55.4%	16 1.8%	135 15.1%	102 11.4%
	女性	1,017	46 4.5%	212 20.8%	337 33.1%	21 2.1%	265 26.1%	169 16.6%
年 代 別	前期 (75歳未満)	974	50 5.1%	122 12.5%	496 50.9%	19 2.0%	201 20.6%	114 11.7%
	後期 (75歳以上)	938	41 4.4%	215 22.9%	337 35.9%	18 1.9%	199 21.2%	157 16.7%
年 齢 分 類	65歳から69歳	423	23 5.4%	42 9.9%	243 57.4%	5 1.2%	85 20.1%	40 9.5%
	70歳から74歳	551	27 4.9%	80 14.5%	253 45.9%	14 2.5%	116 21.1%	74 13.4%
	75歳から79歳	414	19 4.6%	79 19.1%	161 38.9%	10 2.4%	97 23.4%	62 15.0%
	80歳から84歳	283	14 4.9%	75 26.5%	103 36.4%	4 1.4%	48 17.0%	47 16.6%
	85歳以上	241	8 3.3%	61 25.3%	73 30.3%	4 1.7%	54 22.4%	48 19.9%

(6) 「認知症予防教室」に参加していますか

「認知症予防教室」への参加状況については、「参加していない」が62.9%と最も高く、次いで、「知らない」19.5%、「参加している」5.7%の順となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「参加していない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「参加していない」低く、「参加している」が高くなっています。



【(6) で「2. 参加したいが参加していない」または「3. 参加していない」の方のみ】

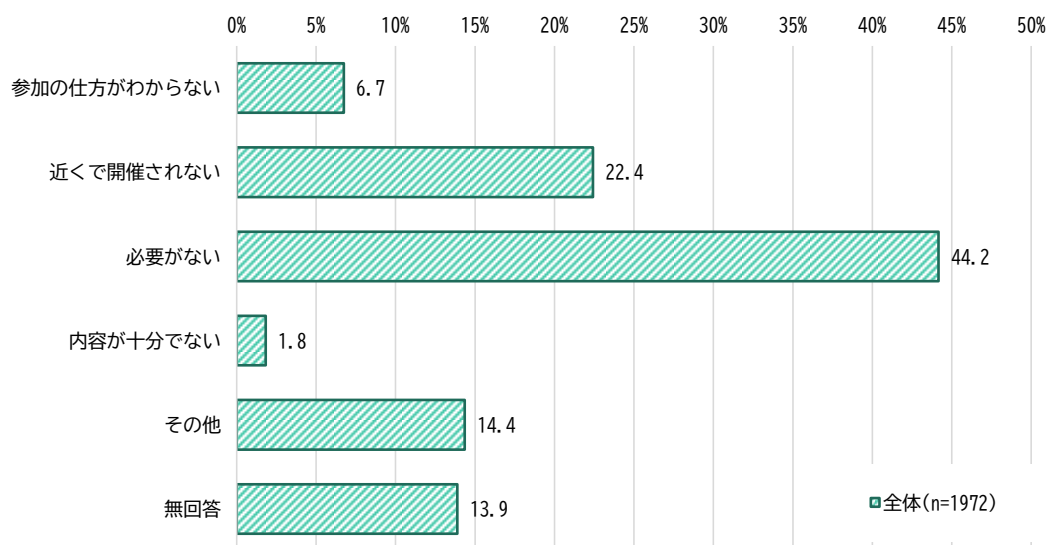
①参加していない理由はなんですか（いくつでも）

「認知症予防教室」に参加していない理由については、「必要がない」が44.2%と最も高く、次いで、「近くで開催されない」22.4%、「その他」14.4%の順となっています。

性別でみると、男性では「必要がない」が54.7%となっており、女性35.4%と比べて19.3ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では後期（75歳以上）と比べて「必要がない」が高く、「近くで開催されない」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年齢別でみると、84歳までは「必要がない」、85歳以上では「近くで開催されない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「近くで開催されない」が高く、「必要がない」が低くなっています。



第2章 調査結果

【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	参加 の 仕 方 が わ か ら な い	近 く で 開 催 さ れ な い	必 要 が な い	内 容 が 十 分 で な い	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		1,972	133 6.7%	442 22.4%	871 44.2%	36 1.8%	283 14.4%	274 13.9%
性 別	男性	895	58 6.5%	164 18.3%	490 54.7%	12 1.3%	94 10.5%	103 11.5%
	女性	1,077	75 7.0%	278 25.8%	381 35.4%	24 2.2%	189 17.5%	171 15.9%
年 代 別	前期 (75歳未満)	973	68 7.0%	153 15.7%	505 51.9%	17 1.7%	150 15.4%	113 11.6%
	後期 (75歳以上)	999	65 6.5%	289 28.9%	366 36.6%	19 1.9%	133 13.3%	161 16.1%
年 齢 分 類	65歳から69歳	410	30 7.3%	55 13.4%	239 58.3%	3 0.7%	61 14.9%	37 9.0%
	70歳から74歳	563	38 6.7%	98 17.4%	266 47.2%	14 2.5%	89 15.8%	76 13.5%
	75歳から79歳	426	32 7.5%	104 24.4%	171 40.1%	10 2.3%	58 13.6%	67 15.7%
	80歳から84歳	320	18 5.6%	100 31.3%	116 36.3%	7 2.2%	36 11.3%	49 15.3%
	85歳以上	253	15 5.9%	85 33.6%	79 31.2%	2 0.8%	39 15.4%	45 17.8%

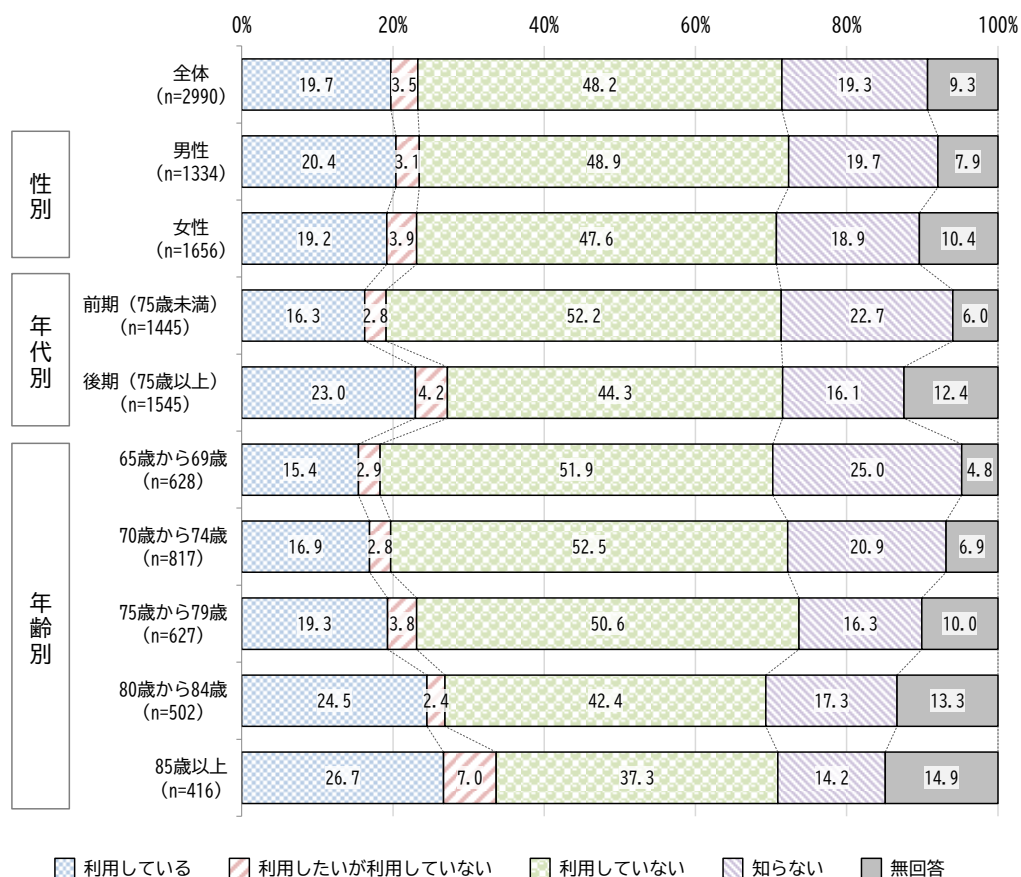
(7)「緊急通報装置」を利用していますか

「緊急通報装置」の利用状況については、「利用していない」が48.2%と最も高く、次いで、「利用している」19.7%、「知らない」19.3%の順となっています。

性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でも、「利用していない」が最も高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「利用していない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「利用している」が高くなっています。



【(7) で「2. 利用したいが利用していない」または「3. 利用していない」の方のみ】

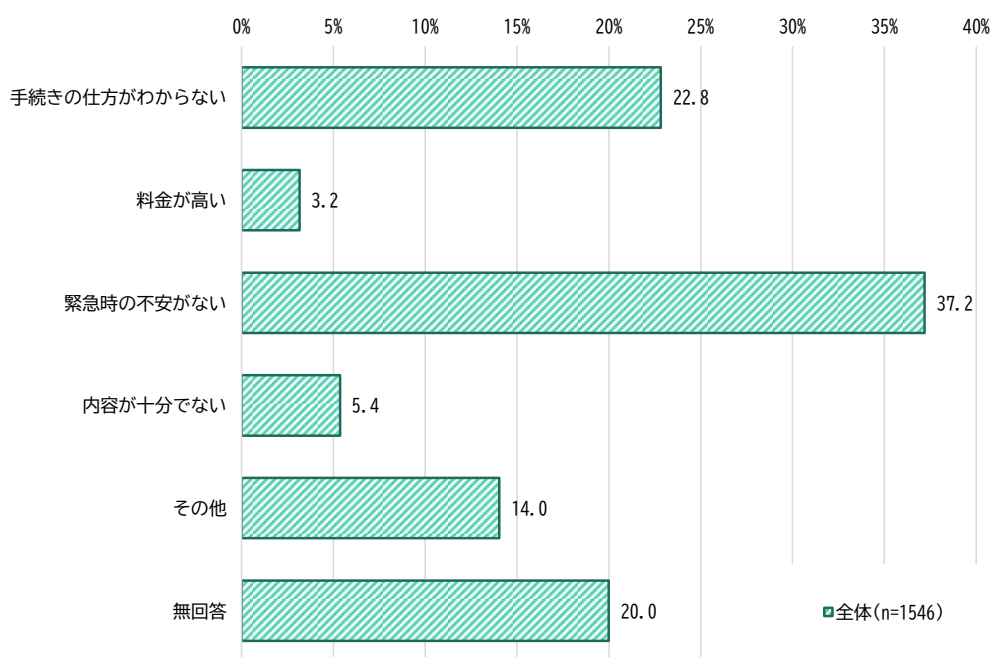
①利用していない理由はなんですか（いくつでも）

「緊急通報装置」を利用していない理由については、「緊急時の不安がない」が37.2%と最も高く、次いで、「手続きの仕方がわからない」22.8%、「その他」14.0%の順となっています。

性別でみると、男性では「緊急時の不安がない」が44.3%となっており、女性31.4%と比べて12.9ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「緊急時の不安がない」が42.3%となっており、後期（75歳以上）31.7%と比べて10.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、79歳までは「緊急時の不安がない」が最も高くなっていますが、80歳からは「手続きの仕方がわからない」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「手続きの仕方がわからない」が高くなっています。



【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	手 続 き の 仕 方 が わ か ら な い	料 金 が 高 い	緊 急 時 の 不 安 が な い	内 容 が 十 分 で な い	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		1,546	353 22.8%	49 3.2%	575 37.2%	83 5.4%	217 14.0%	309 20.0%
性 別	男性	693	153 22.1%	18 2.6%	307 44.3%	41 5.9%	77 11.1%	104 15.0%
	女性	853	200 23.4%	31 3.6%	268 31.4%	42 4.9%	140 16.4%	205 24.0%
年 代 別	前期 (75歳未満)	796	149 18.7%	22 2.8%	337 42.3%	41 5.2%	117 14.7%	149 18.7%
	後期 (75歳以上)	750	204 27.2%	27 3.6%	238 31.7%	42 5.6%	100 13.3%	160 21.3%
年 齢 分 類	65歳から69歳	344	54 15.7%	7 2.0%	145 42.2%	22 6.4%	58 16.9%	66 19.2%
	70歳から74歳	452	95 21.0%	15 3.3%	192 42.5%	19 4.2%	59 13.1%	83 18.4%
	75歳から79歳	341	81 23.8%	15 4.4%	122 35.8%	17 5.0%	39 11.4%	75 22.0%
	80歳から84歳	225	65 28.9%	4 1.8%	64 28.4%	12 5.3%	36 16.0%	51 22.7%
	85歳以上	184	58 31.5%	8 4.3%	52 28.3%	13 7.1%	25 13.6%	34 18.5%

(8) どのような活動があれば、外出する意欲につながりますか（自由記述）

自由記述（抜粋）	
PC 教室や DIY 教室	ラジオ体操
囲碁、グラウンドゴルフ	卓球などの運動
健康教室、介護予防教室、認知症予防講習	料理教室
映画などの DVD 鑑賞会、音楽療法の実践	歌、短歌、ピアノ、琴
ガーデニング講習	手芸（物づくり）
サロンや体操教室があれば参加したい	認知症予防教室
市の施設に併設した運動施設	老人会、ボランティア
意欲がそそられるような活動	気の合った友人がいたら
自分の趣味に合ったサークル	気楽に行ける所
子どもと遊ぶ	地域でのイベント等
外出はしたくない	外出したいけど今は足が痛いので出られない
考えたことがない	今のままで十分
近場である、仲間がいる、お金がかからない	近場で行い、強制的でなければよいのでは
免許返納時巡回乗り合いタクシー	無料のタクシー利用できれば
交通手段があれば外出してみたい	移動手段がない。バスもない
送り迎えがあれば	無料で訓練でき地域の情報交換ができる場所
今はコロナで外出する気分ではない	コロナで外出を控えている
歩こう会、日帰りバス旅行（知人、友人が多く出来れば良い）	
ウォーキング大会やウォーキングしながら自然や地域の遺跡巡り等	
興味、必要とを感じるものがあれば地域外でも、外出する意欲有り	
町づくり・防災活動・安心安全パトロール	
町づくり協議会主催で工場(生産ライン見学等)、新しい知識取得	
意欲はあるが、足が痛いため皆に迷惑をかけたくない	
家事多忙の為、どのような活動でも参加するのは無理	
考え方がそれぞれ違うので難しい。デイサービスの利用者が多く受け身から抜け出せないのでは	
基本的にあまり他の人とかわりを持ちたいという気持ちが湧かない	

問6 たすけあいについて

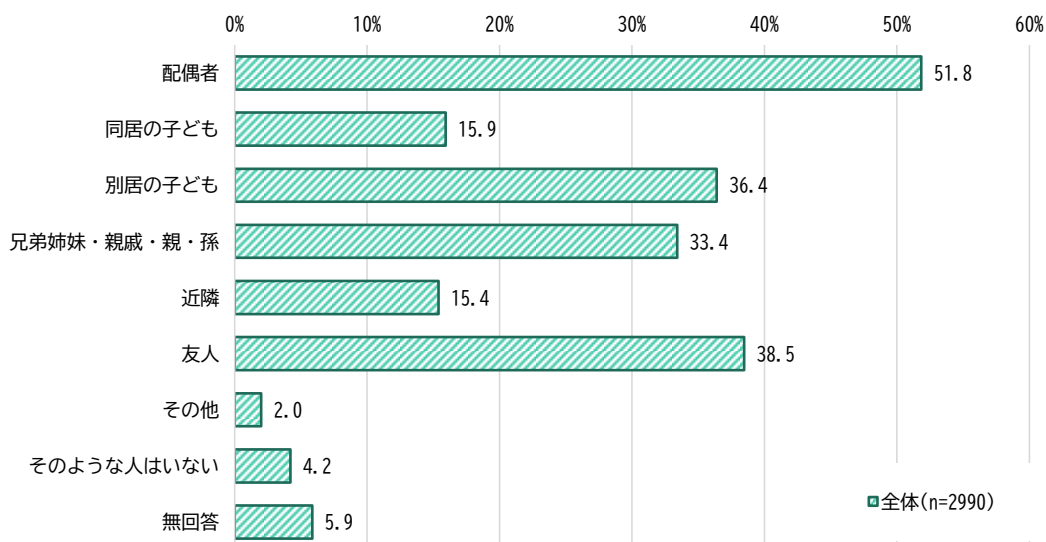
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてくれる人について尋ねたところ、「配偶者」が51.8%と最も高く、次いで、「友人」38.5%、「別居の子ども」36.4%の順となっています。

性別でみると、男性では「配偶者」「そのような人はいない」が女性より高く、特に「配偶者」では67.7%と6割を超えており、女性39.1%と比べて28.6ポイント高くなっています。それ以外はすべての項目で女性の割合が高く、「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」では15ポイント以上高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では後期（75歳以上）と比べて「配偶者」「友人」が10ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、84歳までは「配偶者」が最も高くなっていますが、85歳以上では「別居の子ども」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「配偶者」が低くなっています。



第2章 調査結果

【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	配偶 者	同居 の 子 ども	別 居 の 子 ども	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 親 ・ 孫	近 隣	友 人	そ の 他	そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答
全体 (単純集計)		2,990	1,550 51.8%	476 15.9%	1,088 36.4%	999 33.4%	460 15.4%	1,150 38.5%	60 2.0%	126 4.2%	175 5.9%
性 別	男性	1,334	903 67.7%	143 10.7%	358 26.8%	318 23.8%	145 10.9%	385 28.9%	22 1.6%	76 5.7%	84 6.3%
	女性	1,656	647 39.1%	333 20.1%	730 44.1%	681 41.1%	315 19.0%	765 46.2%	38 2.3%	50 3.0%	91 5.5%
年 代 別	前期 (75歳未満)	1,445	906 62.7%	192 13.3%	506 35.0%	502 34.7%	194 13.4%	631 43.7%	31 2.1%	57 3.9%	60 4.2%
	後期 (75歳以上)	1,545	644 41.7%	284 18.4%	582 37.7%	497 32.2%	266 17.2%	519 33.6%	29 1.9%	69 4.5%	115 7.4%
年 齢 分 類	65歳から69歳	628	421 67.0%	91 14.5%	211 33.6%	207 33.0%	78 12.4%	265 42.2%	14 2.2%	23 3.7%	17 2.7%
	70歳から74歳	817	485 59.4%	101 12.4%	295 36.1%	295 36.1%	116 14.2%	366 44.8%	17 2.1%	34 4.2%	43 5.3%
	75歳から79歳	627	326 52.0%	83 13.2%	207 33.0%	216 34.4%	106 16.9%	257 41.0%	12 1.9%	28 4.5%	39 6.2%
	80歳から84歳	502	220 43.8%	93 18.5%	180 35.9%	158 31.5%	68 13.5%	154 30.7%	9 1.8%	21 4.2%	39 7.8%
	85歳以上	416	98 23.6%	108 26.0%	195 46.9%	123 29.6%	92 22.1%	108 26.0%	8 1.9%	20 4.8%	37 8.9%

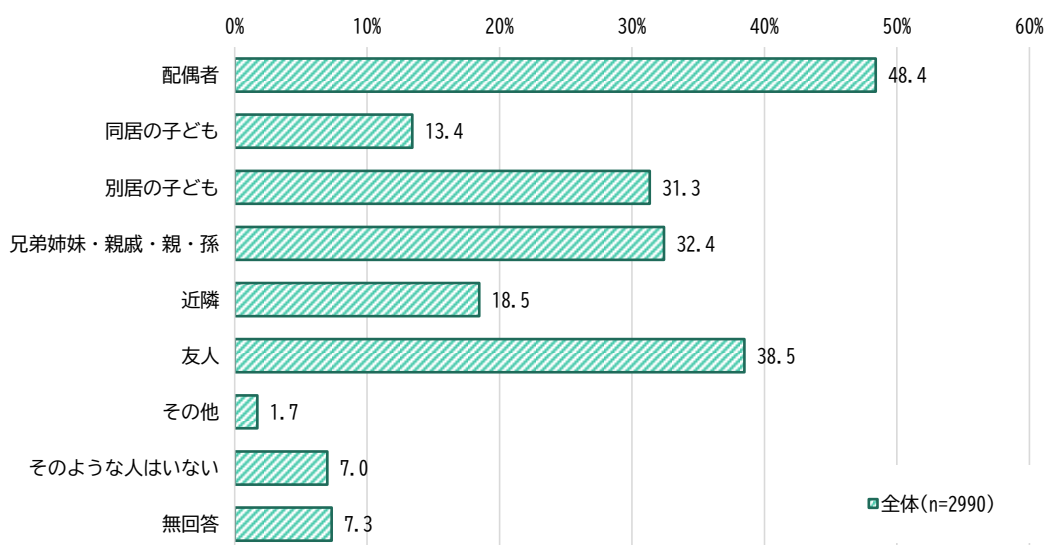
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる人について尋ねたところ、「配偶者」が48.4%と最も高く、次いで、「友人」38.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」32.4%の順となっています。

性別でみると、男性では「配偶者」「その他」が女性より高く、特に「配偶者」は64.5%と6割を超えており、女性35.4%と比べて29.1ポイント高くなっています。それ以外はすべての項目で女性の割合が高くなっており、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」では10ポイント以上高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では後期（75歳以上）と比べて「配偶者」「友人」が10ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、84歳までは「配偶者」が最も高くなっていますが、85歳以上では「友人」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「その他」が低く、「同居の子ども」「そのような人はいない」が高くなっています。



第2章 調査結果

【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	配偶 者	同 居 の 子 ど も	別 居 の 子 ど も	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 親 ・ 孫	近 隣	友 人	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
全体 (単純集計)		2,990	1,447 48.4%	401 13.4%	937 31.3%	969 32.4%	552 18.5%	1,151 38.5%	51 1.7%	209 7.0%	219 7.3%
性 別	男性	1,334	860 64.5%	141 10.6%	357 26.8%	347 26.0%	189 14.2%	383 28.7%	22 1.6%	104 7.8%	96 7.2%
	女性	1,656	587 35.4%	260 15.7%	580 35.0%	622 37.6%	363 21.9%	768 46.4%	29 1.8%	105 6.3%	123 7.4%
年 代 別	前期 (75歳未満)	1,445	873 60.4%	184 12.7%	492 34.0%	513 35.5%	243 16.8%	633 43.8%	30 2.1%	80 5.5%	70 4.8%
	後期 (75歳以上)	1,545	574 37.2%	217 14.0%	445 28.8%	456 29.5%	309 20.0%	518 33.5%	21 1.4%	129 8.3%	149 9.6%
年 齢 分 類	65歳から69歳	628	411 65.4%	80 12.7%	210 33.4%	225 35.8%	93 14.8%	265 42.2%	17 2.7%	30 4.8%	21 3.3%
	70歳から74歳	817	462 56.5%	104 12.7%	282 34.5%	288 35.3%	150 18.4%	368 45.0%	13 1.6%	50 6.1%	49 6.0%
	75歳から79歳	627	289 46.1%	80 12.8%	180 28.7%	209 33.3%	134 21.4%	246 39.2%	10 1.6%	41 6.5%	48 7.7%
	80歳から84歳	502	202 40.2%	70 13.9%	155 30.9%	143 28.5%	88 17.5%	160 31.9%	6 1.2%	39 7.8%	49 9.8%
	85歳以上	416	83 20.0%	67 16.1%	110 26.4%	104 25.0%	87 20.9%	112 26.9%	5 1.2%	49 11.8%	52 12.5%

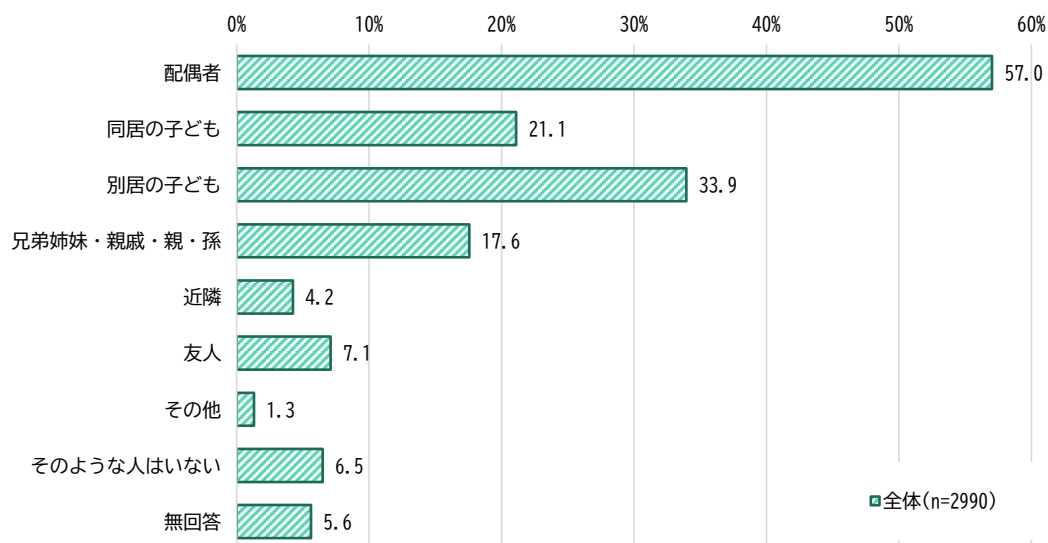
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が57.0%と最も高く、次いで、「別居の子ども」33.9%、「同居の子ども」21.1%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「配偶者」が最も高くなっていますが、男性では73.2%と7割を超えており、女性44.0%と比べて29.2ポイント高くなっています。また、「配偶者」「そのような人はいない」以外の項目では女性の割合が高くなっており、特に「別居の子ども」は40.0%と男性26.5%と比べて13.5ポイント高くなっています。

年代別でみると、前期(75歳未満)では「配偶者」が68.7%となっており、後期(75歳以上)46.1%と比べて22.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、84歳までは「配偶者」が最も高くなっていますが、85歳以上では「別居の子ども」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「配偶者」が低く、「別居の子ども」が高くなっています。



第2章 調査結果

【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	配偶 者	同居 の 子 ども	別 居 の 子 ども	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 親 ・ 孫	近 隣	友 人	そ の 他	そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答
全体 (単純集計)		2,990	1,705 57.0%	631 21.1%	1,015 33.9%	525 17.6%	127 4.2%	212 7.1%	39 1.3%	194 6.5%	168 5.6%
性 別	男性	1,334	976 73.2%	211 15.8%	353 26.5%	182 13.6%	32 2.4%	56 4.2%	11 0.8%	92 6.9%	78 5.8%
	女性	1,656	729 44.0%	420 25.4%	662 40.0%	343 20.7%	95 5.7%	156 9.4%	28 1.7%	102 6.2%	90 5.4%
年 代 別	前期 (75歳未満)	1,445	993 68.7%	262 18.1%	430 29.8%	254 17.6%	47 3.3%	119 8.2%	16 1.1%	85 5.9%	63 4.4%
	後期 (75歳以上)	1,545	712 46.1%	369 23.9%	585 37.9%	271 17.5%	80 5.2%	93 6.0%	23 1.5%	109 7.1%	105 6.8%
年 齢 分 類	65歳から69歳	628	458 72.9%	118 18.8%	172 27.4%	110 17.5%	22 3.5%	48 7.6%	8 1.3%	33 5.3%	24 3.8%
	70歳から74歳	817	535 65.5%	144 17.6%	258 31.6%	144 17.6%	25 3.1%	71 8.7%	8 1.0%	52 6.4%	39 4.8%
	75歳から79歳	627	366 58.4%	124 19.8%	207 33.0%	120 19.1%	30 4.8%	50 8.0%	6 1.0%	45 7.2%	37 5.9%
	80歳から84歳	502	239 47.6%	116 23.1%	201 40.0%	78 15.5%	23 4.6%	32 6.4%	10 2.0%	35 7.0%	37 7.4%
	85歳以上	416	107 25.7%	129 31.0%	177 42.5%	73 17.5%	27 6.5%	11 2.6%	7 1.7%	29 7.0%	31 7.5%

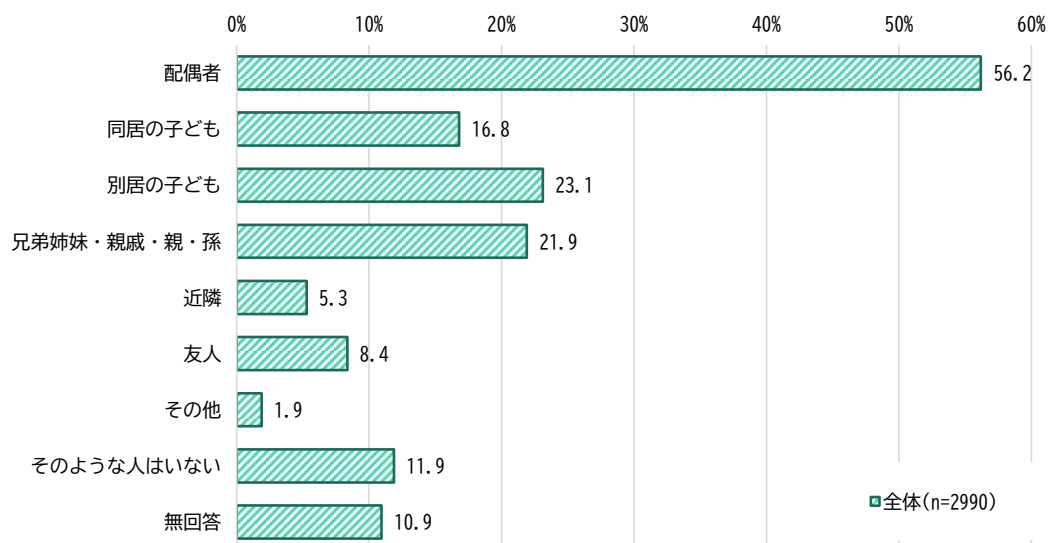
（４）反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

看病や世話をしあける人については、「配偶者」が56.2%と最も高く、次いで、「別居の子ども」23.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」21.9%の順となっています。

性別でみると、男性では「配偶者」が68.4%と6割を超えており、女性46.3%と比べて22.1ポイント高くなっています。それ以外はすべての項目で女性の割合が高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では後期（75歳以上）と比べて「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が10ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、84歳までは「配偶者」が最も高くなっていますが、85歳以上では「配偶者」「そのような人はいない」が同率で最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が低くなっています。



第2章 調査結果

【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	配偶 者	同居 の 子 ども	別 居 の 子 ども	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 親 ・ 孫	近 隣	友 人	そ の 他	そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答
全体 (単純集計)		2,990	1,680 56.2%	502 16.8%	691 23.1%	655 21.9%	158 5.3%	250 8.4%	56 1.9%	355 11.9%	327 10.9%
性 別	男性	1,334	913 68.4%	180 13.5%	249 18.7%	229 17.2%	44 3.3%	70 5.2%	16 1.2%	148 11.1%	124 9.3%
	女性	1,656	767 46.3%	322 19.4%	442 26.7%	426 25.7%	114 6.9%	180 10.9%	40 2.4%	207 12.5%	203 12.3%
年 代 別	前期 (75歳未満)	1,445	979 67.8%	254 17.6%	390 27.0%	392 27.1%	68 4.7%	142 9.8%	17 1.2%	124 8.6%	93 6.4%
	後期 (75歳以上)	1,545	701 45.4%	248 16.1%	301 19.5%	263 17.0%	90 5.8%	108 7.0%	39 2.5%	231 15.0%	234 15.1%
年 齢 分 類	65歳から69歳	628	464 73.9%	118 18.8%	167 26.6%	179 28.5%	25 4.0%	58 9.2%	10 1.6%	40 6.4%	28 4.5%
	70歳から74歳	817	515 63.0%	136 16.6%	223 27.3%	213 26.1%	43 5.3%	84 10.3%	7 0.9%	84 10.3%	65 8.0%
	75歳から79歳	627	357 56.9%	98 15.6%	149 23.8%	141 22.5%	40 6.4%	54 8.6%	12 1.9%	56 8.9%	69 11.0%
	80歳から84歳	502	240 47.8%	79 15.7%	105 20.9%	77 15.3%	27 5.4%	30 6.0%	11 2.2%	71 14.1%	80 15.9%
	85歳以上	416	104 25.0%	71 17.1%	47 11.3%	45 10.8%	23 5.5%	24 5.8%	16 3.8%	104 25.0%	85 20.4%

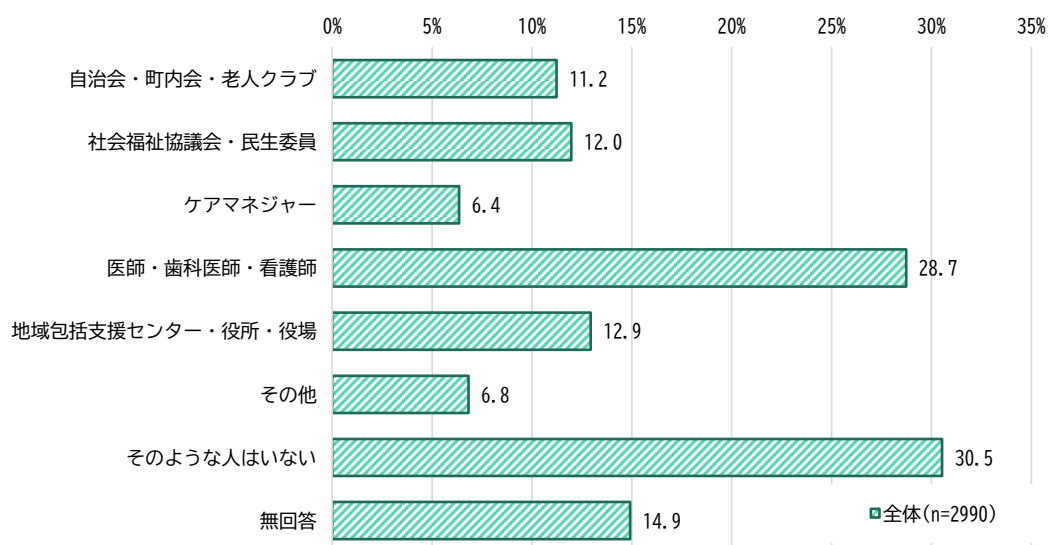
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

家族や友人・知人以外での相談相手については、「そのような人はいない」が30.5%と最も高く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」28.7%、「地域包括支援センター・役所・役場」12.9%の順となっています。

性別でみると、男性では「そのような人はいない」が最も高く、女性では「医師・歯科医師・看護師」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「そのような人はいない」が最も高く、後期（75歳以上）24.1%と比べて13.3ポイント高くなっています。また、後期（75歳以上）では「医師・歯科医師・看護師」が最も高くなっています。

年齢別でみると、74歳までは「そのような人はいない」が最も高く、75歳以上では「医師・歯科医師・看護師」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」が高く、「その他」が低くなっています。



第2章 調査結果

【集計表】

(上段：人 下段：%)

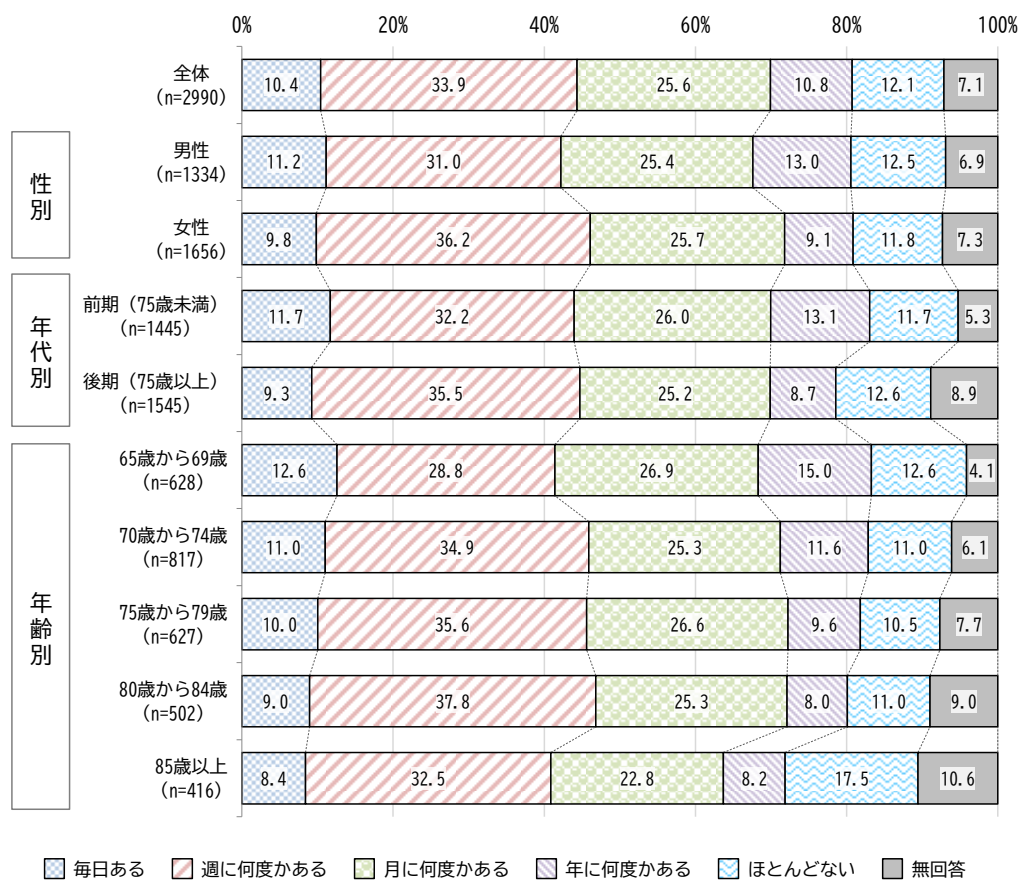
		標 本 数 (人)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体 (単純集計)		2,990	336 11.2%	358 12.0%	190 6.4%	859 28.7%	387 12.9%	204 6.8%	913 30.5%	446 14.9%
性別	男性	1,334	197 14.8%	154 11.5%	55 4.1%	363 27.2%	165 12.4%	104 7.8%	444 33.3%	174 13.0%
	女性	1,656	139 8.4%	204 12.3%	135 8.2%	496 30.0%	222 13.4%	100 6.0%	469 28.3%	272 16.4%
年代別	前期(75歳未満)	1,445	150 10.4%	135 9.3%	61 4.2%	375 26.0%	177 12.2%	134 9.3%	541 37.4%	172 11.9%
	後期(75歳以上)	1,545	186 12.0%	223 14.4%	129 8.3%	484 31.3%	210 13.6%	70 4.5%	372 24.1%	274 17.7%
年齢分類	65歳から69歳	628	69 11.0%	56 8.9%	28 4.5%	163 26.0%	79 12.6%	67 10.7%	245 39.0%	62 9.9%
	70歳から74歳	817	81 9.9%	79 9.7%	33 4.0%	212 25.9%	98 12.0%	67 8.2%	296 36.2%	110 13.5%
	75歳から79歳	627	65 10.4%	82 13.1%	36 5.7%	188 30.0%	84 13.4%	36 5.7%	146 23.3%	127 20.3%
	80歳から84歳	502	64 12.7%	74 14.7%	35 7.0%	143 28.5%	61 12.2%	22 4.4%	142 28.3%	80 15.9%
	85歳以上	416	57 13.7%	67 16.1%	58 13.9%	153 36.8%	65 15.6%	12 2.9%	84 20.2%	67 16.1%

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が33.9%と最も高く、次いで、「月に何度かある」25.6%、「ほとんどない」12.1%の順となっています。

性別、年代別でみても、「週に何度かある」が最も高くなっています。

年齢別でみると、84歳までは「ある（毎日・週・月・年）」の割合が8割台で推移していますが、85歳以上では71.9%と7割台となっています。



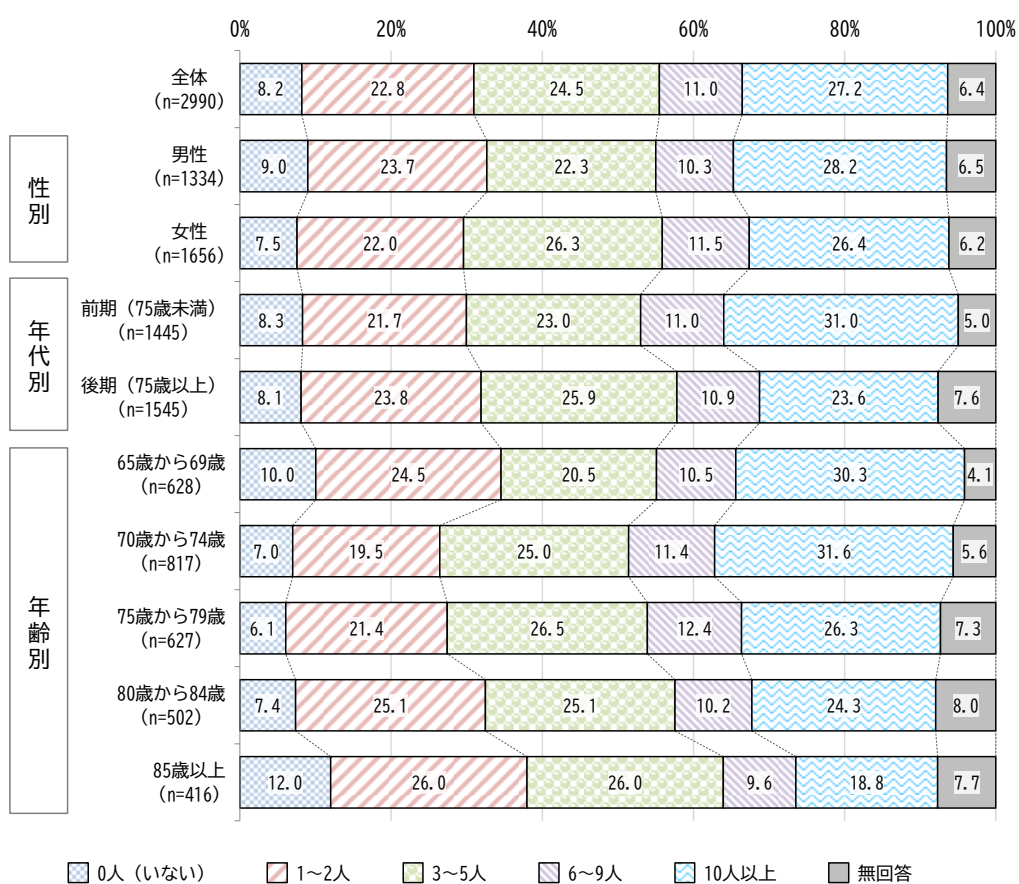
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えます

1か月間に会った友人・知人の数については、「10人以上」が27.2%と最も高く、次いで、「3～5人」24.5%、「1～2人」22.8%の順となっています。

性別でみても、「10人以上」が最も高くなっています。

年代別でみると、前期（75歳未満）では「10人以上」が最も高くなっていますが、後期（75歳以上）では「3～5人」が最も高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「1名以上」の割合が8割を超えています。



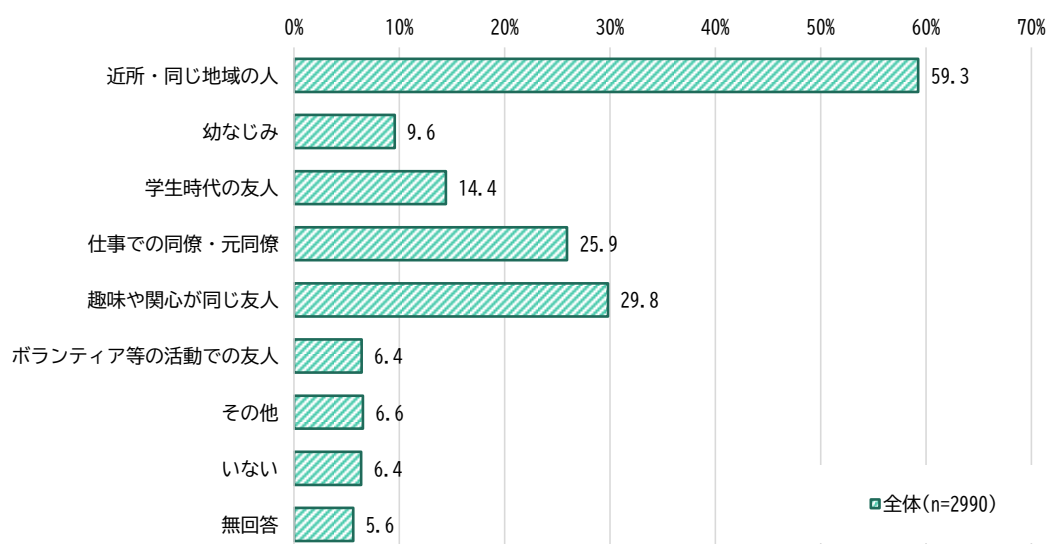
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

よく会う友人・知人との関係性については「近所・同じ地域の人」が59.3%と最も高く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」29.8%、「仕事での同僚・元同僚」25.9%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「近所・同じ地域の人」が最も高くなっています。

年代別でみても、いずれも「近所・同じ地域の人」が最も高くなっています。また、前期（75歳未満）では「仕事での同僚・元同僚」が37.6%となっており、後期（75歳以上）15.0%と比べて22.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「近所・同じ地域の人」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「近所・同じ地域の人」が高く、「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」が低くなっています。



第2章 調査結果

【集計表】

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	近 所 ・ 同 じ 地 域 の 人	幼 な じ み	学 生 時 代 の 友 人	仕 事 で の 同 僚 ・ 元 同 僚	趣 味 や 関 心 が 同 じ 友 人	人 ボ ラン テ ィ ア 等 の 活 動 で の 友	そ の 他	い な い	無 回 答
全体 (単純集計)		2,990	1,772 59.3%	286 9.6%	431 14.4%	775 25.9%	891 29.8%	192 6.4%	196 6.6%	191 6.4%	168 5.6%
性 別	男性	1,334	739 55.4%	141 10.6%	210 15.7%	393 29.5%	400 30.0%	90 6.7%	80 6.0%	83 6.2%	83 6.2%
	女性	1,656	1,033 62.4%	145 8.8%	221 13.3%	382 23.1%	491 29.6%	102 6.2%	116 7.0%	108 6.5%	85 5.1%
年 代 別	前期 (75歳未満)	1,445	787 54.5%	138 9.6%	234 16.2%	544 37.6%	467 32.3%	99 6.9%	115 8.0%	81 5.6%	63 4.4%
	後期 (75歳以上)	1,545	985 63.8%	148 9.6%	197 12.8%	231 15.0%	424 27.4%	93 6.0%	81 5.2%	110 7.1%	105 6.8%
年 齢 分 類	65歳から69歳	628	338 53.8%	58 9.2%	111 17.7%	263 41.9%	184 29.3%	38 6.1%	45 7.2%	36 5.7%	23 3.7%
	70歳から74歳	817	449 55.0%	80 9.8%	123 15.1%	281 34.4%	283 34.6%	61 7.5%	70 8.6%	45 5.5%	40 4.9%
	75歳から79歳	627	390 62.2%	71 11.3%	94 15.0%	135 21.5%	189 30.1%	51 8.1%	34 5.4%	37 5.9%	37 5.9%
	80歳から84歳	502	327 65.1%	44 8.8%	60 12.0%	66 13.1%	162 32.3%	27 5.4%	26 5.2%	32 6.4%	34 6.8%
	85歳以上	416	268 64.4%	33 7.9%	43 10.3%	30 7.2%	73 17.5%	15 3.6%	21 5.0%	41 9.9%	34 8.2%

問7 健康について

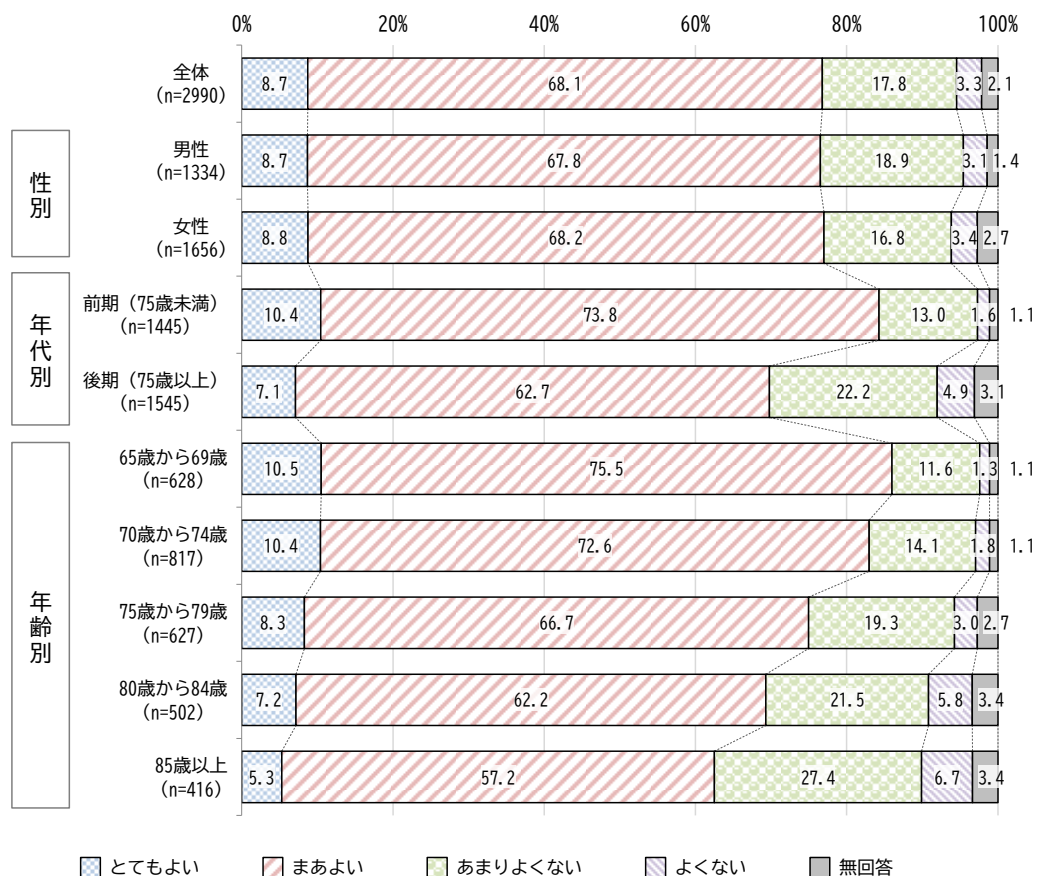
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

現在の健康状態については、「まあよい」が68.1%と最も高く、次いで、「あまりよくない」17.8%、「とてもよい」8.7%の順となっています。

性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、いずれも「まあよい」が最も高く、前期（75歳未満）では73.8%となっており、後期（75歳以上）62.7%と比べて11.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「まあよい」が最も高くなっていますが、年齢が高くなるにつれて低くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「よい（とてもよい）+（まあよい）」が低く、「よくない（あまりよくない）+（よくない）」が高くなっています。

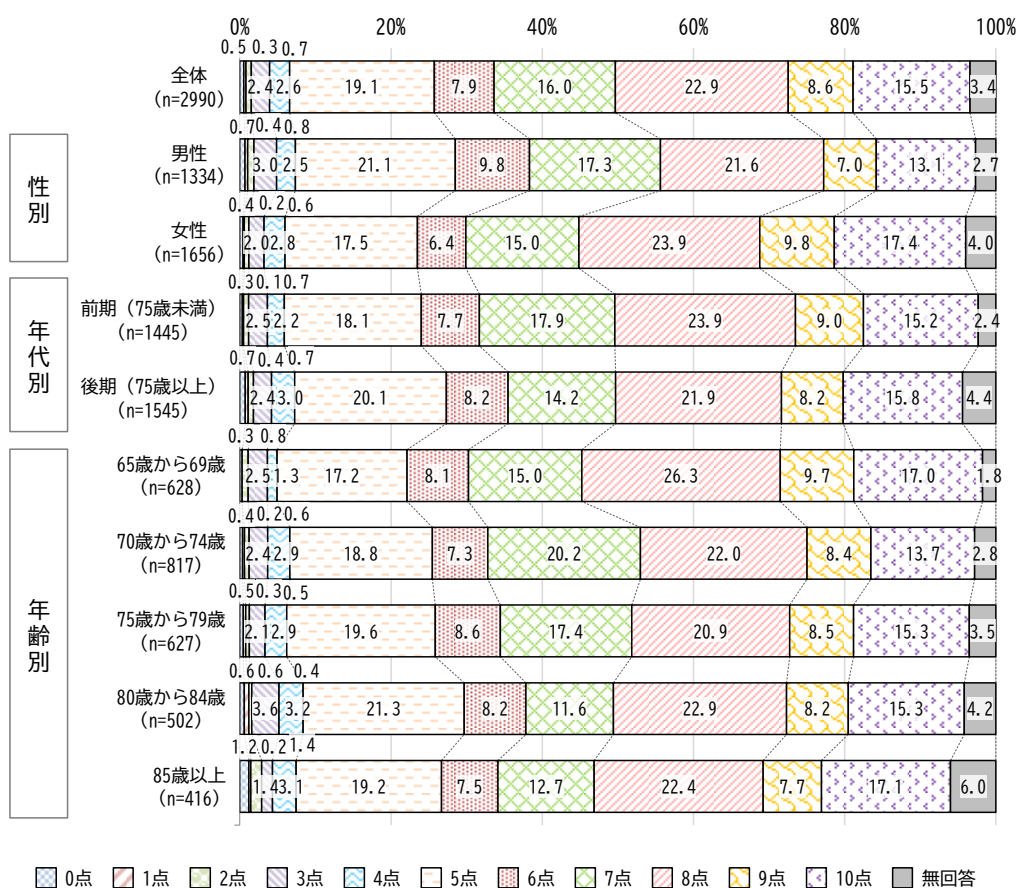


(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

心の健康状態を10点満点で表すと、「8点」が22.9%と最も高く、次いで、「5点」19.1%、「7点」16.0%の順となっています。

性別、年代別でも、「8点」が最も高くなっています。

年齢別でも、「8点」が最も高くなっています。また、幸福点数が高い「8～10点」については、各年齢層で4～5割と高くなっています。

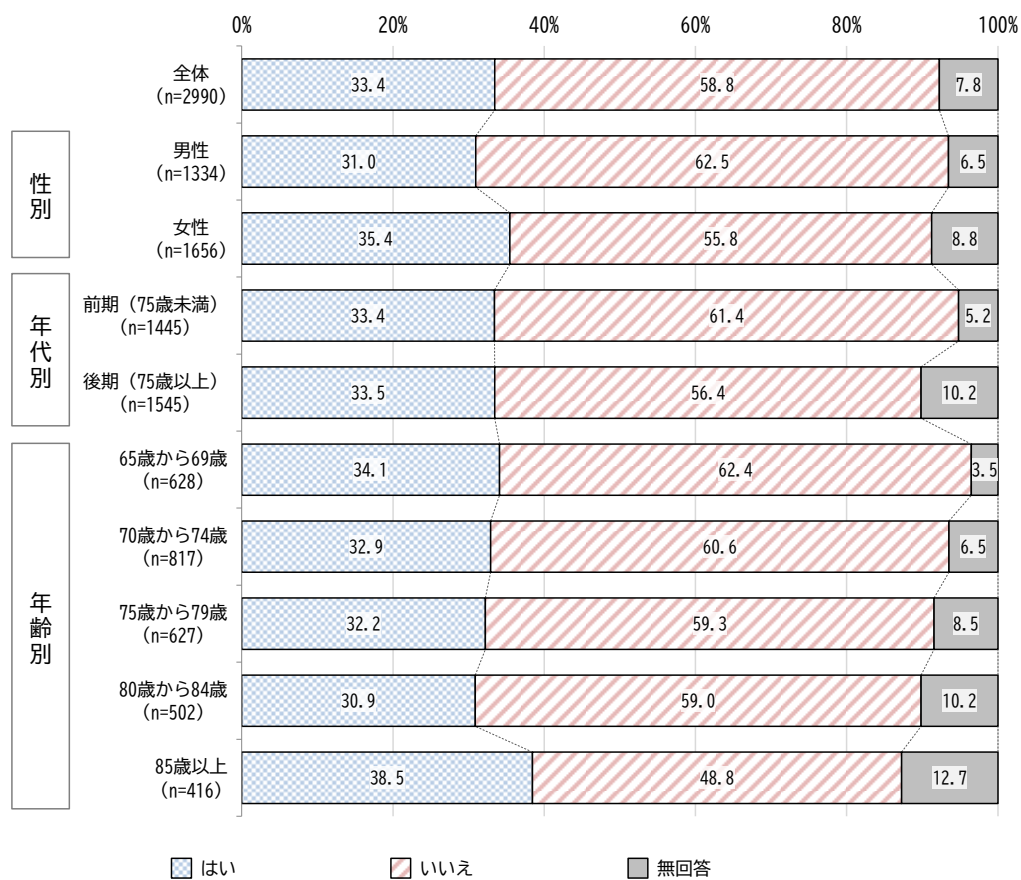


(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあるか尋ねたところ、「はい」が33.4%、「いいえ」が58.8%となっています。

性別、年代別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年齢別でみても、いずれの年齢層も「いいえ」が「はい」を上回っていますが、年齢が高くなるにつれて「いいえ」が低くなっています。



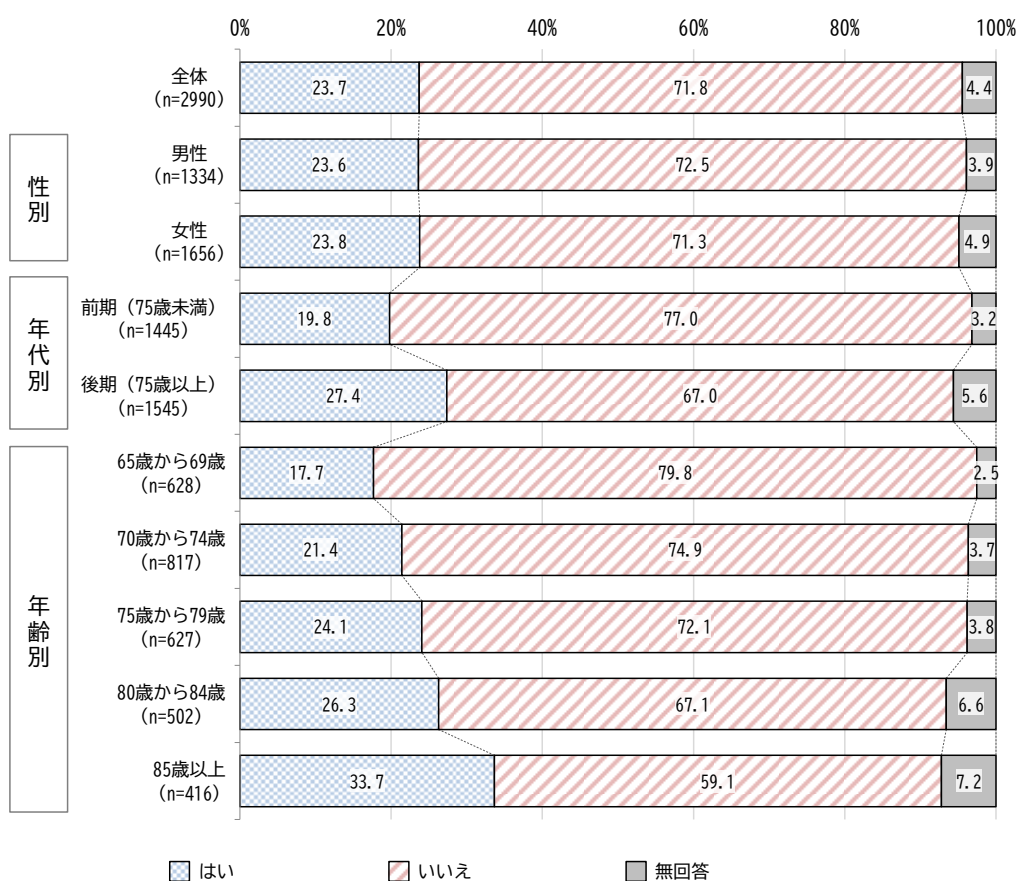
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか尋ねたところ、「はい」が23.7%、「いいえ」が71.8%となっています。

性別では全体の結果と特に大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、いずれも「いいえ」が「はい」を上回っていますが、後期（75歳以上）では「いいえ」が67.0%となっており、前期（75歳未満）77.0%と比べて10.0ポイント低くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「はい」が高く、「いいえ」が低くなっています。



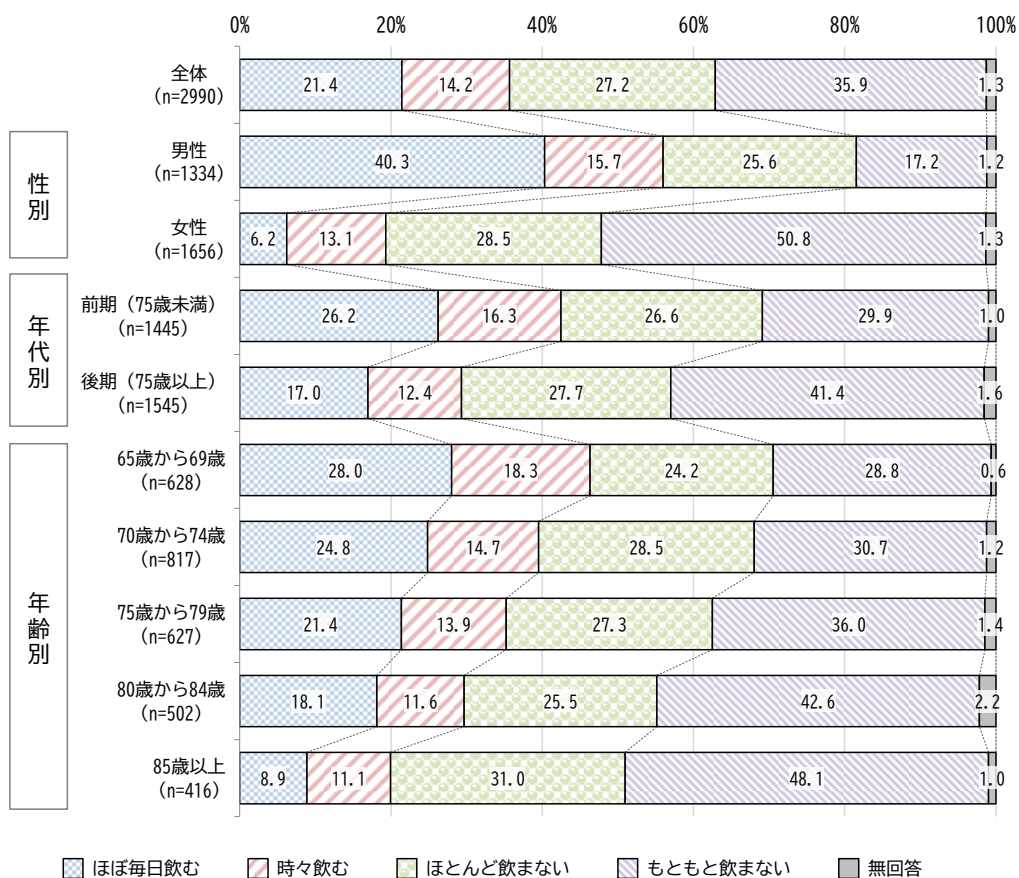
(5) お酒は飲みますか

飲酒の習慣については、「もともと飲まない」が35.9%と最も高く、次いで、「ほとんど飲まない」27.2%、「ほぼ毎日飲む」21.4%の順となっています。

性別でみると、男性では「飲む（ほぼ毎日飲む）＋（時々飲む）」が56.0%と過半数を超えており、女性では「飲まない（ほとんど飲まない）＋（もともと飲まない）」が79.3%と7割を超えています。

年代別でみると、いずれも「飲まない（ほとんど飲まない）＋（もともと飲まない）」が過半数を超えていますが、前期（75歳未満）では「飲む（ほぼ毎日飲む）＋（時々飲む）」が42.5%と「後期（75歳以上）」29.4%と比べて13.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「飲まない（ほとんど飲まない）＋（もともと飲まない）」が過半数を超えており、年齢が高くなるにつれてその割合が高くなり、85歳以上では79.1%と8割近くを占めています。



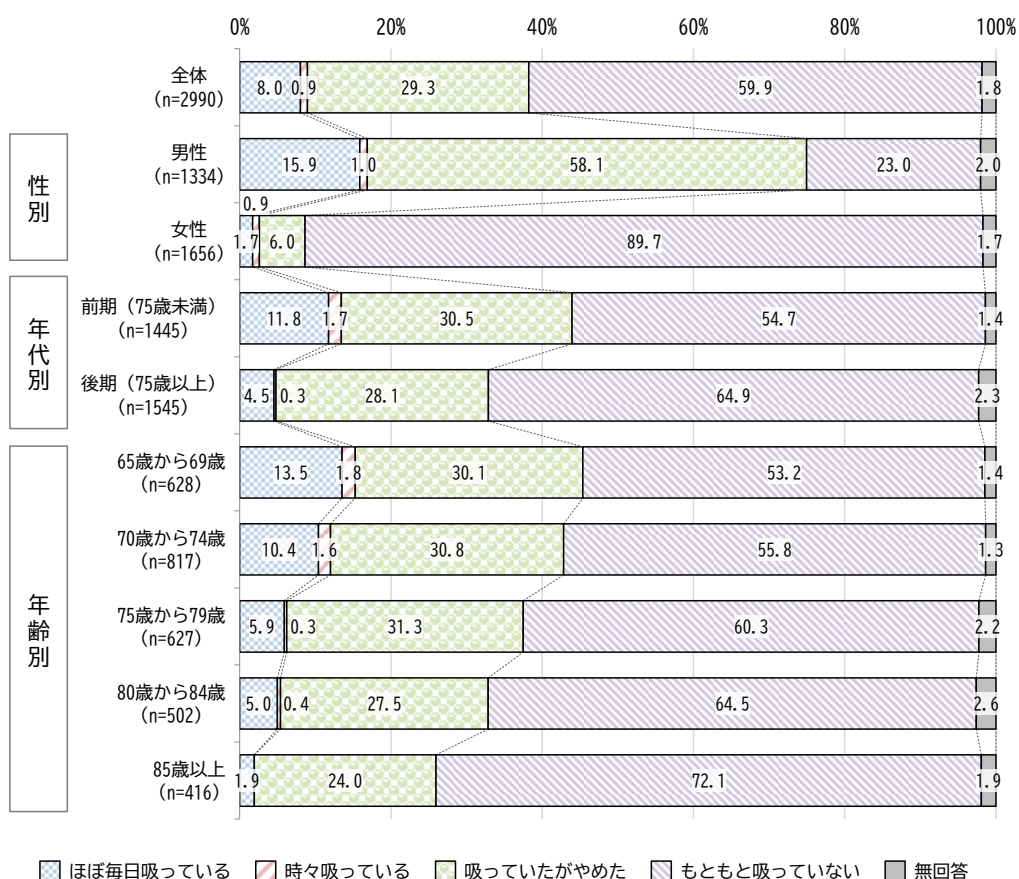
(6) タバコは吸っていますか

喫煙の習慣については、「もともと吸っていない」が59.9%と最も高く、次いで、「吸っていたがやめた」29.3%、「ほぼ毎日吸っている」8.0%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「吸っていない（吸っていたがやめた）＋（もともと吸っていない）」が「吸っている（ほぼ毎日吸っている）＋（時々吸っている）」を大きく上回っており、特に女性では「吸っていない（吸っていたがやめた）＋（もともと吸っていない）」が95.7%と9割を超えています。

年代別でも、いずれも「吸っていない（吸っていたがやめた）＋（もともと吸っていない）」が8割を超えています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「吸っていない（吸っていたがやめた）＋（もともと吸っていない）」が「吸っている（ほぼ毎日吸っている）＋（時々吸っている）」を大きく上回っており、特に75歳以上では9割を超えて高くなっています。



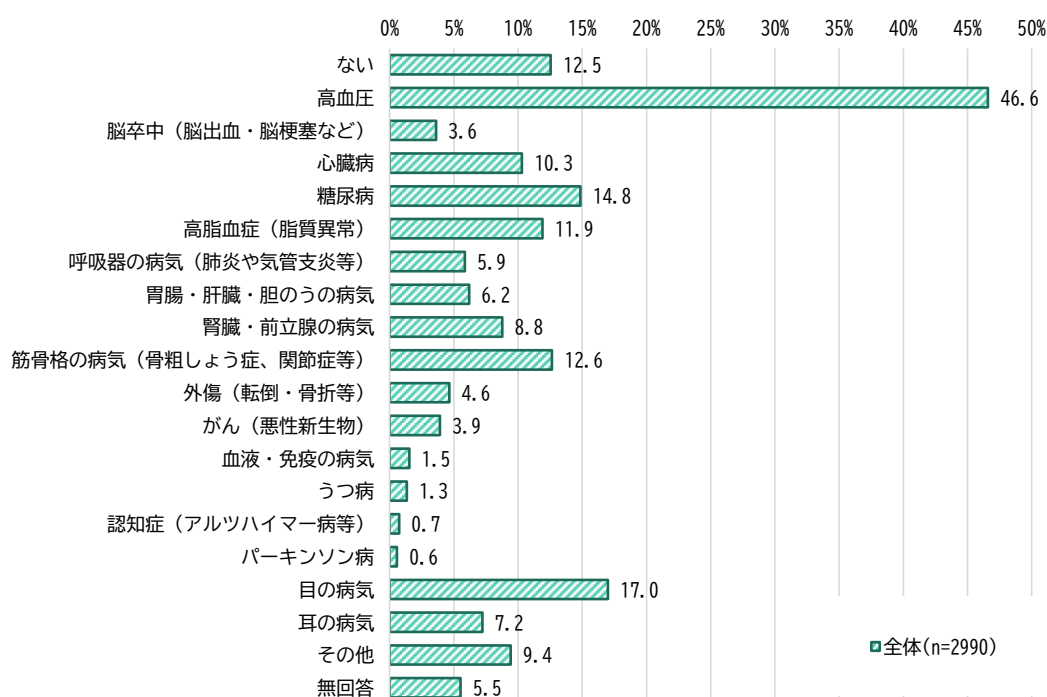
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が46.6%と最も高く、次いで、「目の病気」17.0%、「糖尿病」14.8%の順となっています。

性別でみると、男女ともに「高血圧」が最も高くなっています。また、男性では女性と比べて「腎臓・前立腺の病気」が高く、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が低くなっており、10ポイント以上差が生じています。

年代別でみても、「高血圧」が最も高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「高血圧」が最も高くなっており、年齢が高くなるにつれてその割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「ない」が低くなり、「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」「腎臓・前立腺の病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「がん（悪性新生物）」「目の病気」「耳の病気」が高くなっています。



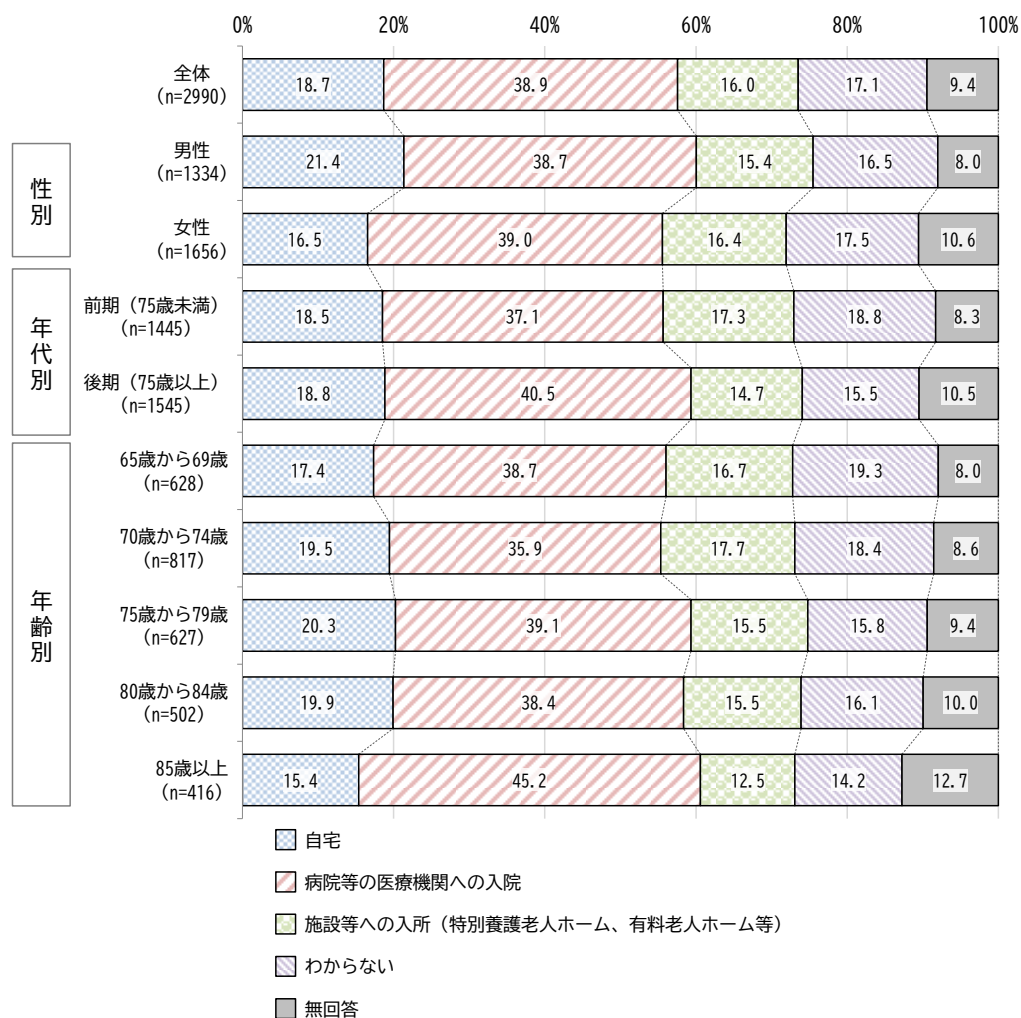
(上段:人 下段:%)

(8) あなた自身の身体が虚弱になって、医療や介護が必要となったとき、主にどこで医療や介護を受けたいですか

自身の身体が虚弱になり、医療や介護が必要となったとき、医療や介護を受けたい場所については、「病院等の医療機関への入院」が38.9%と最も高く、次いで、「自宅」18.7%、「わからない」17.1%の順となっています。

性別、年代別でみても、「病院等の医療機関への入院」が最も高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「病院等の医療機関への入院」が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「施設等への入所（特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等）」が低くなっています。



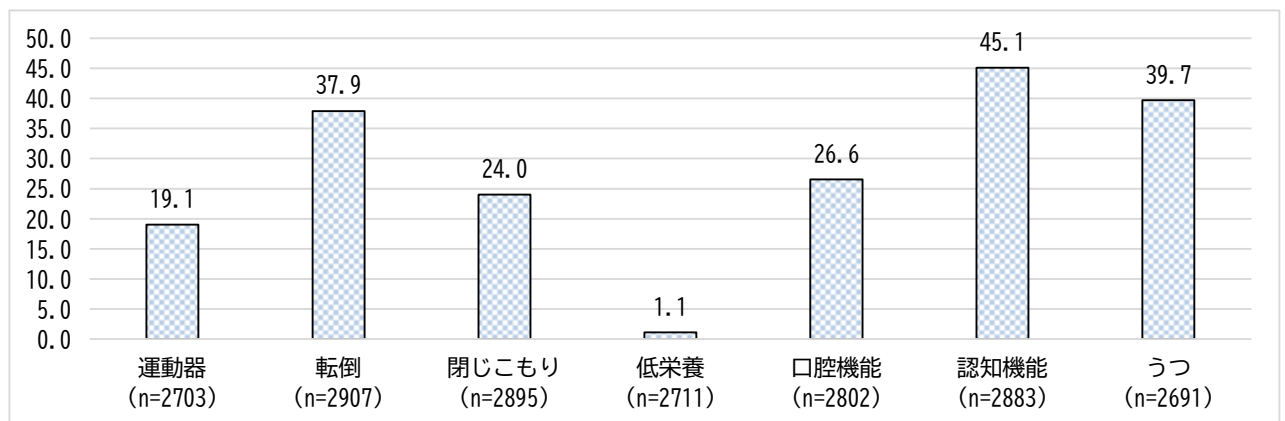
第3章 調査結果の分析

1 リスク発生状況

高齢者の状態を、運動器機能リスク、転倒リスク、閉じこもりリスク、低栄養リスク、口腔機能リスク、認知機能リスク、うつリスクの7項目の生活機能評価をしました。

各種リスクの該当者は、「認知機能リスク」が45.1%と最も高く、次いで「うつリスク」が39.7%、「転倒リスク」が37.9%、「口腔機能リスク」が26.6%、「閉じこもりリスク」が24.0%、「運動器機能リスク」が19.1%となっています。「低栄養リスク」は1.1%とリスクの該当者は少なくなっています。

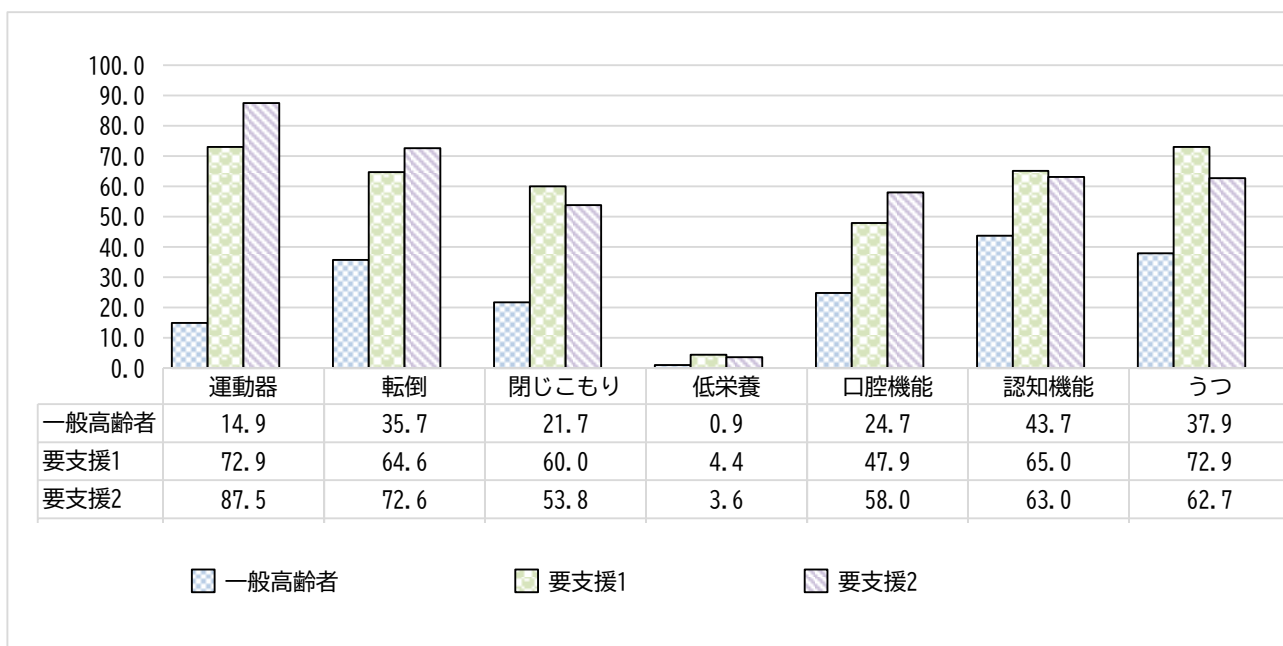
■全体



認定区分ごとリスク発生状況をみると、「一般高齢者」では、「認知機能」43.7%が最も高く、次いで「うつ」37.9%、「転倒」35.7%の順となっています。

「要支援1」では、「運動器」「転倒」「閉じこもり」「認知機能」「うつ」、「要支援2」では「運動器」「転倒」「認知機能」「うつ」が6割を超えて高くなっています。

■認定区分別

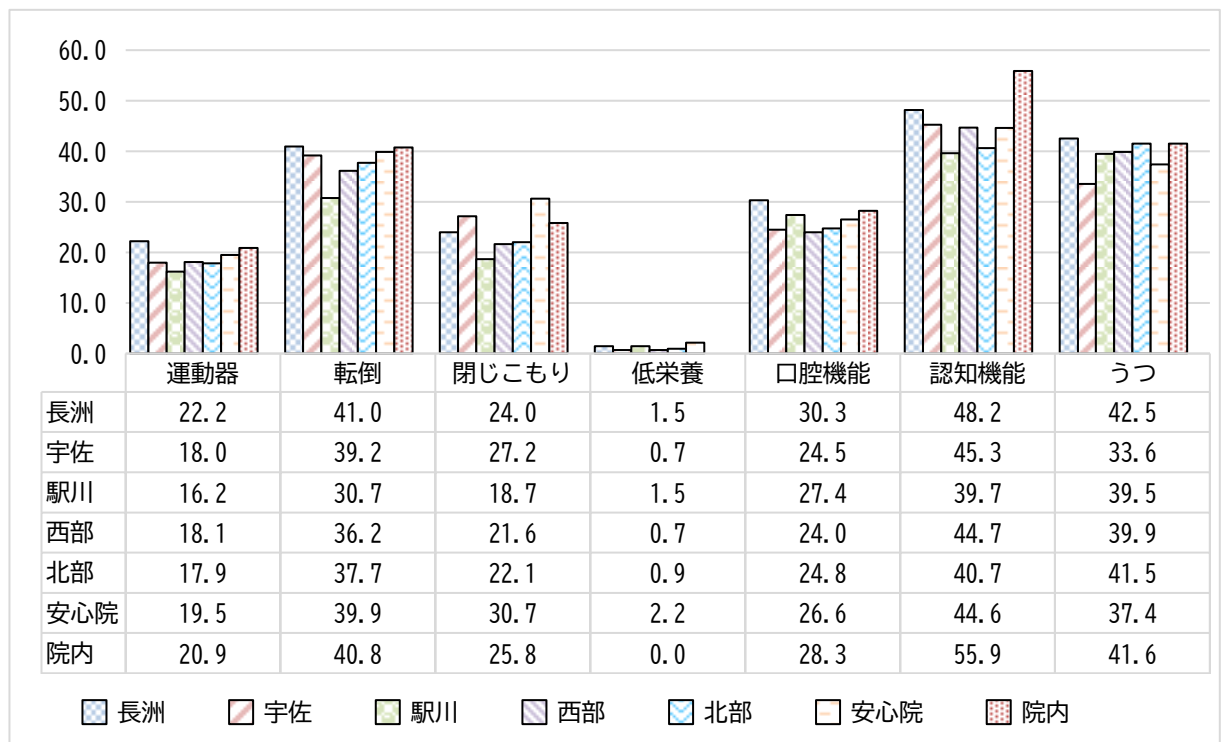


	運動器	転倒	閉じこもり	低栄養	口腔機能	認知機能	うつ
一般高齢者	n=2530	n=2713	n=2702	n=2536	n=2620	n=2688	n=2523
要支援1	n=85	n=99	n=100	n=91	n=94	n=103	n=85
要支援2	n=88	n=95	n=93	n=84	n=88	n=92	n=83

リスクの発生状況を地区別にみると、「運動器」「転倒」「口腔機能」「うつ」では「長洲」、「閉じこもり」「低栄養」では「安心院」、「認知機能」では「院内」が最も高くなっています。

地区別の発生状況をみると、「北部」では「うつ」、その他の圏域では「認知機能」が最も高くなっています。

■ 圏域別



	運動器	転倒	閉じこもり	低栄養	口腔機能	認知機能	うつ
長洲	n=526	n=571	n=567	n=537	n=544	n=573	n=522
宇佐	n=278	n=301	n=302	n=275	n=290	n=296	n=286
駅川	n=339	n=361	n=359	n=343	n=354	n=358	n=334
西部	n=536	n=564	n=559	n=540	n=541	n=557	n=524
北部	n=420	n=456	n=458	n=426	n=440	n=455	n=424
安心院	n=389	n=416	n=414	n=371	n=403	n=408	n=382
院内	n=215	n=238	n=236	n=219	n=230	n=236	n=219

2 項目別評価

(1) 運動器の機能低下

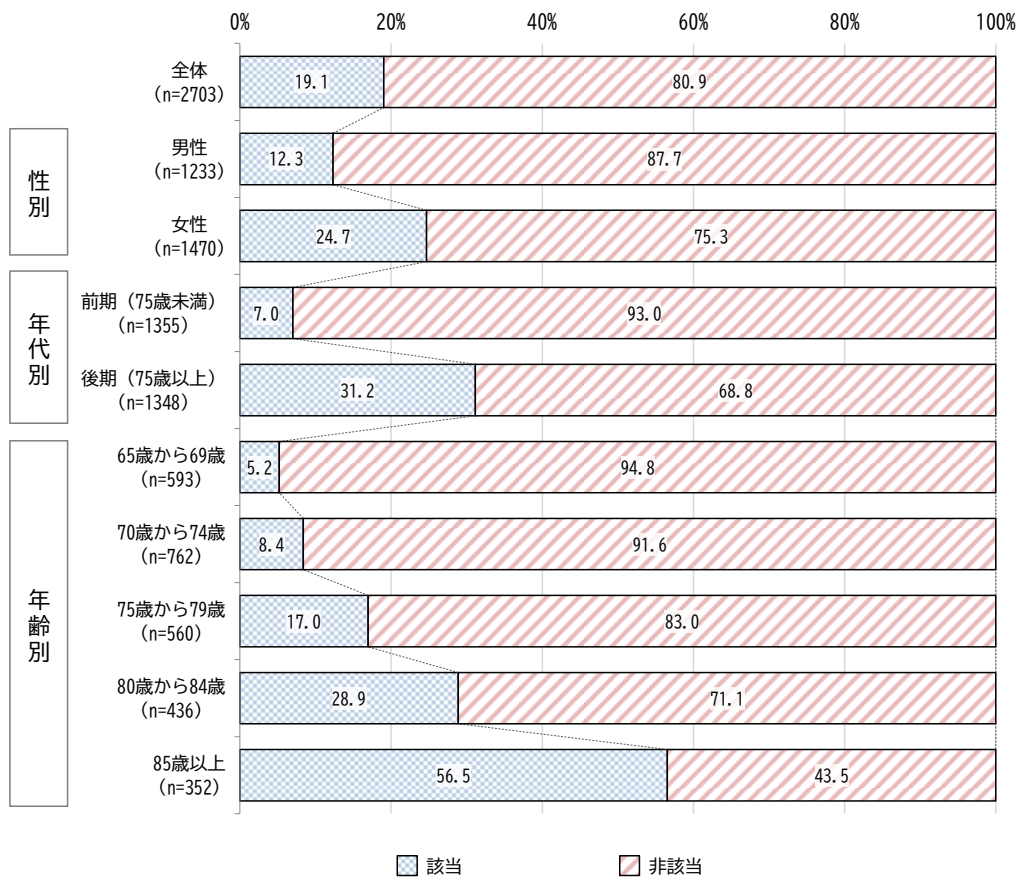
以下の設問のうち、3問以上該当する選択肢（下表の網掛け箇所）が回答された場合、運動器機能の低下している高齢者と判定されます。

番号	設問内容	該当する選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

リスク該当者の出現状況をみると、男性に比べ女性のリスク該当者の割合が高くなっています。

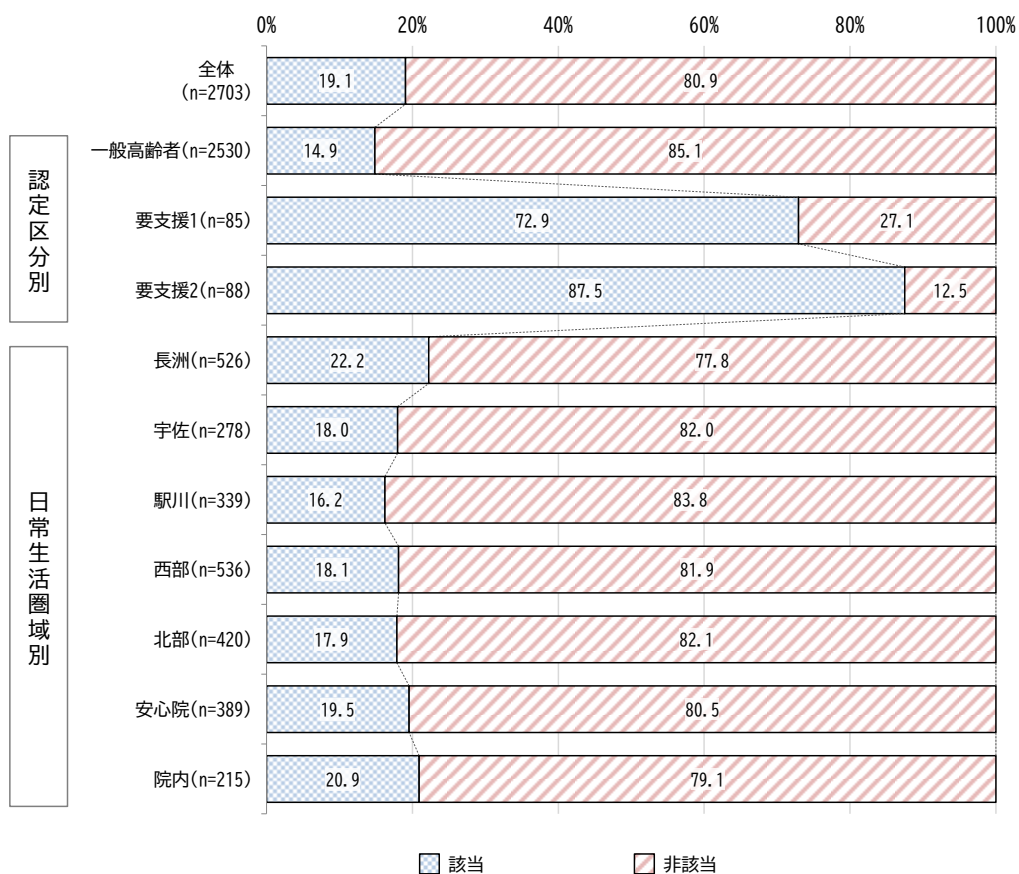
また、年齢層が高くなるにつれてリスク該当者の割合が高くなっており、85歳以上ではリスク該当者が5割以上と高くなっています。

これらのことから、運動器機能のリスクは年齢が高くなるにつれてリスク該当者の割合も高くなり、加齢による影響が大きいと考えられます。



認定区分別にみると、「要支援1」「要支援2」ではリスク該当者の割合が7割を超えて高く、特に「要支援2」では87.5%と約9割となっています。

圏域別でみると、いずれの圏域もリスク該当者の割合は2割前後となっています。



(2) 転倒リスク

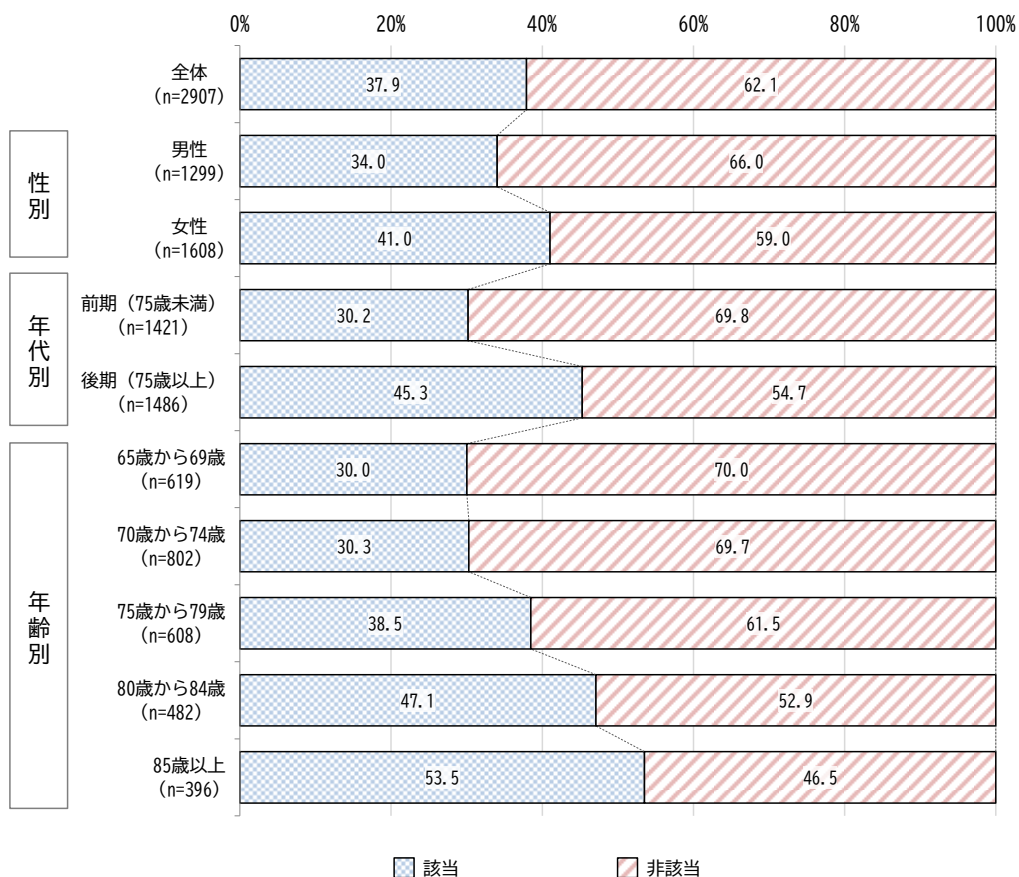
以下の設問で、該当する選択肢（下表の網掛け箇所）が回答された場合に、転倒リスクがあると判定されます。

番号	設問内容	該当する選択肢
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

リスク該当者の出現状況をみると、男性に比べ女性のリスク該当者の割合が高くなっています。

また、年齢層が高くなるにつれてリスク該当者割合が高くなっており、85歳以上ではリスク該当者が5割以上と高くなっています。

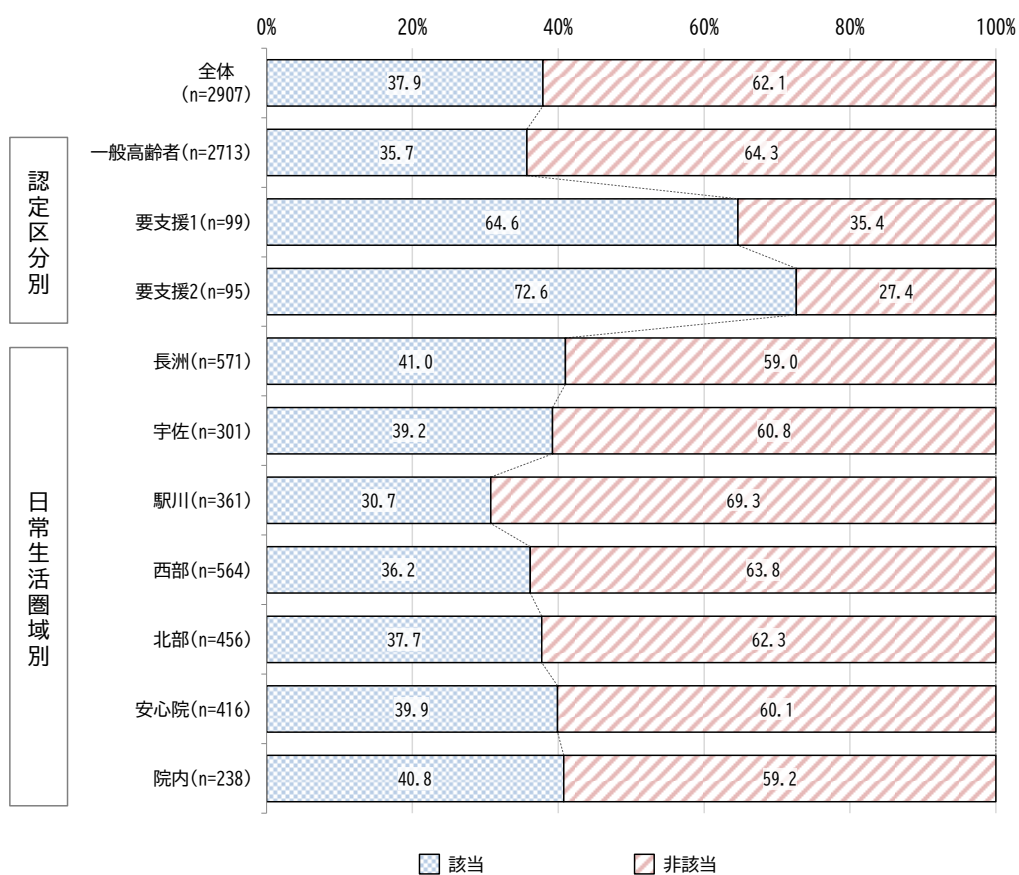
これらのことから、転倒のリスクは年齢が高くなるにつれてリスク該当者の割合も高くなり、加齢による影響が大きいと考えられます。



認定区分別にみると、リスク該当者の割合が「要支援1」では64.6%、「要支援2」では72.6%と高くなっています。

圏域別でみると、いずれの圏域もリスク該当者の割合は3～4割となっています。

転倒リスクについても年齢構成が影響していると思われますが、道路の整備状況や平坦地の多さなど、他の要因が影響していることも考えられます。



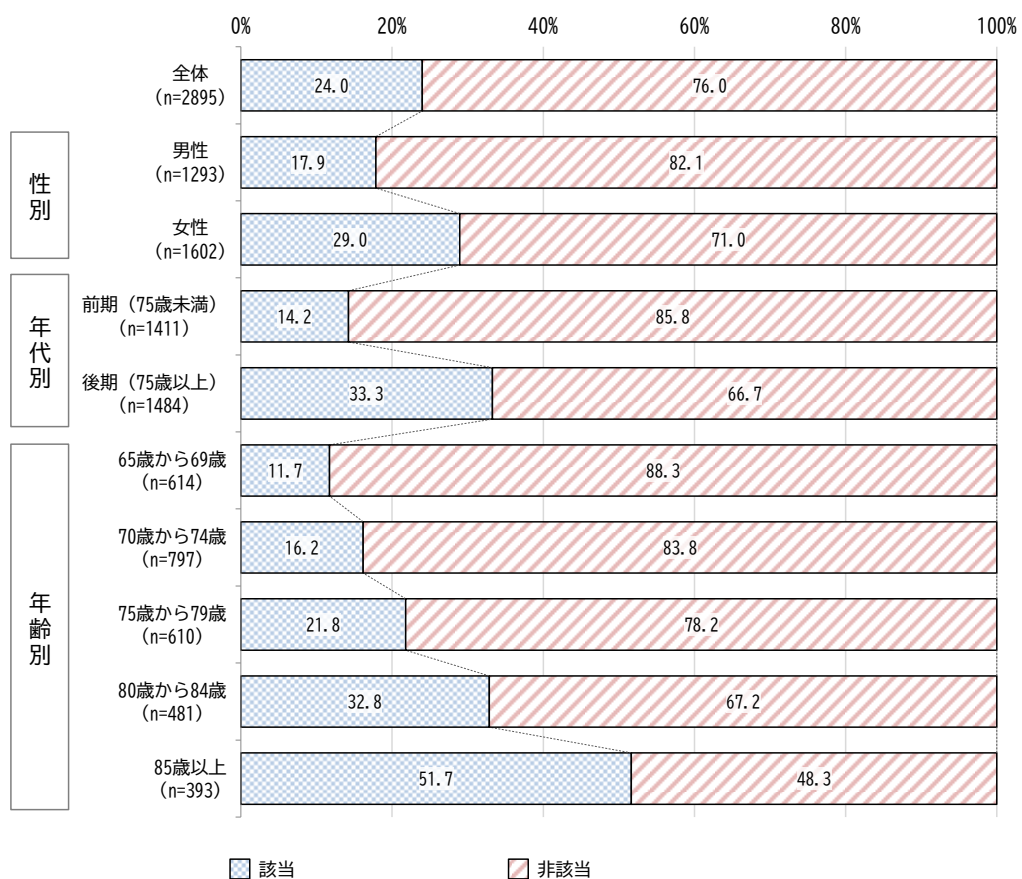
(3) 閉じこもり傾向

以下の設問で、該当する選択肢（下表の網掛け箇所）が回答された場合に、閉じこもり傾向にあると判定されます。

番号	設問内容	該当する選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

リスク該当者の出現状況を見ると、男性に比べ女性のリスク該当者の割合が高くなっています。

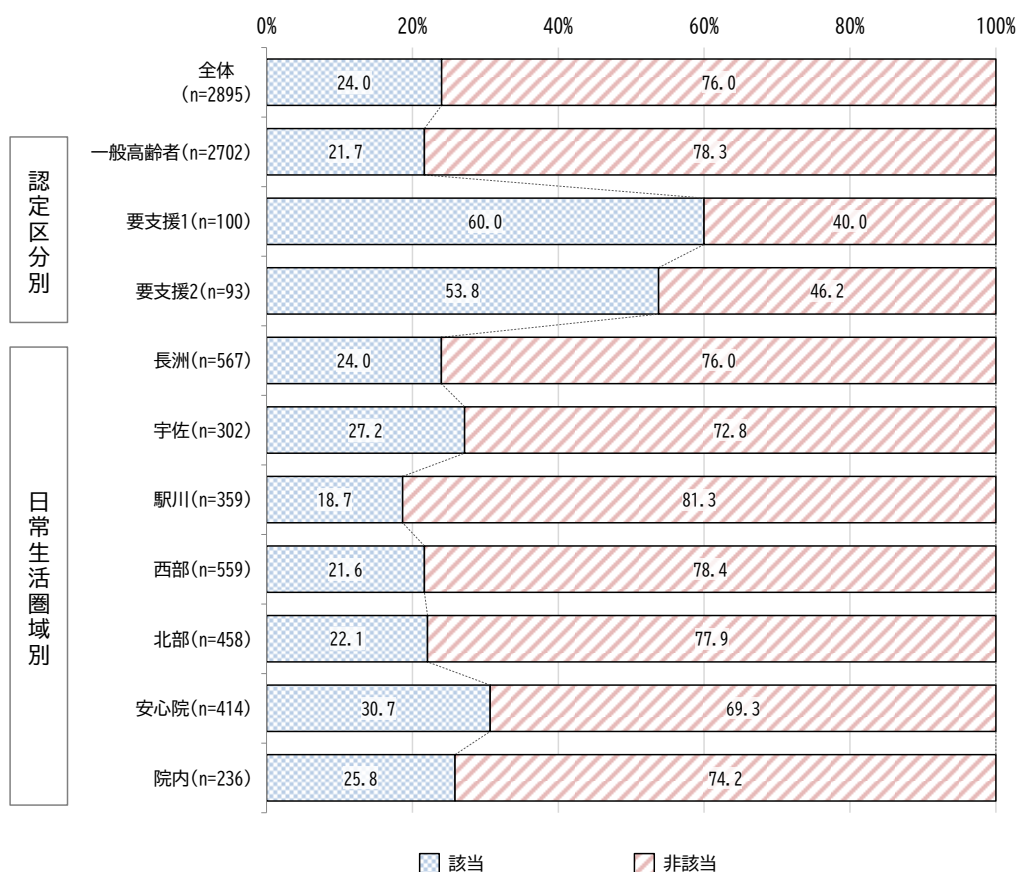
また、年齢層が高くなるにつれてリスク該当者の割合が高くなっており、85歳以上ではリスク該当者が5割以上と高くなっています。



認定区分別にみると、リスク該当者の割合が「要支援1」では60.0%、「要支援2」では53.8%と高くなっています。

圏域別でみると、リスク該当者の割合が「安心院」では30.7%と3割を超えており、他の圏域と比べて高くなっています。

地区別のリスク該当者割合の差異は、他に外出を躊躇するようなその圏域特有の地理的、心理的、環境的な要因がないかなどを、検討する必要があります。

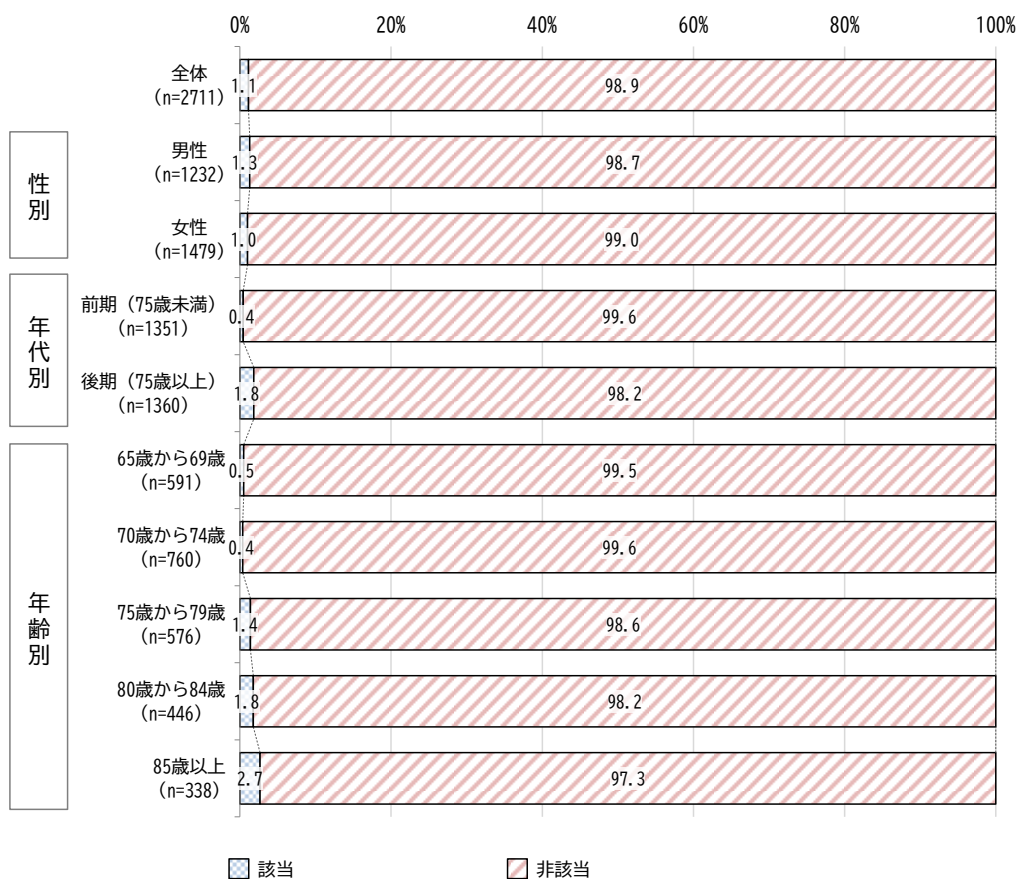


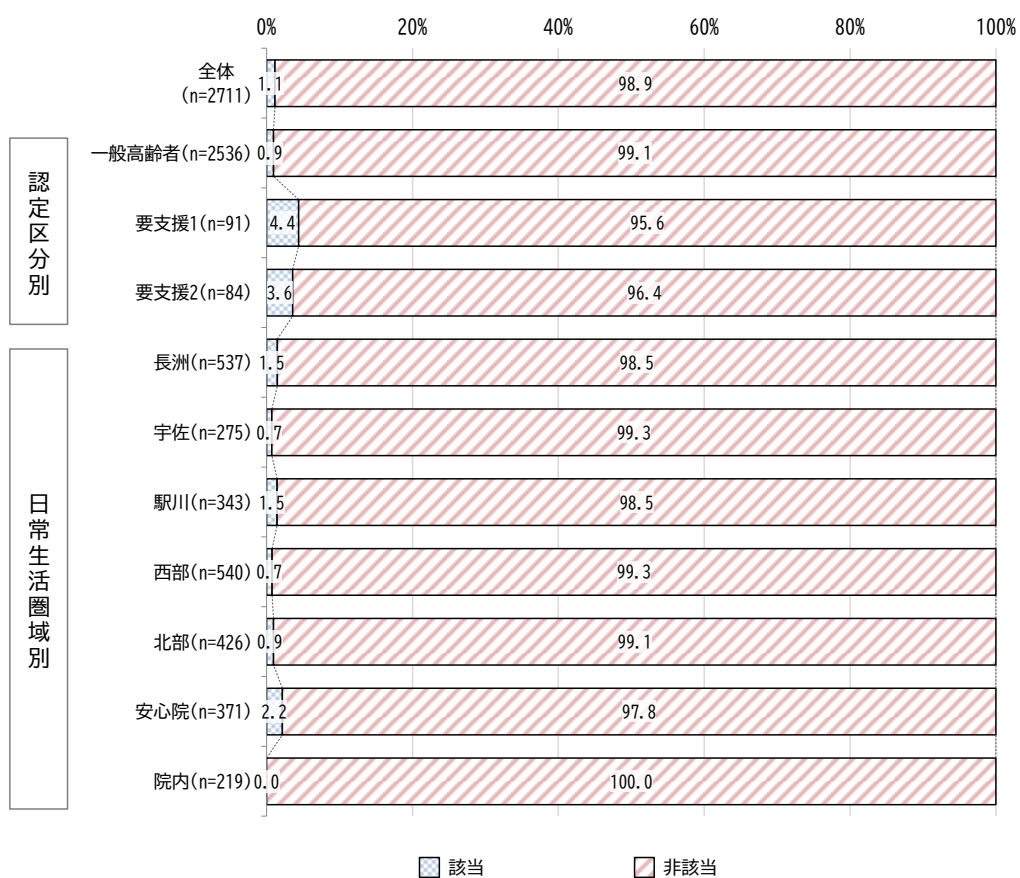
(4) 低栄養の傾向

身長・体重から算出されるBMI【体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}】が18.5以下で、「6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」の質問に「はい」(下表の網掛け箇所)と回答された場合に低栄養の傾向にあると判定されます。

番号	設問内容	該当する選択肢
問3 (1)	身長・体重	() cm () kg → BMI 18.5 以下
問3 (7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

リスク該当者の出現状況をみると、性別、年代別、年齢別、認定区分別、日常生活圏域別でも全体の結果と特に差がみられず、9割が非該当となっています。





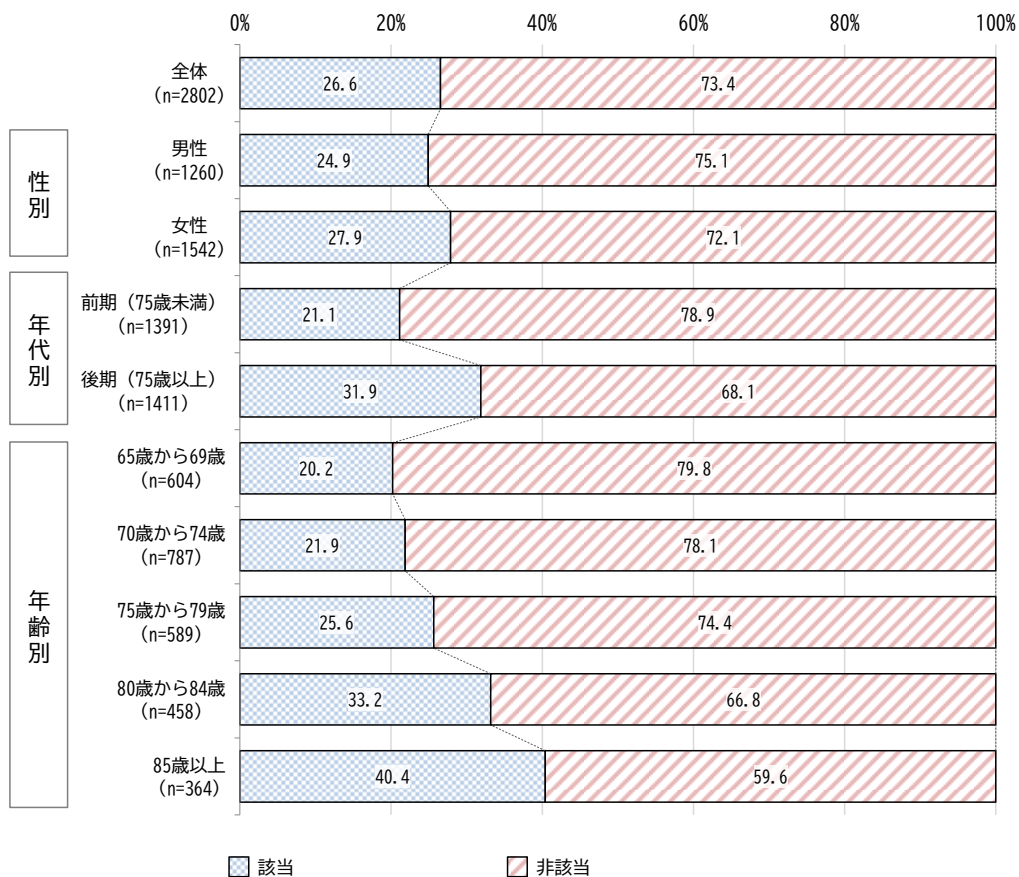
(5) 口腔機能の低下

以下の3つの設問のうち2問以上、該当する選択肢（下表の網掛け箇所）が回答された場合に、口腔機能が低下していると判定されます。

番号	設問内容	該当する選択肢
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
問3 (4)	口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

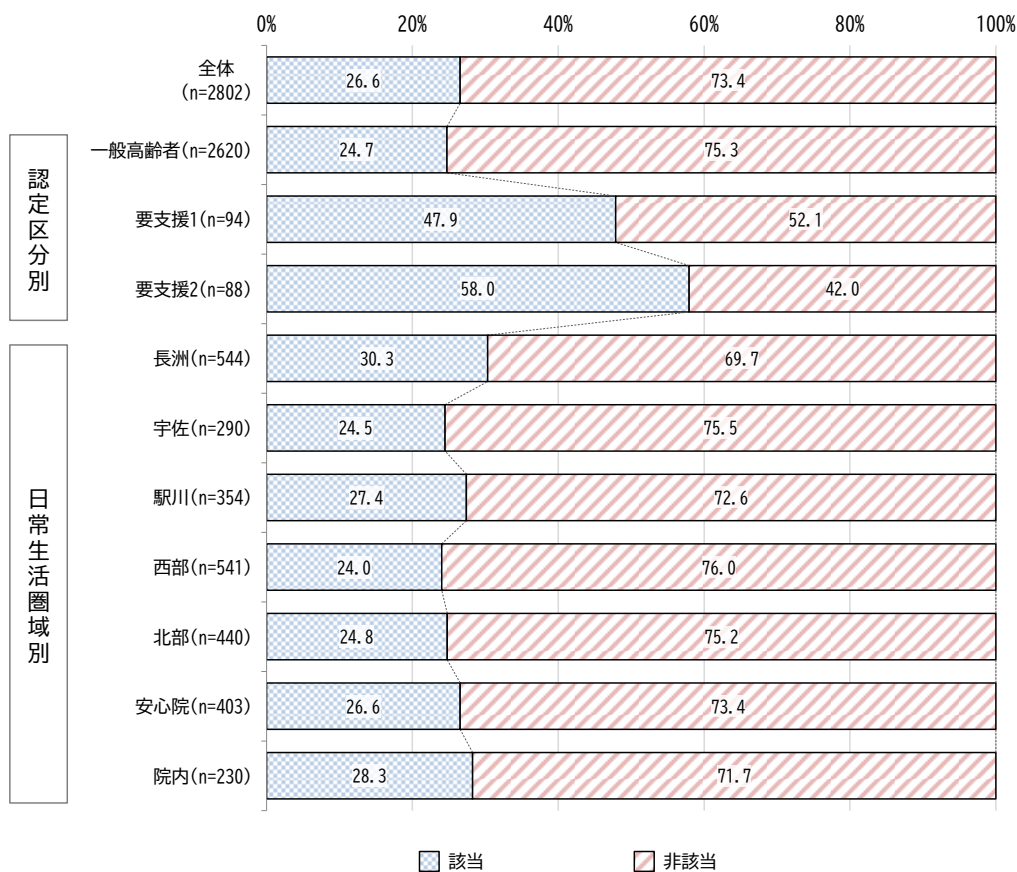
リスク該当者の出現状況をみると、男性に比べ女性のリスク該当者の割合が若干高くなっています。

また、年齢階層が高くなるにつれてリスク該当者の割合が高くなっており、85歳以上はリスク該当者が4割以上と高くなっています。



認定区分別にみると、リスク該当者の割合が「要支援1」では47.9%、「要支援2」では58.0%と高くなっています。

圏域別でみると、リスク該当者の割合が「長洲」では30.3%と3割を超えていますが、特に大きな差はみられません。



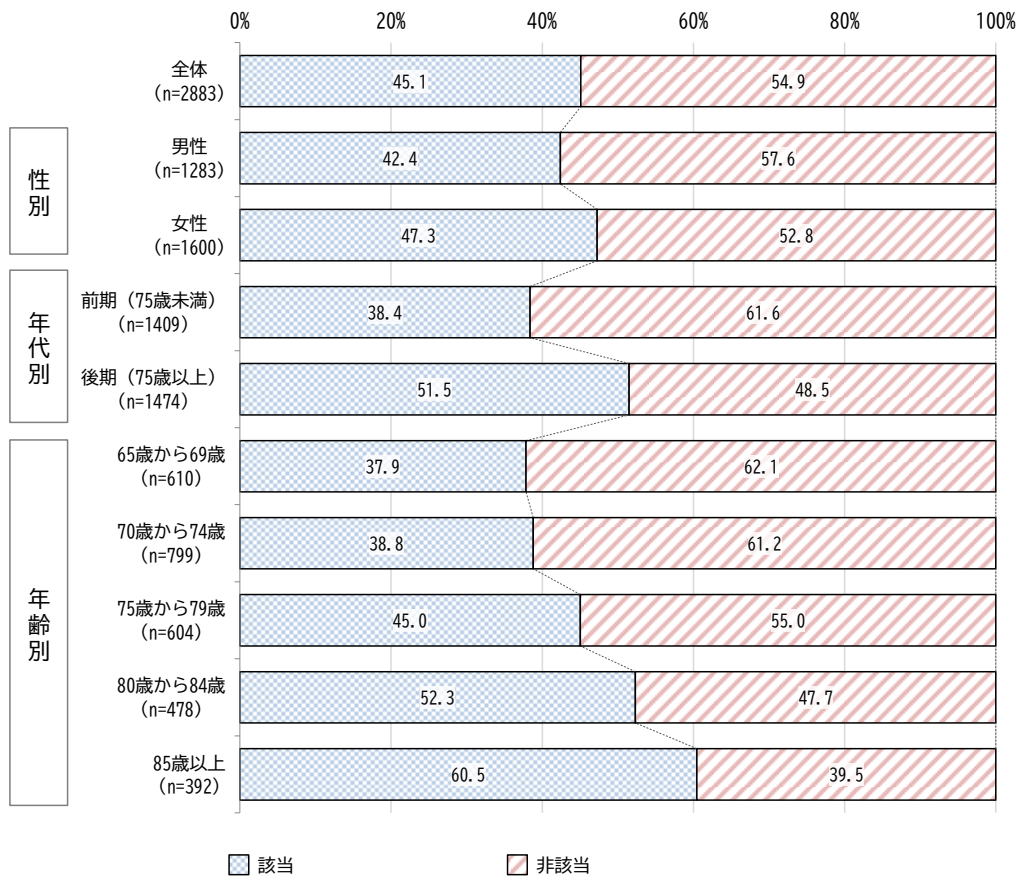
(6) 認知機能の低下

以下の設問で、該当する選択肢（下表の網掛け箇所）が回答された場合に、認知機能が低下していると判定されます。

番号	設問内容	該当する選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

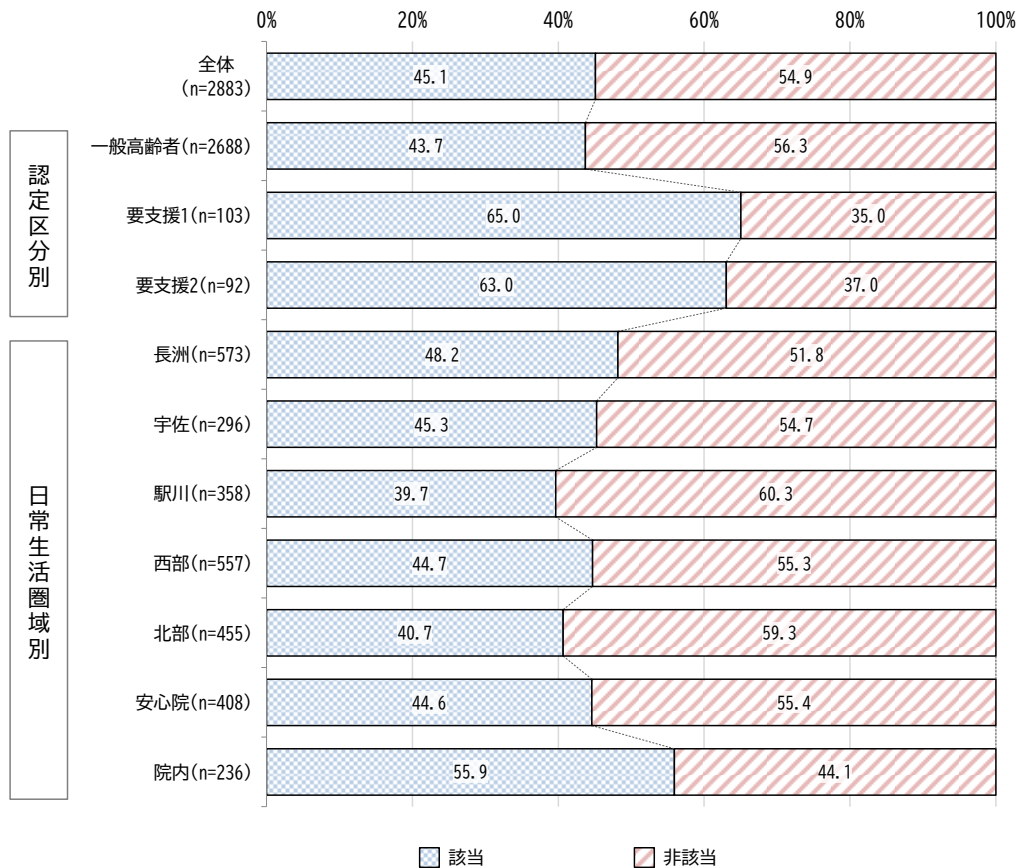
リスク該当者の出現状況をみると、男性に比べ女性のリスク該当者の割合が若干高くなっています。

また、年齢階層が高くなるにつれてリスク該当者の割合が高くなっており、80歳以上ではリスク該当者が5割以上と高くなっています。



認定区分別にみると、リスク該当者の割合が「要支援1」では65.0%、「要支援2」では63.0%と高くなっていますが、「一般高齢者」も43.7%と4割を占めています。

圏域別でみると、最も低い圏域は「駅川」39.7%、最も高い圏域は「院内」55.9%となっており、16.2ポイント差が生じています。



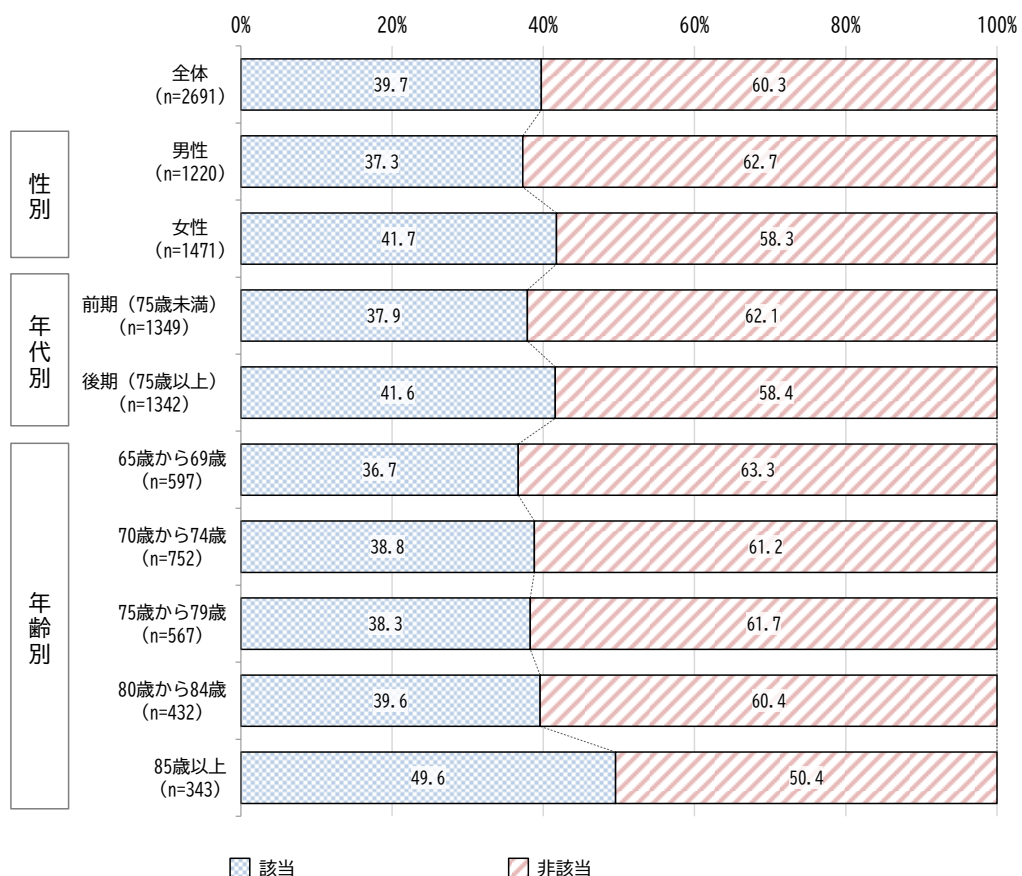
(7) うつの傾向

以下の設問で、いずれか1問でも該当する選択肢（下表の網掛け箇所）が回答された場合に、うつ傾向にあると判定されます。

番号	設問内容	該当する選択肢
問7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

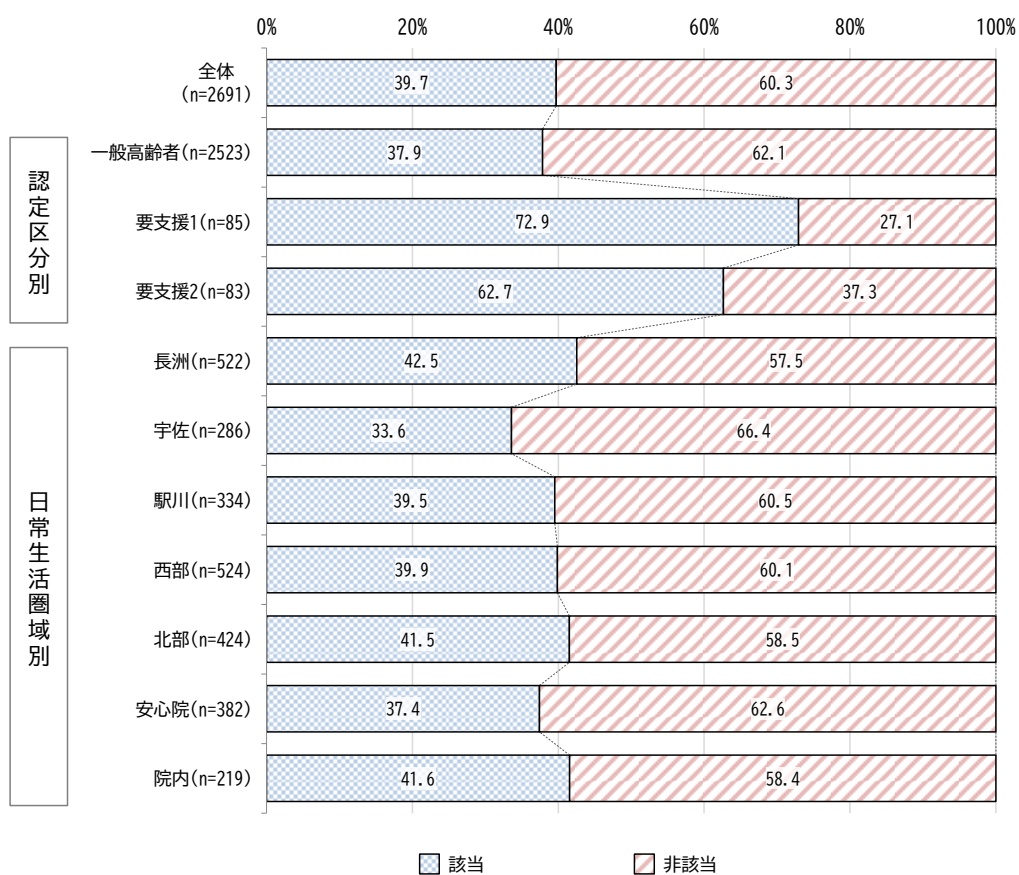
リスク該当者の出現状況をみると、男性に比べ女性のリスク該当者の割合が高くなっています。

また、84歳まではリスク該当者が3割台となっていますが、85歳以上では約5割と高くなっています。



認定区分別にみると、リスク該当者の割合が「要支援1」では72.9%、「要支援2」では62.7%と高くなっていますが、「一般高齢者」も37.9%と約4割となっています。

圏域別でみると、「長洲」「北部」「院内」では、リスク該当者の割合が4割を超えて高くなっています。



3 生活機能の評価

(1) IADL (手段的日常生活動作能力)

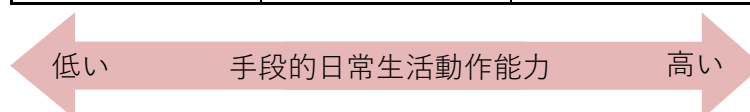
「IADL (手段的日常生活動作能力)」とは、電話の使い方、買い物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、「日常生活動作 (食事・排泄・整容・移動・入浴等の基本的な行動)」よりも複雑で高次の生活機能の水準を測定するものです。

以下の設問で、該当する選択肢 (下表の網掛け箇所) が回答された場合に各1点とし、5点満点でIADLの評価を行いました。(5点を「1. 高い」、4点を「2. やや低い」、3点以下を「3. 低い」とします)

番号	設問内容	該当する選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか	
問4 (7)	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4 (8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

【合計点数 判定基準】

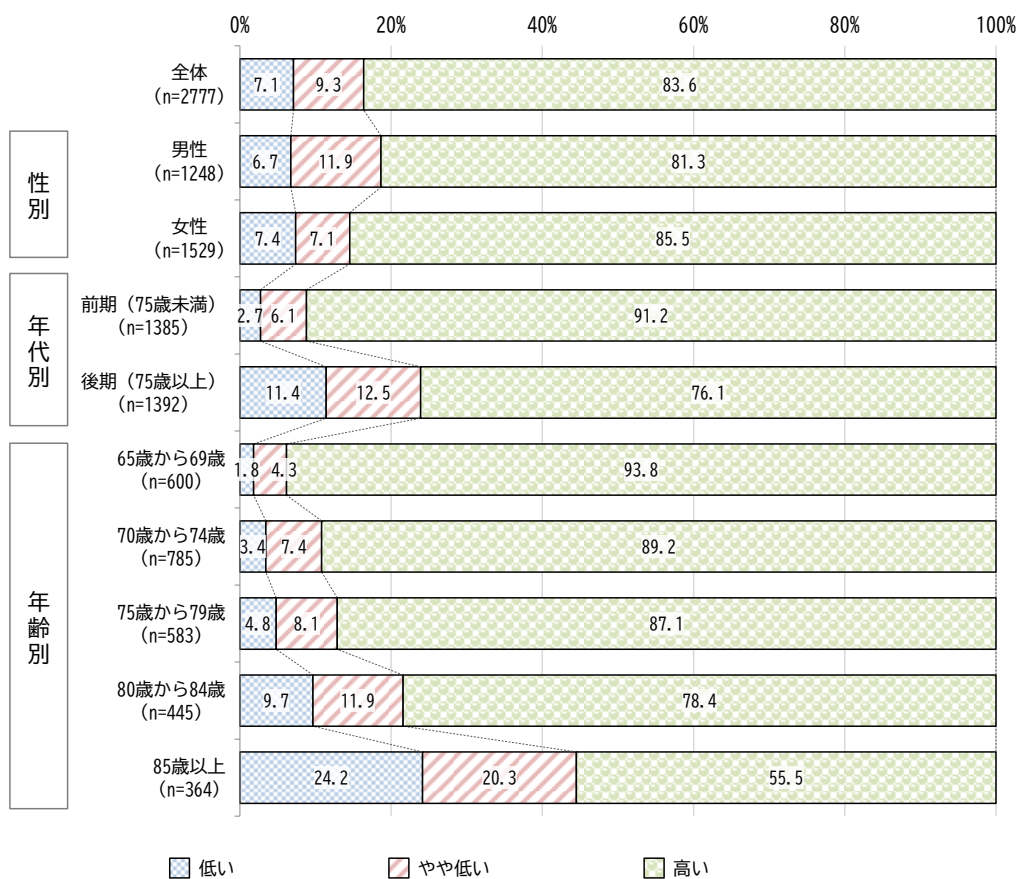
0～3点	4点	5点
低い	やや低い	高い



IADLが「低い」7.1%「やや低い」9.3%に該当する人は、16.4%となっています。

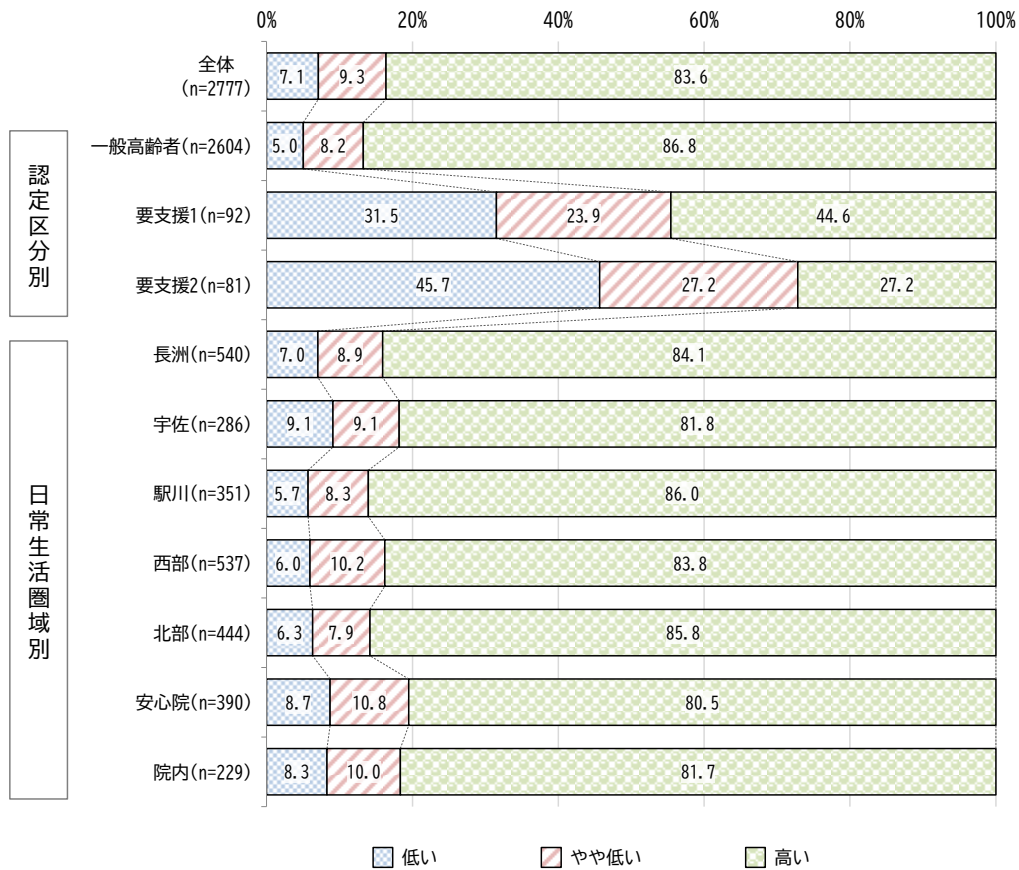
性別では、全体の結果と大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、年齢層が高くなるにつれて「低い」「やや低い」に該当する人の割合が高くなり、85歳以上では44.5%と4割を超えています。



IADLが「低い」「やや低い」を合わせた人の該当割合を認定区分別にみると、「要支援1」では55.4%、「要支援2」では72.9%と高くなっています。

圏域別に「低い」「やや低い」を合わせた人の該当割合をみると、「安心院」が19.5%で最も高くなっています。



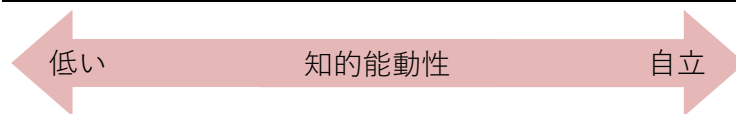
(2) 知的能動性

以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合に各1点とし、その合計点数で評価を行いました。

番号	設問内容	該当する選択肢
問4 (9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「1. はい」に1点
問4 (10)	新聞を読んでいますか	
問4 (11)	本や雑誌を読んでいますか	
問4 (12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	

【合計点数 判定基準】

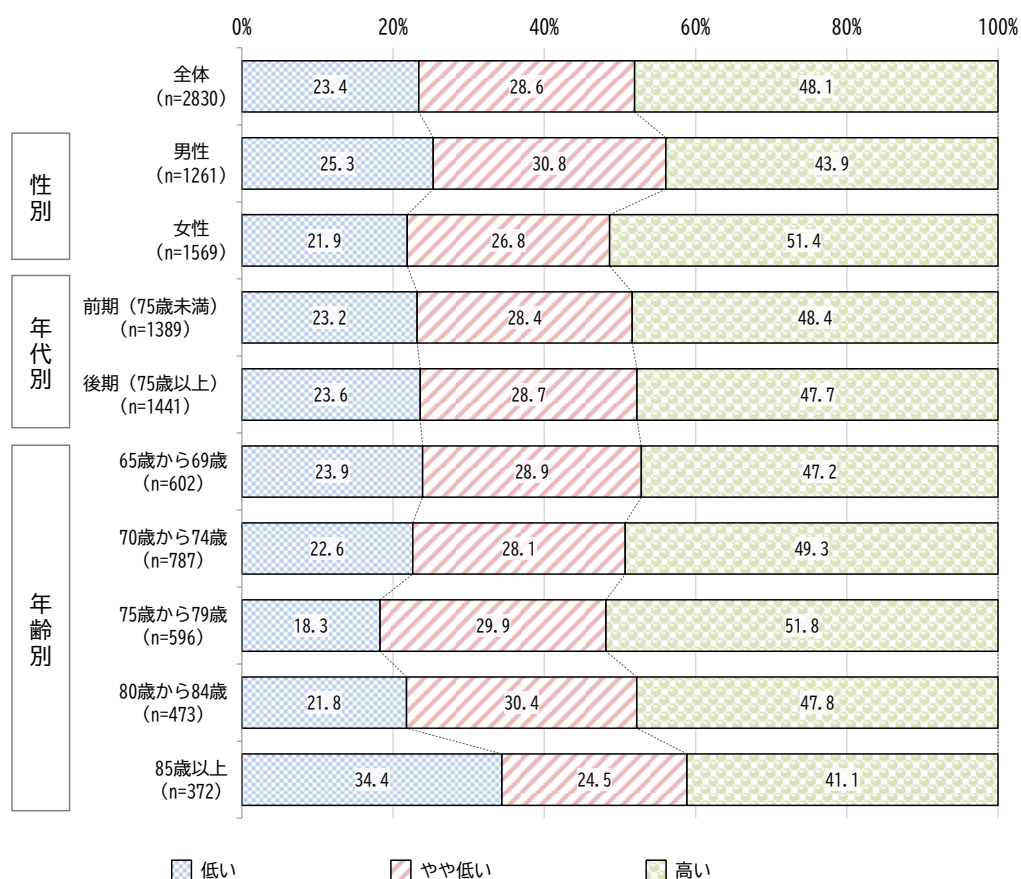
0～2点	3点	4点
低い	やや低い	自立



知的能動性が「低い」23.4%「やや低い」28.6%に該当する人は、52.0%となっています。

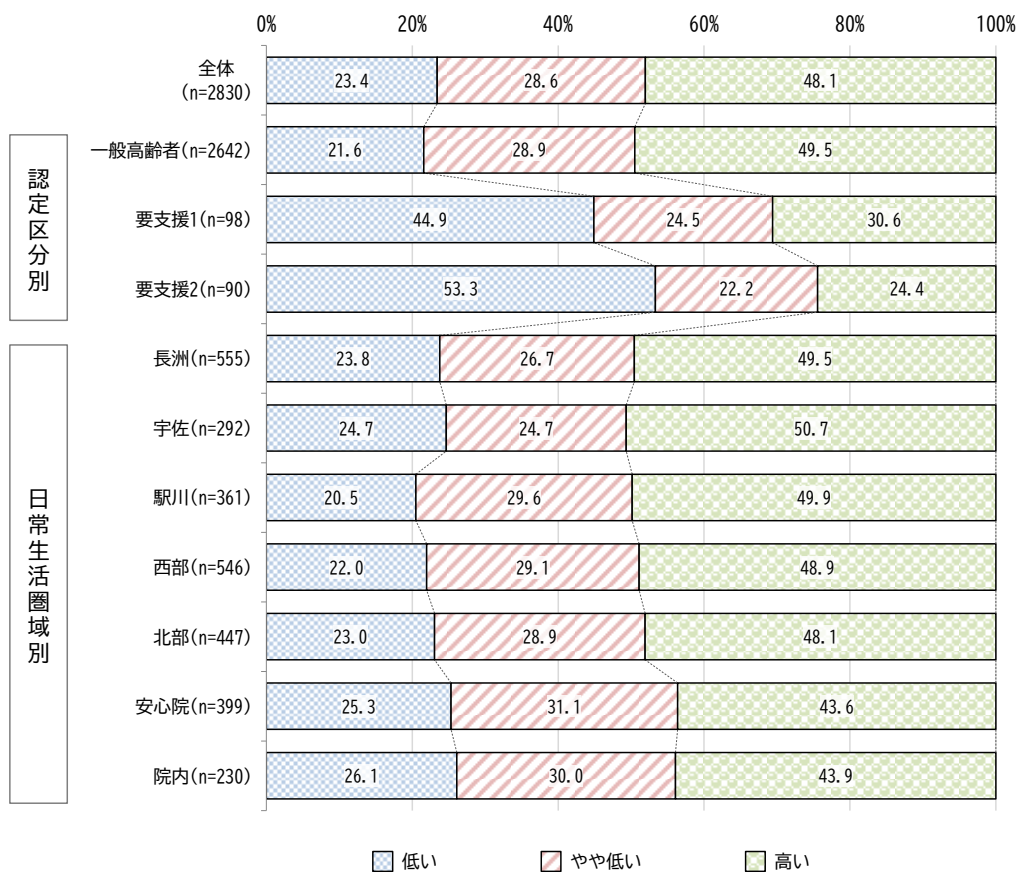
性別では、全体の結果と大きな差はみられませんでした。

年齢別でみると、年齢層が高くなるにつれて「低い」「やや低い」に該当する人の割合が高くなり、80歳以上では5割を超えています。



知的能動性が「低い」「やや低い」に該当する人の該当割合を認定区分別にみると、「要支援1」が69.4%、「要支援2」が75.5%と高くなっています。

圏域別に「低い」「やや低い」人の該当割合をみると、いずれの圏域も5割前後と高くなっており、最も高い圏域は「安心院」56.4%となっています。



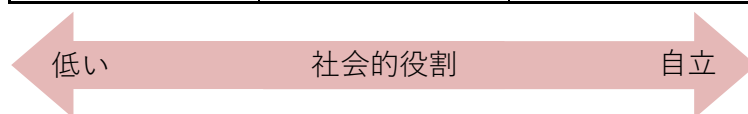
(3) 社会的役割

以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合に各1点とし、その合計点数で評価を行いました。

番号	設問内容	該当する選択肢
問4 (13)	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」に1点
問4 (14)	家族や友人の相談にのっていますか	
問4 (15)	病人を見舞うことができますか	
問4 (16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	

【合計点数 判定基準】

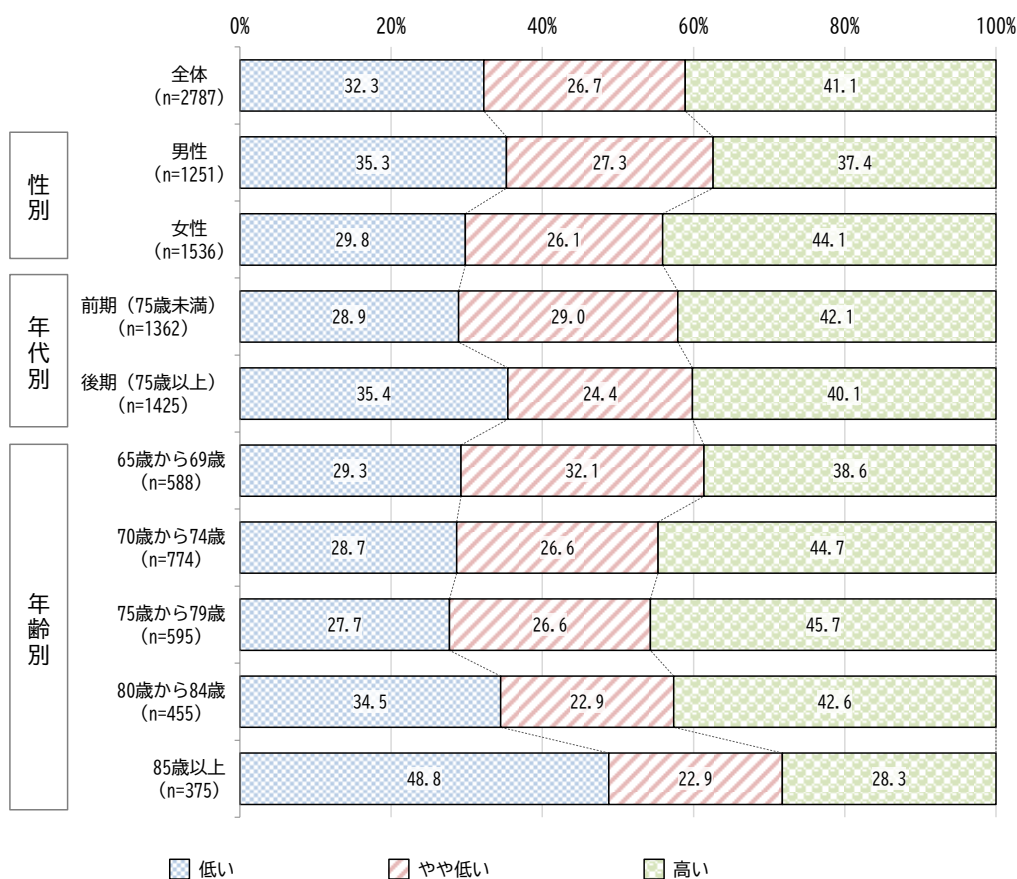
0～2点	3点	4点
低い	やや低い	自立



社会的役割が「低い」32.3%、「やや低い」26.7%と判定された人は、59.0%となっています。

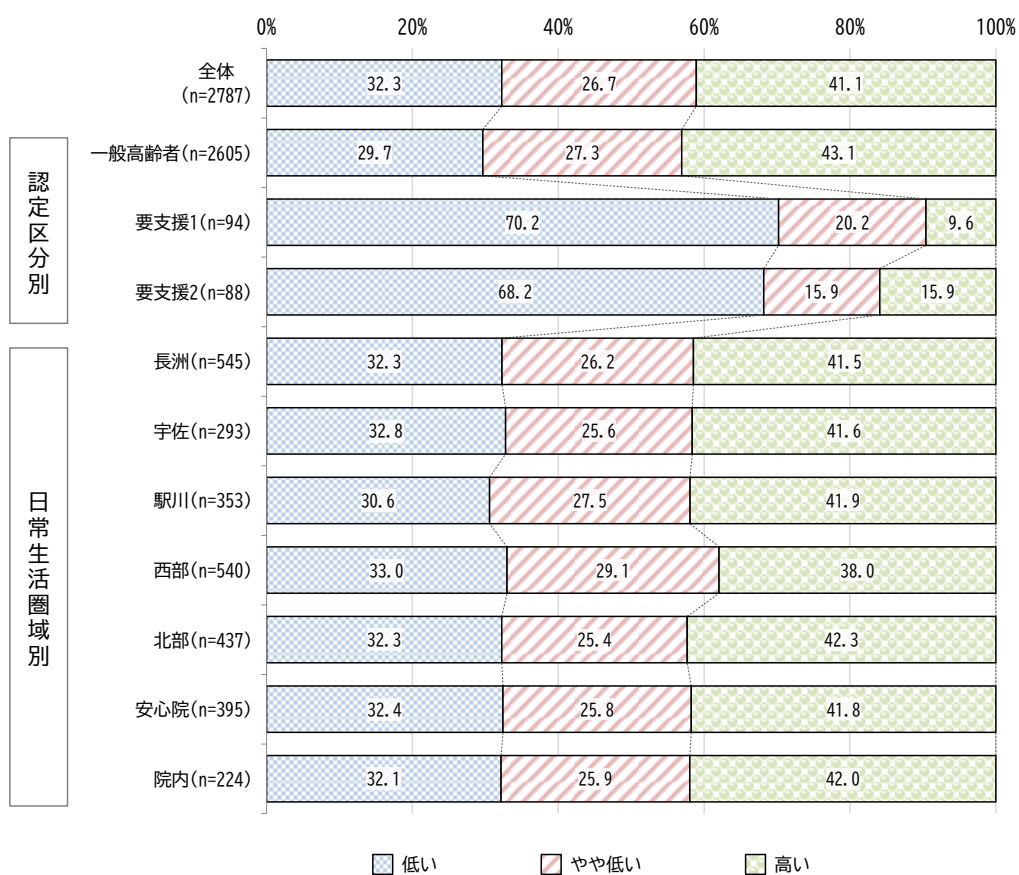
性別でみると、「低い」「やや低い」を合わせた割合が男性では62.6%と6割を超えており、女性55.9%と比べて若干高くなっています。

年齢別でみると、84歳までは「低い」「やや低い」を合わせた割合が5～6割となっていますが、85歳以上では71.7%と7割を超えています。



社会的役割が「低い」「やや低い」人の該当割合を認定区分別にみると、「要支援1」が90.4%、「要支援2」が84.1%とかなり高くなっています。

圏域別に「低い」「やや低い」人の該当割合をみると、いずれの圏域も6割前後と高くなっており、最も高い圏域は「西部」62.1%となっています。

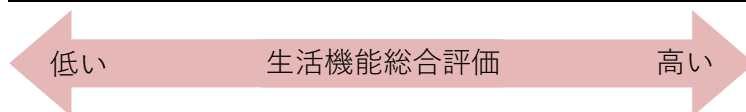


(4) 総合評価

生活機能を総合的に評価するにあたり、「老研指標総合評価」を用い以下の判定基準に基づいて評価を行いました。「老研指標総合評価」とは、より高次の生活機能を評価することを目的としており、IADL・知的能動性・社会的役割の全13問（各1点）により、その合計点で評価するものです。

【合計点数 判定基準】

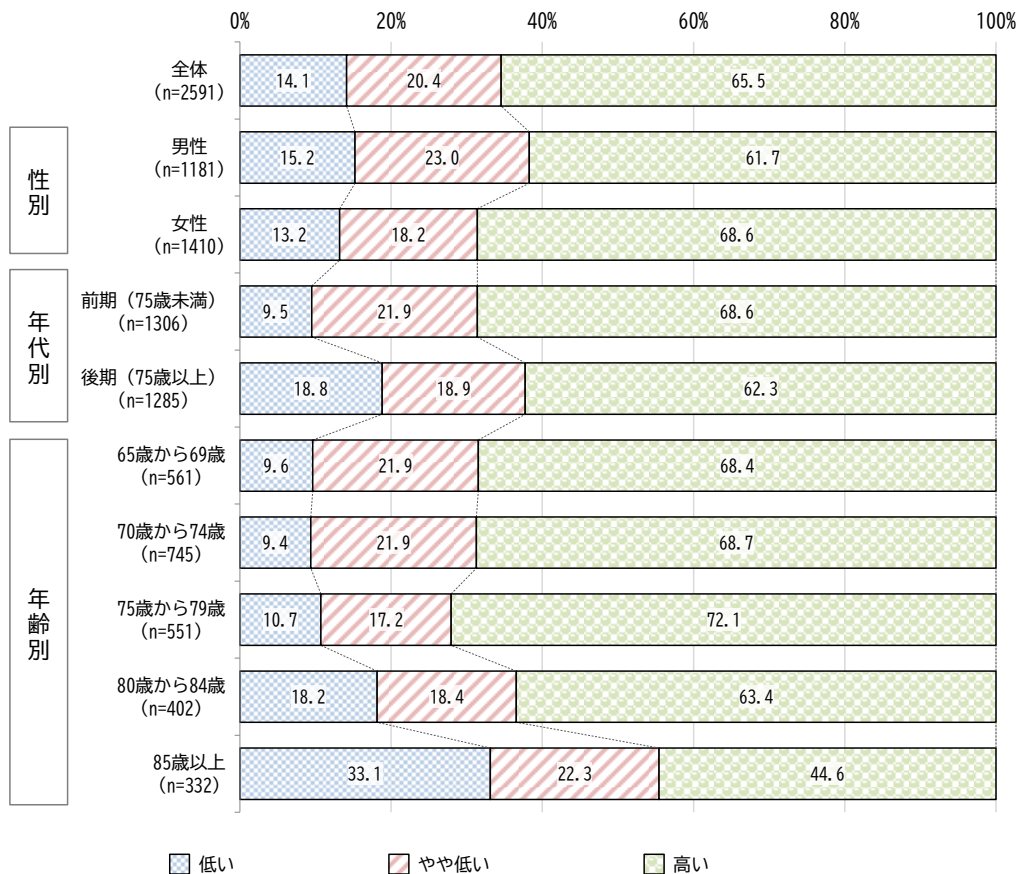
0～8点	9～10点	11点以上
低い	やや低い	高い



総合評価が「低い」14.1%、「やや低い」20.4%と判定された人は、34.5%となっています。

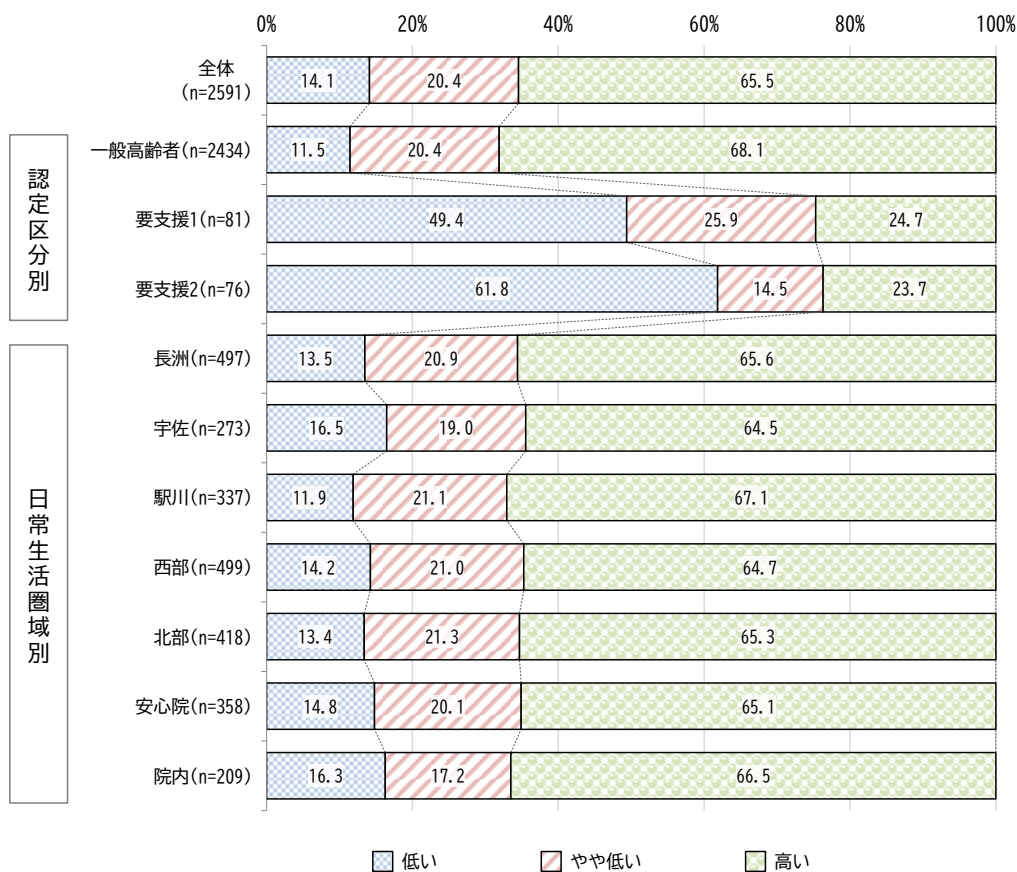
男女別でみると、男性では女性と比べて「低い」「やや低い」と判定された人の該当割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢層が高くなるにつれて「低い」「やや低い」と判定された人の割合が高くなり、85歳以上では55.4%と5割を超えています。



総合評価が「低い」「やや低い」と判定された人の該当割合を認定区分別にみると、「要支援1」では75.3%、「要支援2」では76.3%と高くなっています。

圏域別でみると、いずれの圏域も「低い」「やや低い」と判定された人の該当割合が3割台となっており、最も高い圏域は「宇佐」35.5%となっています。

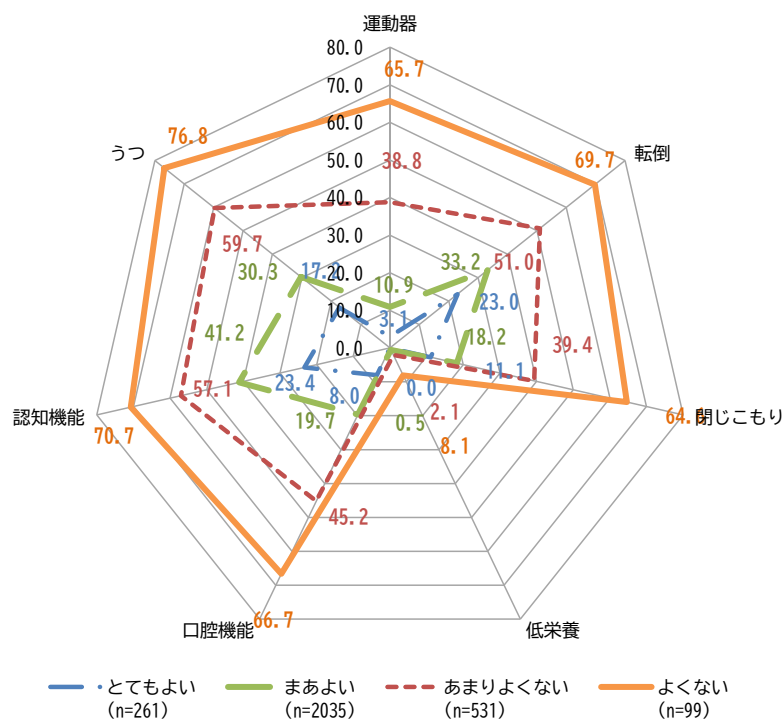


4 リスク出現状況と主観的健康観・幸福感の関係

(1) 主観的健康観

主観的健康観と各リスク該当者の割合との関係をみると、主観的健康観がよい人ほど、リスク該当者の割合が低くなる傾向にあることがわかります。

例えば、「うつ」のリスク該当者の割合は主観的健康観が「よくない」人では76.8%となっていますが、「とてもよい」人では17.2%となり、4倍以上の大きな差があります。



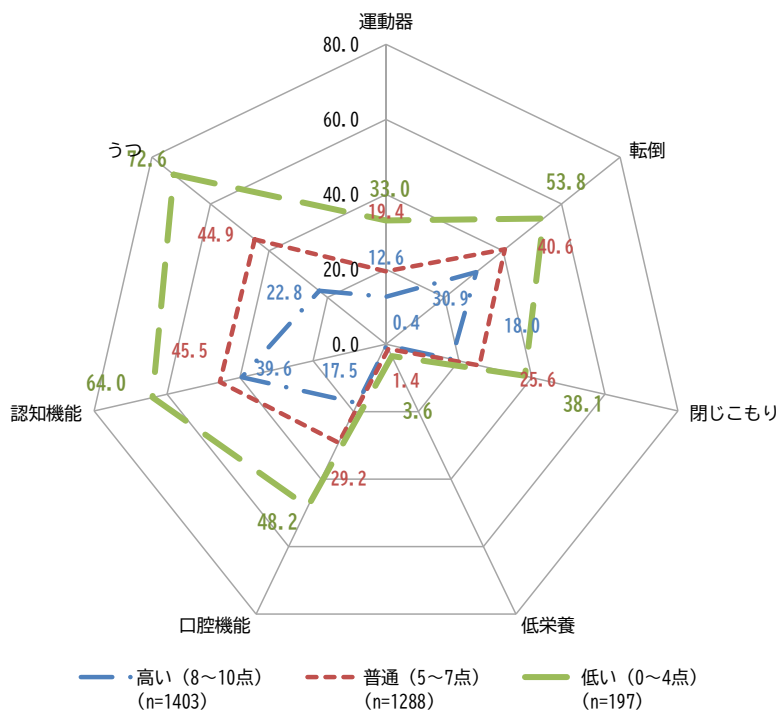
(上段：人 下段：%)

	標本数 (人)	運動器	転倒	閉じこもり	低栄養	口腔機能	認知機能	うつ
全体 (単純集計)	2,990	515 17.2%	1,102 36.9%	695 23.2%	31 1.0%	744 24.9%	1,300 43.5%	1,069 35.8%
主観的健康観	とてもよい	8 3.1%	60 23.0%	29 11.1%	0 0.0%	21 8.0%	61 23.4%	45 17.2%
	まあよい	222 10.9%	676 33.2%	371 18.2%	11 0.5%	400 19.7%	838 41.2%	616 30.3%
	あまりよくない	206 38.8%	271 51.0%	209 39.4%	11 2.1%	240 45.2%	303 57.1%	317 59.7%
	よくない	65 65.7%	69 69.7%	64 64.6%	8 8.1%	66 66.7%	70 70.7%	76 76.8%
	無回答	14 21.9%	26 40.6%	22 34.4%	1 1.6%	17 26.6%	28 43.8%	15 23.4%

(2) 主観的幸福感

主観的幸福感と各リスク該当者の割合との関係を見ると、主観的幸福感が高い人ほど、リスク該当者の割合が低くなる傾向にあることがわかります。

「うつ」と主観的幸福感の相関が高いことは当然ながら、全ての分野で主観的幸福がリスク該当者の低減要因であることがわかります。



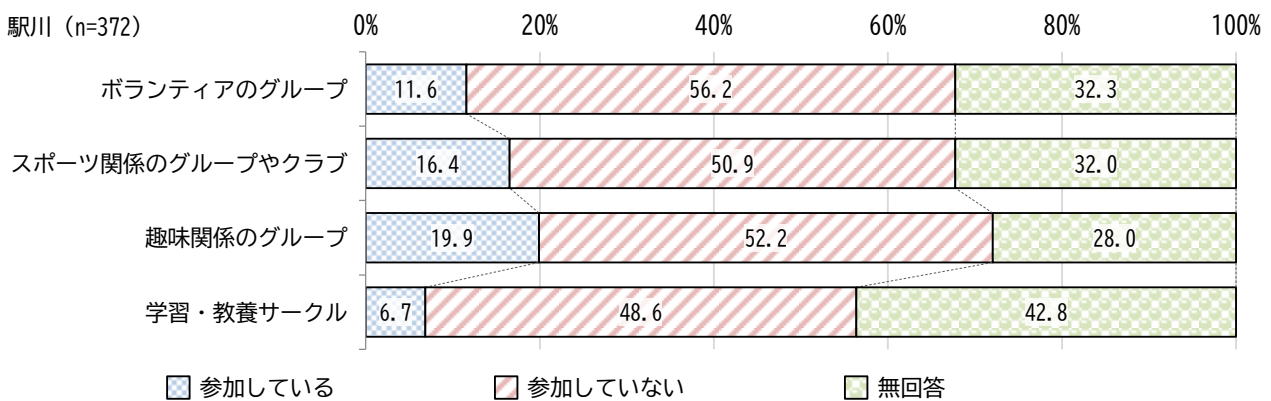
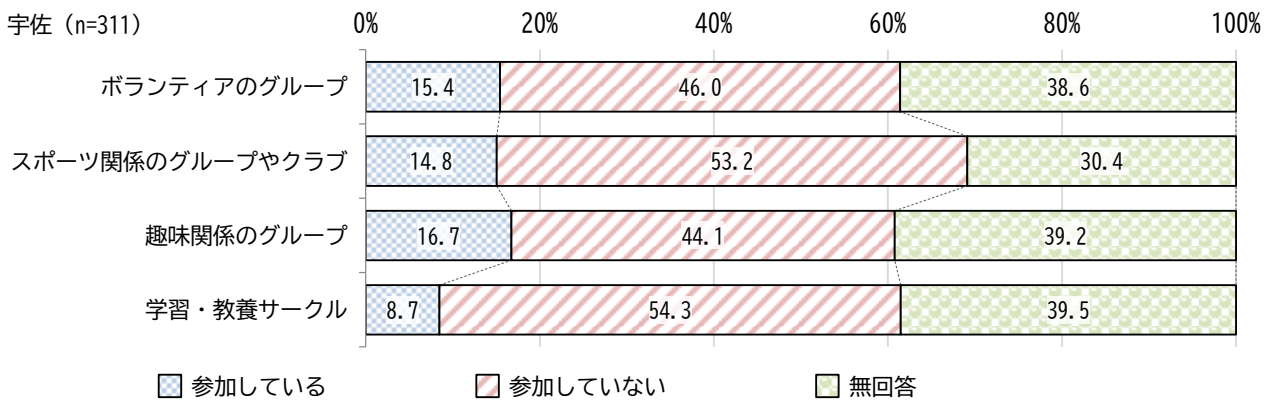
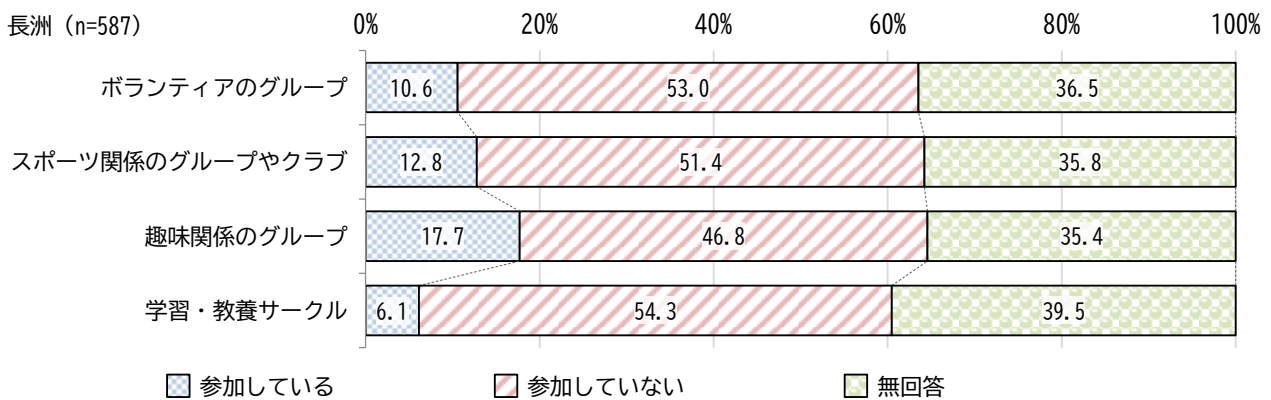
(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	運動器	転倒	閉じこもり	低栄養	口腔機能	認知機能	うつ
全体 (単純集計)		2,990	515 17.2%	1,102 36.9%	695 23.2%	31 1.0%	744 24.9%	1,300 43.5%	1,069 35.8%
主観的 幸福感	高い (8～10点)	1,403	177 12.6%	433 30.9%	252 18.0%	5 0.4%	245 17.5%	555 39.6%	320 22.8%
	普通 (5～7点)	1,288	250 19.4%	523 40.6%	330 25.6%	18 1.4%	376 29.2%	586 45.5%	578 44.9%
	低い (0～4点)	197	65 33.0%	106 53.8%	75 38.1%	7 3.6%	95 48.2%	126 64.0%	143 72.6%
	無回答	102	23 22.5%	40 39.2%	38 37.3%	1 1.0%	28 27.5%	33 32.4%	28 27.5%

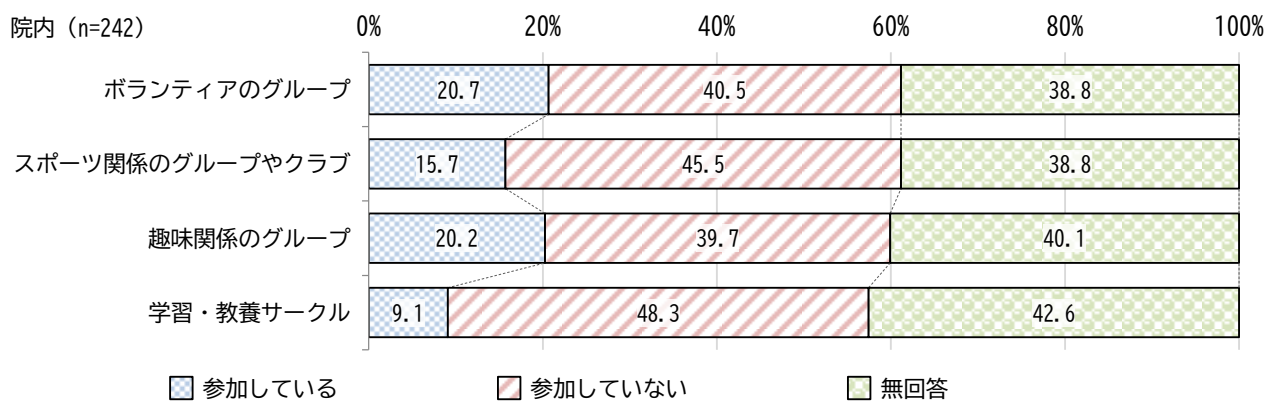
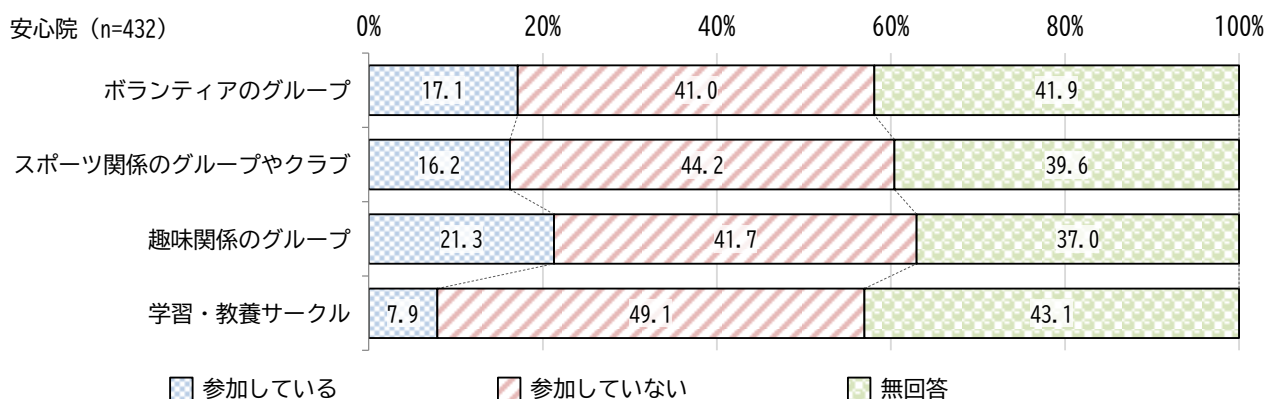
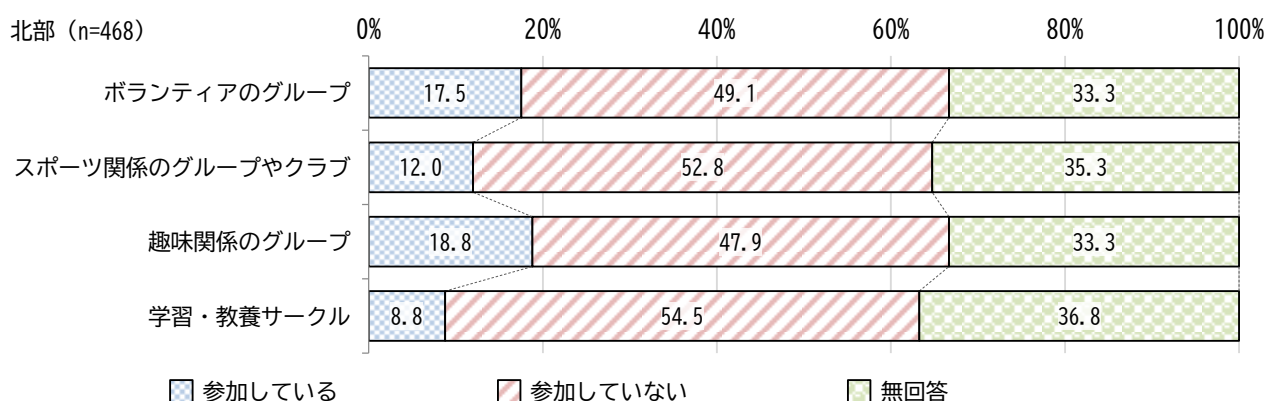
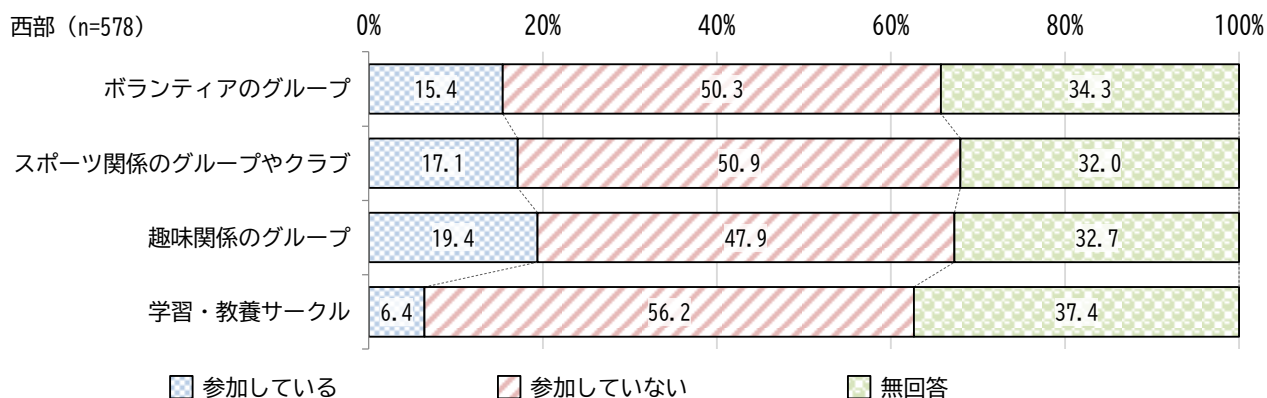
5 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

圏域別に社会参加の状況をみると、「院内」では「ボランティアのグループ」が最も高く、それ以外の圏域では「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。また、すべての圏域で「学習・教養サークル」への参加割合が低い傾向がみられ、参加状況が1割以下となっています。

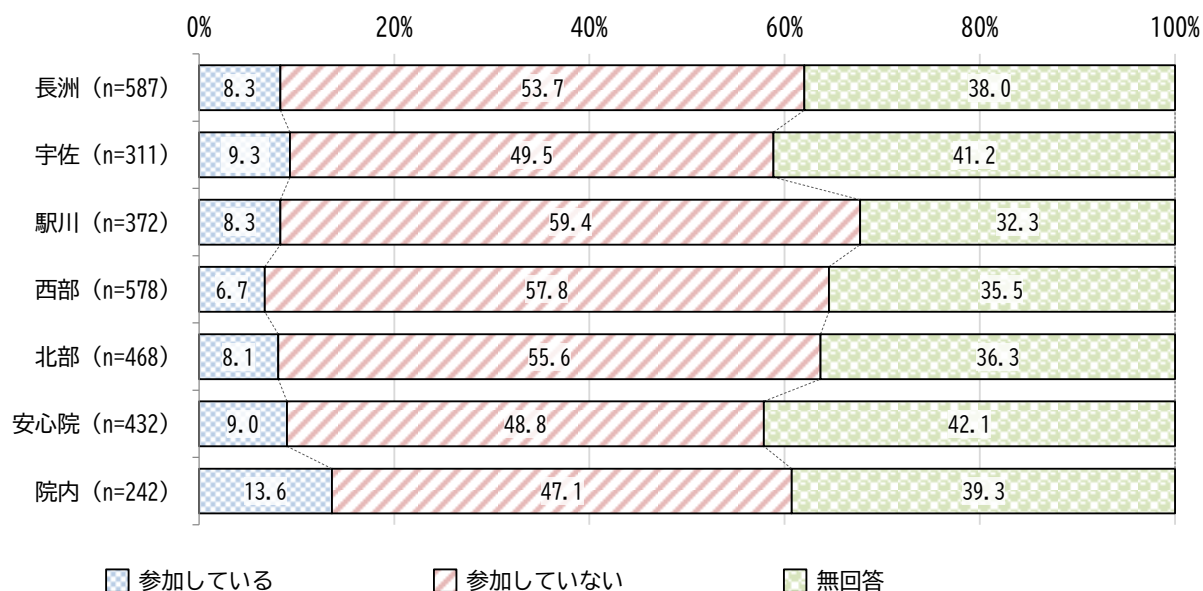


第3章 調査結果の分析



(2) 介護予防への参加状況

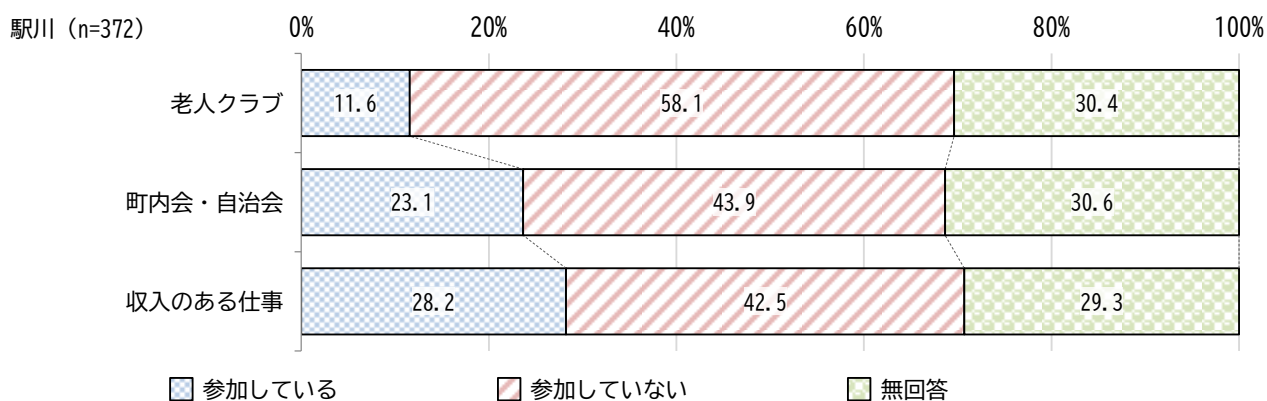
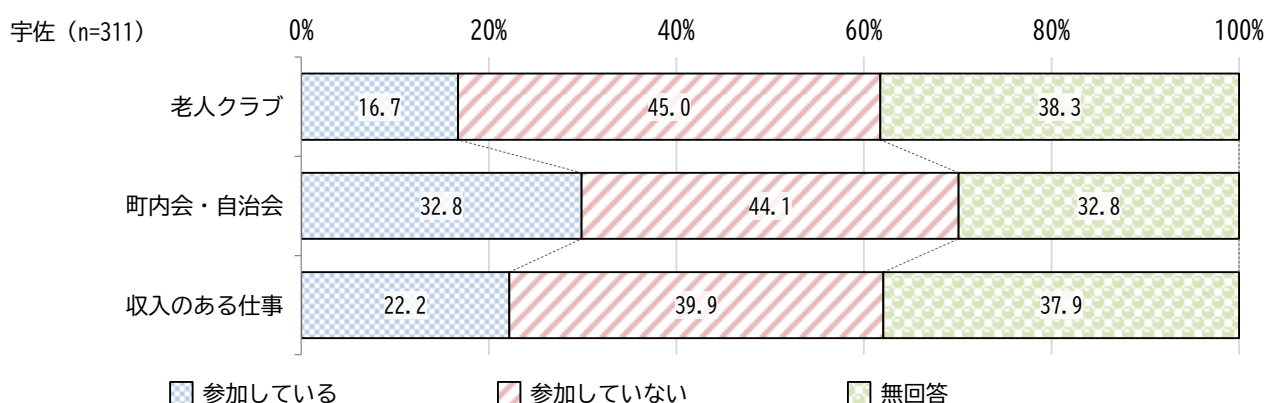
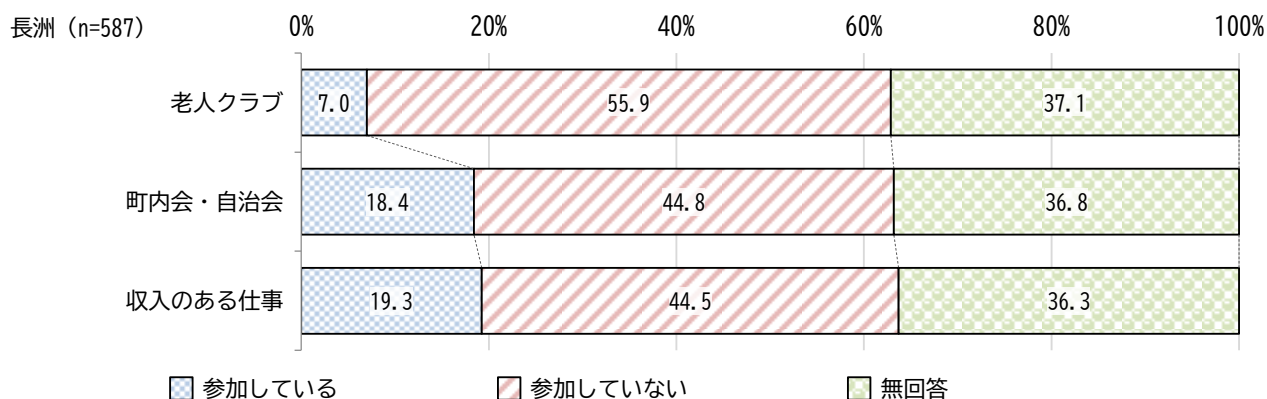
圏域別に「介護予防のための通いの場」への参加状況をみると、「参加している」割合が最も高い圏域は「院内」13.6%、「参加している」割合が最も低い圏域は「西部」6.7%となっています。

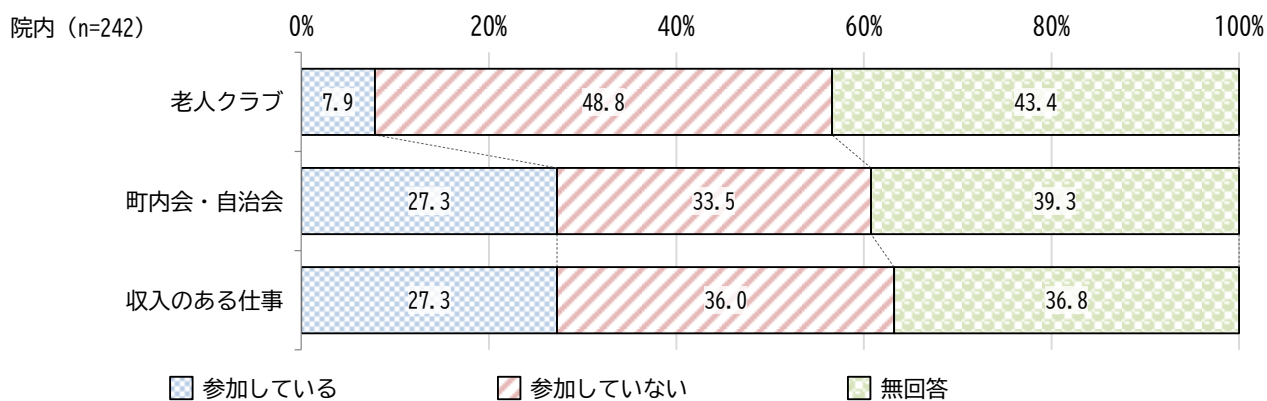
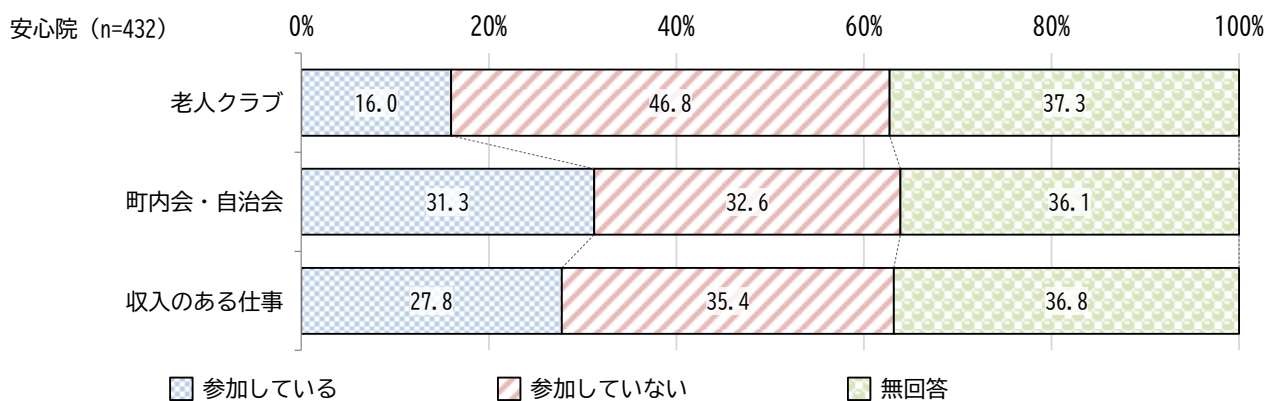
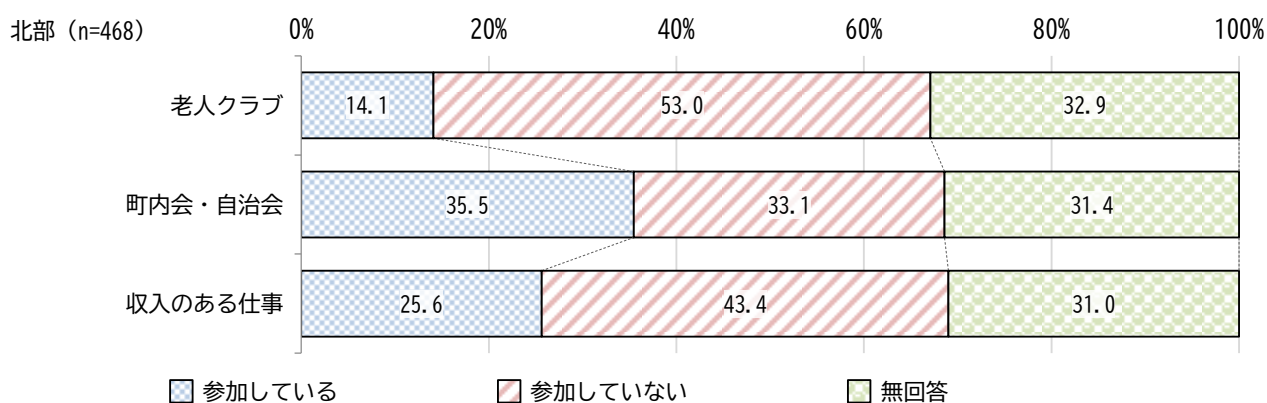
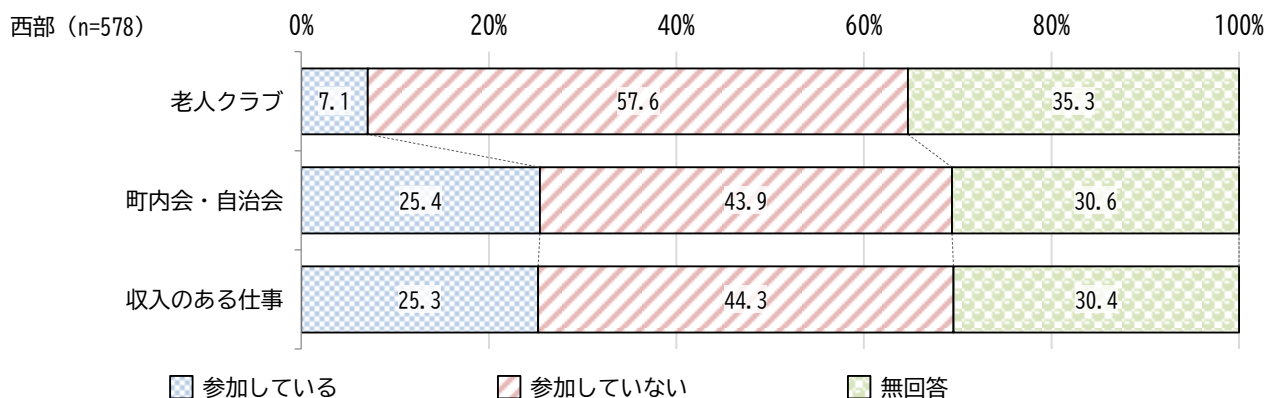


(3) 地域資源の把握

現在、「老人クラブ」「町内会・自治会」「収入のある仕事」に参加している人は、地域づくりの担い手として活動につながる可能性が高く、掘り起こしの対象者としては効果的であると考えられます。

どの圏域も「老人クラブ」への参加割合が他の項目と比べて低くなっており、特に「長洲」「西部」「院内」では1割を切っています。



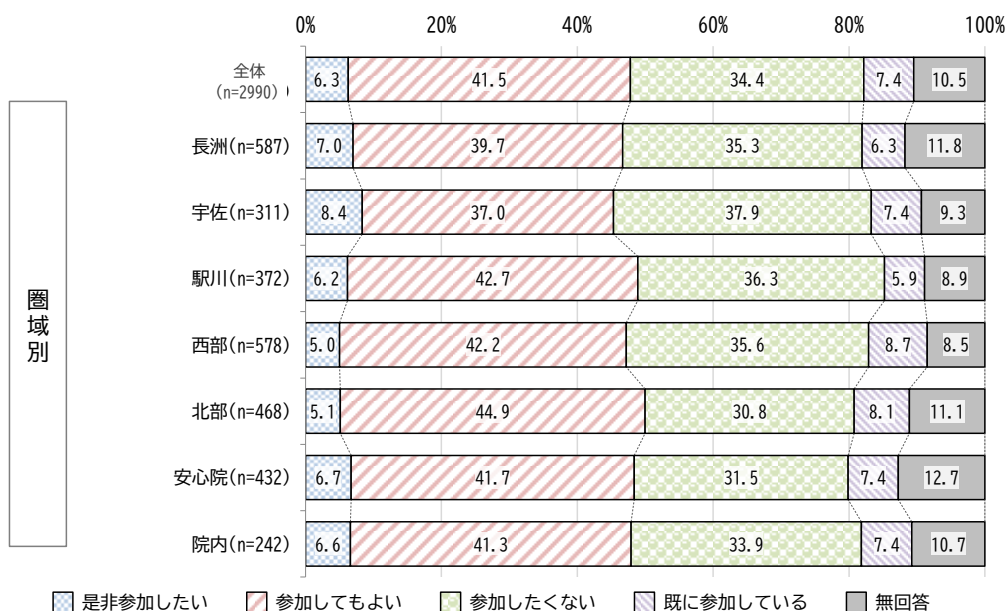
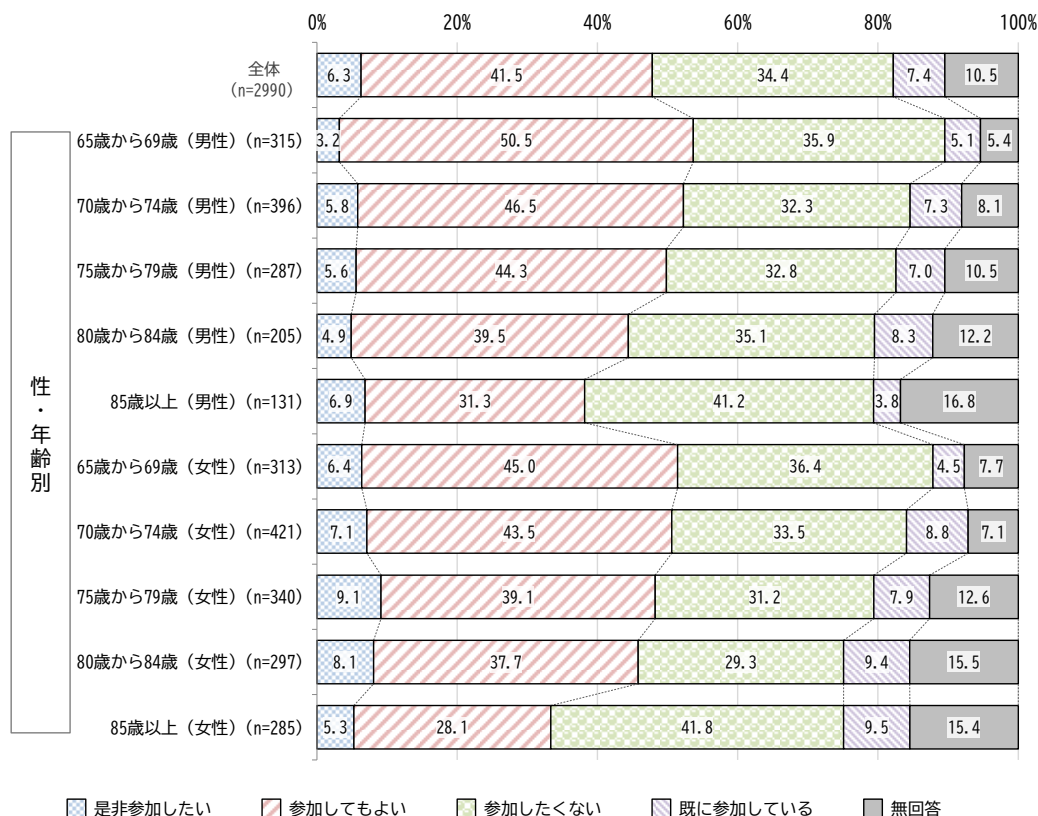


(4) 地域づくりへの参加意向

①参加者としての参加意向

地域づくり活動へ参加者としての参加意向は、「参加してもよい」を含め、男女ともに年齢層が低くなるにつれて参加意向が高くなっています。

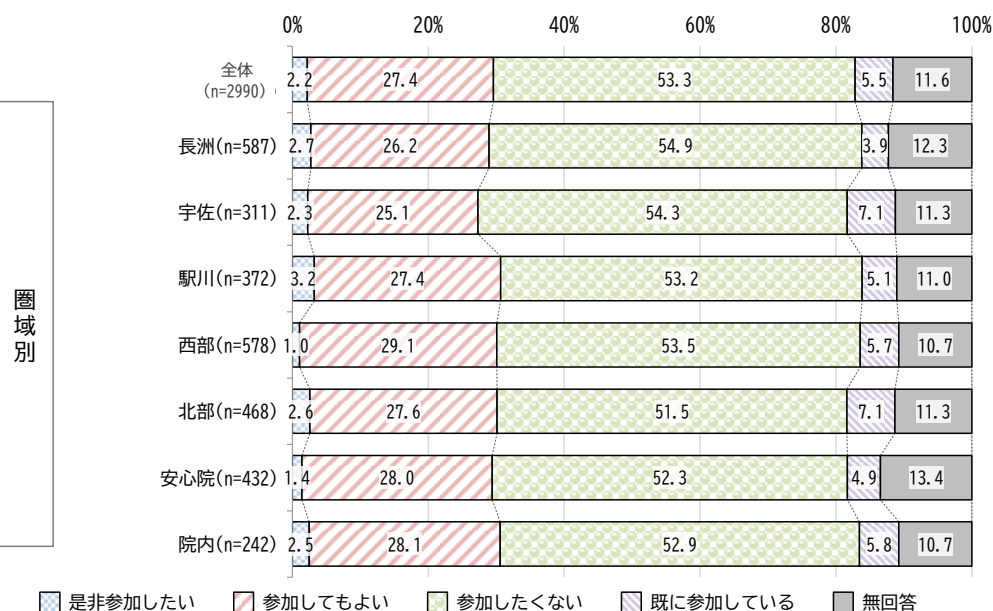
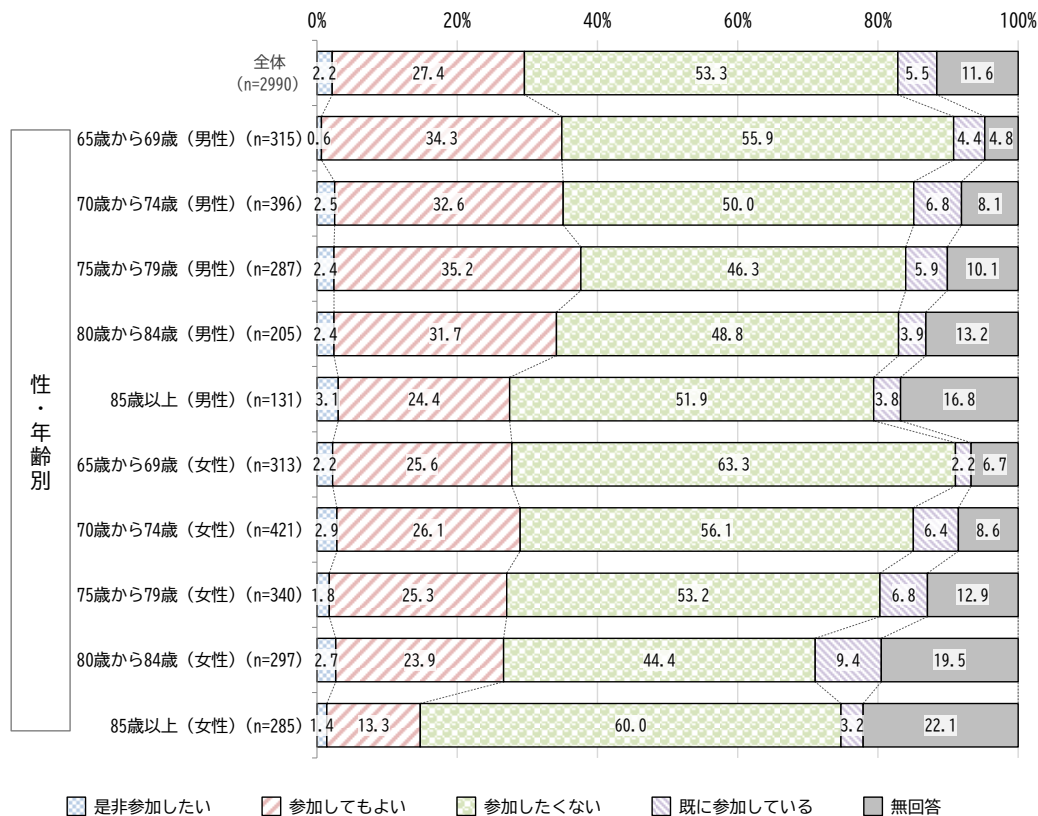
圏域別でみると、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合、参加意向が最も高い圏域は、「北部」50.0%となっています。



②企画・運営（お世話役）としての参加意向

地域づくり活動へお世話役としての参加意向は、男性の割合が高くなっています。84歳（男性）までは「参加してもよい」を含め、参加意向3割となっていることから、地域づくりの人的資源は決して少なくないことがわかります。

圏域別でみると、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合、参加意向が最も高い圏域は、「駅川」「院内」がともに30.6%となっています。



宇佐市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
集計結果報告書

令和6年3月

発行 宇佐市 介護保険課

〒879-0492

大分県宇佐市大字上田1030番地の1

T E L 0978-27-8149

F A X 0978-32-1106
